

Foundational Environmental Performance (FEP) Module How to Higg Guide

Version 1.0

Publication: October 2026

Last Updated : 1st October 2026

This document has been translated from the original English version. In cases where there are any discrepancies or differences in interpretation between this translation and the English version, the English version shall take precedence, and its content and meanings will be considered definitive.

この文書は、元の英語版から翻訳されたものです。この翻訳と英語版の間に解釈の相違や不一 致がある場合、英語版が優先され、その内容と意味が決定的なものと見なされます。

© 2026 Cascale Inc.

基礎的環境パフォーマンス（**FEP**）**Higg**ガイドの使い方

始める前に**:**

- Higg FEMのHiggガイドの使い方は オンラインで利用できます
- Higg FEMのトレーニング資料は以下で確認できます
  https://howtohigg.cascale.org/recorded-training-sessions/facility-tools/ および
  https://howtohigg.cascale.org/verification/fem-verification-program/

FEP How to Higgガイド目次:

以下のセクションのいずれかをクリックして、そのセクションにジャンプしてください

- FEPの概要
- 工場のサイト情報と認可
- EMS
- エネルギー & GHG
- 水の使用
- 廃水
- 大気排出
- 廃棄物
- 化学品管理
- 用語集

© 2026 Cascale Inc.



はじめに：基礎環境パフォーマンス（FEP）とは？

Higg FEM内のFEPモジュールの基盤となる基礎環境パフォーマンス（FEP）フレームワークは、消費財業界のすべての施設に求められる、環境管理慣行、法令遵守義務、および重大な環境リスクを防止するための管理策について、最低限の基準を定めるものです。FEPモジュールは、施設の所在地、規模、顧客ポートフォリオ、または運用の成熟度にかかわらず整備されるべき、環境パフォーマンスの不可欠な基準水準を示すよう設計されています。

FEPモジュールは、高度なサステナビリティ達成度の指標として機能することを意図したものではなく、環境リーダーシップを示すものでもありません。むしろ、責任ある操業に求められる最も基本的な環境責任に取り組んでいることを、施設が合理的に実証できる到達点を定義するものです。これらの最低限の期待事項を明確にすることで、FEPモジュールの設問セットは業界に共通言語を提供し、従来は分断されていた解釈を、ベースラインとなる環境パフォーマンスを構成する要素についての共通の技術的理解に置き換えます。

Higg FEMエコシステムにおけるFEPの役割

FEPモジュールは、企業とそのサプライチェーンパートナーが拡張されたバリューチェーン全体にわたる環境上のホットスポットと機会を迅速に特定できるようにすることで、Higg Facility Environmental Module（FEM）を補完します。また、Higg FEMエコシステムを初めて利用する施設に構造化された出発点を提供し、完全版Higg FEMへ移行する前に、設問セットへの理解を深め、ベースラインパフォーマンスを確立できるようにします。

FEPモジュールの設問は、Higg FEMレベル1の設問から定義されたサブセットです。この基礎的な設問のサブセットには、新たな設問は追加されていません。これは、FEP設問の適用範囲、目的、お

© 2026 Cascale Inc.

よび検証基準がHigg FEMと完全に整合していることを意味します。FEPモジュールを完了する施設は、これらの設問についてHigg FEMと同じ厳格さおよび証拠基準に従うことになります。

適格性

FEPモジュールは、新規の施設アカウントおよび前回のサイクルでHigg FEMを完了していない施設のみが利用できます。

直前のサイクルでHigg FEMを完了した施設、または現在の報告年度においてHigg FEMの全項目を完了するプロセスにある施設は、FEPモジュールを実施する対象外となります。

FEPモジュールの仕組み

FEPモジュールのワークフローは、Higg FEMと同様に機能します。

- 検証を開始する前に、自己評価を完了し、公開する必要があります。
- 投稿および共有されると、施設の共有アカウントで完了したモジュールを閲覧できるようになります。
- 施設は、同一のFEMサイクル年度内にFEPモジュールを1つのみ完了・投稿する必要があります。

Higg FEMとは異なり、FEPモジュールには固定の報告期間がありません。年間を通じて利用可能であり、完了時点における直近12か月間のパフォーマンスを測定します。例えば、2027年5月にFEPモジュールを完了する施設は、2026年5月から2027年4月までの期間について報告します。

重要な注記：FEPモジュールは現在、採点の対象ではありません。施設はFEPモジュールを完了してもポイントを取得せず、Higg Indexのベンチマーク機能もFEPモジュールには適用されません。Cascaleは、FEPフレームワーク全体の発展に合わせて、今後のサイクルで採点を導入すべきかどうかを判断するため、このアプローチを評価します。

FEPモジュールの完了にはどのくらい時間がかかりますか？

FEPモジュールの完了に必要な時間は、モジュール開始前に必要なデータや情報をどの程度収集済みかによって異なります。通常、社内での協議やレビューに要する時間を含め、施設がモジュール全体を完了するまでに1～2週間かかります。施設には、モジュールに入力する必要がある情報およびデータの種類を理解するため、開始前にモジュール内のすべての設問を確認することを強く推奨します。

Worldlyでモジュールを開始し完了するためのステップバイステップガイダンスについては、Higg FEM評価を完了する ガイドをご覧ください。

始める前に知っておくべきこと

施設は、評価を実施する際に誠実かつ透明性をもって回答する必要があります。FEPモジュールは合格／不合格を判定する評価ではなく、基礎的な環境パフォーマンスを改善する機会を特定するためのフレームワークです。

© 2026 Cascale Inc.

回答が「はい」の要件を満たすかどうか不明な場合は、より慎重なアプローチを取り、該当する場合は「一部はい」または「いいえ」と回答することを推奨します。以下の各設問に対するガイダンスは、設問に正確に回答する方法を示します。設問に対して「はい」、「一部はい」、「いいえ」、「該当なし」または「不明」を選択した場合は、該当する場合に裏付け文書を提供できるよう、文書のアップロードにおいて可能な限り多くの補足情報を提供してください。

ガイドの多くの質問は「推奨アップロード」に言及していますが、これらのアップロードは必須ではなく、質問に対する回答をサポートするための文書の種類をユーザーに示すためのものです。しかし、これらの文書はモジュール検証中にチェックされます。

FEPモジュールの検証

FEPモジュールの検証は、Higg FEMと同じワークフローおよび検証プロトコルに従います。すべてのFEP設問はHigg FEM設問のサブセットであるため、これらの設問の検証基準は同一です。施設および検証者は、完全版FEMの対応する設問に適用するものと同じ証拠基準および文書要件を適用する必要があります。

検証により、FEPモジュールのすべての部分を正確に完了したことが保証され、自己評価を公表するために必要な信頼性と正確性が付与されます。FEP自己評価の検証は、Cascale承認の検証機関および検証者によって実施されます。FEP自己評価の検証に関する追加ガイダンスは、こちらでご確認いただけます。

検証は、Higg FEM Verification Protocolおよびこのガイドに記載された検証基準に従って実施されます。

Cascaleは、検証者フィールドガイドも発行しています。これは、検証機関および検証者が正確で信頼性の高いFEP検証結果を作成するために必要なツールを備えられるよう、検証プロトコルおよび本How to Higgガイドと併せて使用することを目的としています。

施設には、FEPモジュールの検証プロセスを明確に理解するため、上記のリソースを確認することを推奨します。

ヘルプ

何か問題が発生した場合や、評価の質問が理解できない場合は、Worldlyプラットフォームについて、Higg Indexのサポートチームに問い合わせフォームを通じて連絡することができます support.worldly.io。

© 2026 Cascale Inc.

サイト情報と認可

一般的な紹介

FEPモジュールの「施設情報および許可」セクションでは、施設の所在地、規模、および事業活動に関する設問への回答と詳細情報の提供が求められます。これらの設問への回答は、比較分析のために施設を分類する際に使用されます。

このページでは、工場の認可に関する情報も求められます。これは、関連する環境認可に対する遵守状況を確認するためのものです。工場が従う必要のある認可、認可、ライセンス、登録、証明書、またはその他の遵守文書に関する情報を提供してください。認可以外の要件の例としては、年次の政府報告書や特定の化学品の登録が含まれます。

ノート:

- FEPモジュールの「サイト情報と許可」セクションは、モジュールの他のセクションに進む前に、最初に完了する必要があります。

工場の範囲

FEPモジュールは、単一の事業体または製造ユニットが完了するよう設計された施設レベルの評価です。これをグローバルに定義する際には複雑な点があり得ることを踏まえ、単一のFEPモジュールを完了するための施設範囲を決定する際には、以下の定義および例外が適用されます。

- FEPモジュールは、施設の操業国で適用される事業許可証／操業許可の適用範囲により定義される、法的事業体の敷地内におけるすべての事業活動として定義される施設全体を対象とします。これには、所有および運営するすべての敷地内プロセス、設備、および区域が含まれます（例：施設は、特定の事業活動または施設区域をFEPモジュールから除外することはできません）。

- 以下の場合を除き、適用される事業許可証／操業許可により定義される法的事業体ごとに1件のFEPモジュールが必要です：
    - 異なる事業許可証を持つ複数の製造ユニット（施設）が同一敷地内に所在しているものの、各施設が単一の法的事業体によって完全に所有・運営されている場合は、1件のFEPモジュールを完了できます。
        - 注：別々の施設が、すべての施設の所有権を含む有効な営業許可証を持つ単一の親事業体によって法的に所有・運営されていない場合は、各施設について個別のFEPモジュールを完了する必要があります。

© 2026 Cascale Inc.

- 独立した事業許可証を持つ当該施設の資材または部品の供給業者が同一敷地内に所在し、その資材・サービスの100%を当該施設に供給している場合、その事業活動は当該施設のFEPモジュールに含めることができます。
    - 注：資材または部品の供給業者が他の施設にも資材またはサービスを提供している場合、その供給業者を当該施設のFEPモジュールの範囲に含めることはできず、個別のFEPモジュールが必要となります。

- 2つの異なる物理的所在地（すなわち、異なる法的住所）に所在する施設は、所有形態にかかわらず、所在地ごとに1件のFEPモジュールを完了する必要があります（例：2つの施設が異なる物理的所在地にあるものの、その事業活動が1つの親会社の事業許可証の対象である場合でも、個別のFEPモジュールが必要です）。

サイト情報

工場プロファイル質問パスウェイ（工場タイプ別）

サイト情報セクションには、工場の種類、製品と材料のカテゴリ、工場のプロセス、産業部門に関する質問が含まれています。あなたの工場がこれらの質問に対する回答は、適用可能な回答を選択できる一連の事前定義された選択肢を通じてあなたを導きます。

注：複数の施設タイプを選択した場合、複数のプロファイルパスウェイが適用される可能性があります。これは、施設が選択した施設タイプごとに、製品および材料のカテゴリーと施設プロセスに関する情報を入力する必要があることを意味します。

- 例えば、垂直統合された工場は、2つの工場タイプ（「最終製品の組み立て」と「材料生産（原材料および中間材料が組み立て前の最終状態に変換される）」）を選択し、各工場タイプの製品、材料、およびプロセスに関する情報を提供する必要があります。

国または地域 *(Ref ID - sitecountry)*

工場は、工場が所在する国または地域を選択します。

工場タイプ *(参照ID - sipfacilitytype)*

© 2026 Cascale Inc.

施設はまず、以下のオプションから施設のタイプを選択します。選択した施設のタイプに基づき、適用可能な製品カテゴリ、使用材料、施設のプロセス、産業部門に関する追加の質問が適用されます。

注: 該当する場合、複数の工場タイプを選択する必要があります。例えば:

- 垂直統合された工場で、裁断および縫製作業と湿式加工（例：染色）を行っている場合は、「最終製品組立」とおよび「完成品加工」の両方を選択します。 または
- あなたが最終製品を組み立て、現場で硬質部品を製造するハードグッズの工場である場合、「最終製品組立」と「構成部品／サブアセンブリの製造（梱包を含む）」

工場タイプオプション	例
最終製品の組み立て	完成品の生産／最終製品の組立（例：シャツ、パンツ、履物） 最終製品の編み立て（例：靴下、スカーフ、帽子）
完成品加工（製品印刷、製品塗装、刺繍・装飾、バフ研磨・ポリッシング、成形など）	製品の印刷および塗装 ホームファーニッシング：バフ研磨、成形など
完成品加工（製品染色、製品洗浄および製品仕上げ）	湿式加工および洗浄を含む製品の染色
構成部品／サブアセンブリの製造（梱包を含む）	ラベル、ファスナー、スナップ、ボタン、ゴムコード、段ボール、金型 ホームファーニッシング：金属ハンドル 履物：アッパー、ソール、靴ひもなど
素材生産（原材料と中間材料が組み立て前の最終状態に変換されます）	生地染色工場、生地製造業者、糸染色、PCB製造業者、生地プリント ハードグッズ: 金属の部品、木製ラミネーション、金属メッキ
原材料の加工（原材料は中間材料製品に加工されます）	糸紡績 ハード製品: 鋳造、金属加工、プラスチック射出成形、材木板
原材料の収集と大量精製（材料は収集/抽出/養殖され、大量の商品状態に精製されます）	綿花の栽培とジンニング、ボトルや布くずなどの新しいリサイクル素材への加工、林業、鉱業、原油精製 家庭用品：木材の丸太、金属シートロール。

© 2026 Cascale Inc.

製品カテゴリ *(参照ID - sipproductcategories)*

この質問は、次のものを施設タイプとして選択した施設にのみ適用されます：

- 最終製品の組み立て、および/または
- 完成品加工（製品印刷、製品塗装、刺繍・装飾、バフ研磨・ポリッシング、成形など）、および／または
- 完成品加工（製品染色、製品洗浄および製品仕上げ）

施設は、以下のリストから、製造または加工している該当する製品カテゴリーをすべて選択します（例：施設でアパレル製品への印刷または刺繍を行う場合は、製品カテゴリーとして「アパレル」を選択してください）。

「その他」の選択肢は、必ず、貴施設が以下に記載されているいずれかのカテゴリーに該当する製品を製造または加工していない場合にのみ選択してください。

注意: 選択した各製品カテゴリーについて、工場が選択した製品カテゴリーごとに製造する具体的な製品を選択できる詳細な製品リストが利用可能になります。

- アパレル
- フットウェア（履物）
- ホームテキスタイル（ベッドリネン、テーブルクロス、タオル、布ナプキンおよび類似製品を含む）
- アクセサリー（ハンドバッグ、ジュエリー、ベルトおよび類似製品を含む）
- ホームファニシング
- 電子機器
- おもちゃ
- アウトドア・スポーツ用品-ソフト・グッズ（テント、バックパック、荷物、ハーネス、スリングなど繊維製品を含む）
- アウトドア・スポーツ用品-ハード製品（自転車、クーラー、登山用具、水上バイク、その他金属、プラスチック、木でできた用具を含む）
- 梱包
- その他
    - 注意: その他が選択された場合、工場は上記の定義済みカテゴリに既にリストされていない「その他」の製品カテゴリ/製品を該当するサブ質問にのみ入力する必要があります。または 特定の製品タイプが定義済みの製品カテゴリに利用不可の場合、サブ質問に定義済みの製品カテゴリと新規/利用不可の製品タイプを追加してください。

素材カテゴリ *(参照ID - sipmaterialtype)*

工場は、工場の種類に基づいて、以下のリストから該当するすべての材料カテゴリを選択します。

© 2026 Cascale Inc.

注: 特定の工場タイプについては、各選択された材料カテゴリーで使用する材料を工場が選択できるように、詳細な材料リストが利用可能になります。

- コーティング
- 発泡体
- 断熱材
- 革
- 金属
- プラスティック
- ゴム
- 合成皮革
- 繊維
- ウッド・バイオマス・ベース
- MMCF
- 電子機器関連の材料
- 梱包関連の材料
- 繊維（天然および人工）
- 化学品
- 金属
- その他

インダストリアルセクター*(参照ID - sipindustrysector)*

施設は、以下のリストから、製品または材料を製造している該当する業界セクターをすべて選択します。

注釈

- 業界セクターとは、施設が製造を行う対象の業界を指します（例：貴施設がアパレル製品の製造に使用される生地を製造または染色している場合、業界セクターとして「アパレル」を選択します）。
- 以下に示す他のセクターのいずれかに包装材を供給する包装材メーカーは、業界セクターとして「包装」のみを選択してください。
    - アパレル
    - フットウェア（履物）
    - ホームテキスタイル（ベッドリネン、テーブルクロス、タオル、布ナプキンおよび類似製品を含む）
    - アクセサリー（ハンドバッグ、ジュエリー、ベルトおよび類似製品を含む）
    - 家具・インテリア
    - 電子機器
    - おもちゃ
    - アウトドア・スポーツ用品-ソフト・グッズ（テント、バックパック、荷物、ハーネス、スリングなど繊維製品を含む）

© 2026 Cascale Inc.

- アウトドア・スポーツ用品-ハード製品（自転車、クーラー、登山用具、水上バイク、その他金属、プラスチック、木でできた用具を含む）
- 梱包
- その他

1. あなたの工場はこの報告年度に何日間運営しましたか？ *(参照ID - sipoperatingdays)*

報告年度における工場の稼働日数を合計数（範囲ではなく）で入力してください。稼働日とは、工場で生産および/または生産関連活動（例：製品/原材料の積み込み/出荷）が行われた日を指します。稼働時間または労働者数が50%未満の稼働日は、0.5日としてカウントします。稼働時間または労働者数が50%以上の場合は、1日としてカウントします。

FEPモジュールの検証にあたっては、操業データの要約を確認しやすい形式［例：スプレッドシート（Microsoft Excelなど）、または人が判読可能な形式（例：Excel、csv）でデータをエクスポートできる同様のデータ分析プログラム］で用意し、関連する裏付け証拠を速やかに確認できるようにしておくことを推奨します。

2. 従業員の総数: *(参照ID - siptotalnumemployees)*

この報告年度に施設で勤務したフルタイムおよび臨時従業員の平均人数（範囲ではなく）を入力してください。以下の算定ガイダンスは、フルタイム従業員および臨時従業員の両方に適用されます。

施設データを追跡する方法：

工場は、各給与期間（例：週次、隔週、月次）での労働者数を追跡するプロセスを確立するべきです。その後、以下のガイダンスを使用して、従業員（フルタイムまたは一時的）の平均数を決定できます：

1. 年間を通じて工場が支払った従業員の総数を追加してください。
2. あなたの工場が年間で持っていた給与支払い期間の数を数えてください。
3. 従業員の数を給与支払い期間の数で割ります。
4. 答えを次の最高の整数に丸めて、年次平均の従業員数を得てください

例：

- 給与期間1：520人の従業員
- 給与期間2：525人の従業員
- 給与期間3：545人の従業員
- 従業員の平均数：**530** [(520+525+545)/3]

注：同じ計算方法は、フルタイムと臨時の従業員に適用すべきです。

© 2026 Cascale Inc.

FEPモジュールの検証では、このデータの要約を確認しやすい形式［例：スプレッドシート（Microsoft Excelなど）、または人が判読可能な形式（例：Excel、CSV）でのデータのエクスポートを可能にする同様のデータ分析プログラム］で利用できるようにし、関連する裏付け証拠を速やかに確認できるようにしておくことを推奨します。

どのように検証されるか：

必要な文書:

- 各支払い期間における各労働者カテゴリー（フルタイムおよび一時的）の数を示す給与/会計記録。
- 報告年度中の給与支払い期間の数を示す給与/会計記録。

4. 貴施設は工業地区／工業団地内で操業していますか？（参照*ID - sipfacilityindustrialzone*）

以下の場合にはあてはまると回答してください: あなたの工場が指定されたインダストリアルゾーン/パーク内に位置している。

5. 貴施設では、敷地内で水処理（すなわち、受入水の前処理および／または排水処理）を行っていますか？（参照*ID - sipfreshwaterpretreatused*）

次の条件にあてはまる場合は「あてはまる」と答えてください: あなたの工場が国内または生産用の受入水の工場内前処理を行っている、またはあなたの工場が廃水の工場内処理を行っている。

この質問に「はい」と回答した場合、以下の処理オプションのリストから、貴施設が敷地内で実施している前処理および／または排水処理の種類を選択するよう求められます：

注意: 適用可能な処理オプションを選択した後、工場では各処理オプションに対して事前に定義されたリストから具体的な処理方法/技術を選択する必要があります。

- 治療の種類を選択してください。
    - 取水の前処理
        - 注記：処理プロセスが使用地点（例：飲料水用の給水器）でのみ適用される場合、FEPモジュールでは取水の前処理とはみなされません。
    - 一次処理／前処理
    - 二次処理
    - 三次処理
    - 高度処理 / 液体排出ゼロ（ZLD） / 塩回収

© 2026 Cascale Inc.

- スラッジ処理

推奨されるアップロード:

- 施設の水処理プロセスフローおよび／または水理図。

どのように検証されるか：

必要な書類

- 施設の水処理フローチャートおよび水理図。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 工場内での観察は、工場が報告した水/廃水処理プロセスと一致しています。

認可

1. 貴工場の敷地には、法律で義務付けられている場合、現在有効な操業許可証がありますか？（参照*ID - sipvalidoperatinglicense*）

以下の場合には「あてはまる」を選択してください：あなたの工場が現行の有効な運営許可証を持っている場合 または地元の法律で運営許可証が必要とされていない場合。

次の場合は「いいえ」を選択してください：あなたの工場の運営許可が期限切れで、運営許可の更新手続き中であっても。

お勧めのアップロード

- 有効な運営許可証のコピー。
- 該当する場合、地元の法律で運営許可証が必要でないことを示す証拠。

質問の意図は？

この設問の目的は、施設が事業を運営するために必要な法的認可（例：許可証）を有し、敷地内のすべての製造プロセスおよび事業活動を運営する法的認可を受けていることを実証することです。

どのように検証されるか：

必要な文書:

© 2026 Cascale Inc.

- 該当する場合は、現在有効な操業許可証の写し、およびその他の関連する許可証。

尋ねるべき面接の質問:

- 施設内で、操業許可証を最新の状態に維持する責任者は誰ですか？
- 必要な場合、操業許可証を更新する手順はどのようなものですか？

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 操業許可証上の名称は、施設の事業者名と一致している。
- 該当する場合、有効期限が切れていないことを示すライセンスの有効性。

2. 貴施設には、未解決または未処理の政府発行による環境違反記録がありますか？ （参照*ID - sipgovenvviolation2018*）

次の場合は「はい」と回答してください：貴施設に、未解決または未処理の政府発行による環境違反記録がある。

お勧めのアップロード

- 政府からの違反通知のコピー

質問の意図は？

この質問の目的は、報告対象年度に受けた政府発行による環境違反について、施設が開示することです。

どのように検証されるか：

必要な文書:

- 政府発行の違反通知のコピー。

尋ねるべき面接の質問:

- 環境管理の責任者は、違反を受けた理由を説明できます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 違反に記載された問題の観察、または違反を修正するために完了した行動。

© 2026 Cascale Inc.

- 利用可能な政府のデータベース/記録をオンラインで検索し、違反がないかを確認します。

3. あなたの工場は現在、公共環境研究所（**IPE**）のデータベースに何か記録を持っていますか？ *(参照ID - sipiperecords)*

注釈
- この質問は、中国に所在する施設にのみ適用されます。
- 貴施設がIPEデータベースから記録を削除するための十分な措置を講じていない場合、引き続き現在の記録があるものとして特定されます。

以下の場合は「あてはまる」を選択してください: あなたの工場が現在IPEデータベースに記録を持っている場合。

この質問に「あてはまる」と答えた場合、次のサブ質問が出されます:

- はいの場合、それは何の違反ですか？（該当するものをすべて選択してください）
  - 廃水
  - 空気
  - 廃棄物
  - その他
- はいの場合、あなたの工場はIPEデータベースに登録されていますか？
- あてはまる場合、あなたの工場はデータベースにエンタープライズのフィードバックを提供し、またはデータベースからレコードを削除するための手順を踏んでいますか？

お勧めのアップロード

- IPEデータベースレコードのコピー。
- 該当する場合、レコードを削除するための工場の行動および/または企業のフィードバックの文書。

質問の意図は？

この質問の目的は、該当する場合には工場がIPEデータベースの記録を開示し、データベースから記録を削除するための行動について情報を提供することです。

テクニカルガイダンス:

次の参照リンクは、ユーザーがIPEウェブサイト、記録、およびIPEプラットフォームの使用に関する追加情報にアクセスするのを支援するために提供されています。

© 2026 Cascale Inc.

あなたの工場がIPEに新しければ、これらの情報ページを訪れて詳しく学ぶことをお勧めします:

- IPEホームページ: https://www.ipe.org.cn/index.html
- データへの導入: http://wwwen.ipe.org.cn/InfoDetail/Show.aspx?id=18638&jid=18637&bid=18644&isnb=1
- ユーザーガイド: http://wwwen.ipe.org.cn/InfoDetail/Show.aspx?id=18636&jid=18635&bid=18646&isnb=1
- サプライヤーのリストを検索したり、情報をエクスポートするために必要な法人ユーザーアカウントの登録リンク: http://wwwen.ipe.org.cn/User/UserRegister.aspx

IPEウェブサイト上の記録データベースの閲覧と記録の削除に関するガイダンス:

- IPEレコードデータベース（中国語）: http://www.ipe.org.cn/IndustryRecord/Regulatory.aspx
- Record removal guidance document (Chinese) click “监管记录处理方式”: http://www.ipe.org.cn/GreenSupplyChain/SupplyGCA.aspx
- IPE記録データベース（英語）: http://wwwen.ipe.org.cn/IndustryRecord/Regulatory.aspx
- 記録削除ガイダンス文書（英語）「記録削除へのアプローチ」をクリック: http://wwwen.ipe.org.cn/GreenSupplyChain/SupplyGCA.aspx

注意: もし、あなたのサイトに違反記録があり、IPEに企業のフィードバックを提供したり、データベースから記録を削除する手続きを取りたい場合は、ipe@ipe.org.cnまでご連絡ください。

どのように検証されるか：

必要な文書:

- IPEデータベースレコードのコピー。
- 該当する場合、レコードを削除するための工場の行動および/または企業のフィードバックの文書。

尋ねるべき面接の質問:

- 環境管理を担当するスタッフは、IPE記録が作成された理由と、記録を削除するための工場の計画または行動を説明できます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- IPEレコードに記載された問題の観察、またはレコードを削除するために完了した行動。

© 2026 Cascale Inc.

4. 貴施設の環境許可要件および遵守状況の詳細を提供するため、以下の質問に回答してください。（参照*ID - sippermits*）

この質問では、工場に対して、該当するすべての環境認可に関する以下の情報を提供するための表を完成させるよう求められます。

- 許可の種類（このリストは、許可が必要な環境面のリストで事前に準備されます）
- 許可は必要ですか？
    - あてはまる場合、この認可のステータスは何ですか？
    - 許可証を発行する監督官庁の名称
    - 有効期限はありますか？
    - 有効期限を入力してください（月 / 年）
    - この認可が無効である理由を具体的に教えてください。
        - 「利用可能だが無効」または「認可申請中のため入手不可」が許可状況で選択された場合に必要です。
    - 「利用可能かつ有効」が選択された場合、違反問題を文書化した未解決の法的通知はありますか？

注：「許可が必要ですか？」という質問に回答する際は、以下のガイダンスを使用してください：

- はい：施設には当該環境影響があり、その国または管轄区域において許可が必要であることを意味します。
- いいえ：施設にはその環境影響があるものの、その国または管轄区域では許可が必要ないことを意味します
- 該当なし：施設には当該環境影響がないため、許可を取得する必要がないことを意味します。
- 不明：施設には当該環境影響があるものの、その国または管轄区域で許可が必要かどうかを把握していないことを意味します。

お勧めのアップロード

- 工場に適用されるすべての最新の環境認可/登録のコピー。
- 該当する場合、期限切れの認可の更新申請に関する裏付け証拠。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場がすべての適用可能な法的に必要な環境認可を取得していることを示すことです。

© 2026 Cascale Inc.

テクニカルガイダンス:

すべての法的に必要な環境認可の維持は、基本的なコンプライアンス要件です。以下の項目について、工場が遵守する必要がある許可、認可、ライセンス、登録、証明書、その他のコンプライアンス文書など、工場が遵守する必要があるルールや規制について情報を提供してください。

- 水の使用
- 廃水排出(直接／敷地内)
- 廃水排出(間接的／敷地外)
- 廃水処理(直接／オンサイト)
- 廃水処理(間接的／敷地外)
- 化学品の使用および管理
- 供給設備(点源)の大気排出
- プロセスからの大気排出(一時排出源)
- 固形廃棄物排出
- 統合環境許可(例:一般的な環境排出許可)
- その他の環境認可
    - 注:施設の試運転中に実施した環境影響評価(EIA)は、許可証の表に報告しないでください。
    - その他の環境認可の例は以下の通りです:
        - 工場内での廃棄物の生成、管理、または保管。
        - 特定の化学品の使用に必要な登録/認可。例えば、過マンガン酸カリウムは購入が制限されており、一部の管轄区域では警察署への登録が必要です。これは認可ではなく、法律により必要な登録です - したがって、ここに含める必要があります。

どのように検証されるか:

必要な文書:

- 確認が行われる日付/年に該当する工場に適用されるすべての最新の環境認可/登録のコピー、および報告年度に適用される可能性のある認可/登録。
- 該当する場合、期限切れの認可の更新申請に関する裏付け証拠。

尋ねるべき面接の質問:

- 環境遵守と認可に責任を持つスタッフは、必要なすべての認可が取得され、必要に応じて維持および/または更新されていることを確認するための工場の手順を説明できます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

© 2026 Cascale Inc.

- 許可証の名称と住所は、工場の事業名と一致します。
- 観察結果から、工場はすべての認可要件を遵守して運営されていることが示されています。

環境マネジメントシステム (EMS)

一般的な紹介

環境マネジメントシステム（EMS）は、工場の環境影響を長期的に特定、追跡、管理するための包括的な戦略とプロセスです。包括的な計画なしに工場で環境改善を段階的に行うことは可能ですが、工場が環境パフォーマンスを最大化するためには、環境管理に関する意思決定を導く長期戦略をセッティングすることが必要です。

環境マネジメントシステム（EMS）セクションでは、以下を推奨します：

- 環境管理活動を調整するための専門スタッフがいて、十分な資格と技術知識を持っていることを確認してください。
- すべての法律、規制、基準、およびその他の要件を遵守するためのシステムを開発します。

© 2026 Cascale Inc.

- すべてのスタッフレベルが工場の環境戦略とプログラムを理解し、どのようにプログラムをサポートできるかを確認してください。

各FEPモジュールのEMSに関する質問の目的および基準についての詳細は、以下のガイダンスに記載されています。また、効果的な環境マネジメントシステムの構築および実施を支援する有用な技術ガイダンスおよびリソースも提供されています。

EMS

1. あなたの工場で一人以上の従業員が工場の環境管理活動の調整を担当していますか？ *(参照ID - emsmgmt)*

以下にあてはまる場合は「あてはまる」を選択してください: あなたの工場には、環境管理活動の調整を専門的に担当する、フルタイム、パートタイム、季節従業員、または契約社員がいる。

推奨されるアップロード:

- あなたの工場における環境管理スタッフの構造を裏付ける文書（例：組織図、環境チームメンバーの職務内容など）

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が環境活動を管理するための専門スタッフを持っていることを示すことです。

テクニカルガイダンス：

工場では、施設内の環境管理活動を調整する責任を持つスタッフの役割と責任を明確に定義するべきです。これらの従業員は、環境管理と直接対話し、その目的のために定義された役割を持つ必要があります。役割は、彼らの職務説明または説明責任に必要とされるか、または関連する管理システムの文書によって指定されることができます。最新の環境管理チームの組織図と明確な職務説明を維持することで、明確な責任と説明責任を定義するのに役立ちます。

リソース

国際的に認知されている環境管理スキームに関する追加情報は、以下のリンクで提供されています。

- ISO 14001:2026 環境マネジメントシステム—使用のための指針を伴う要求事項 https://www.iso.org/standard/14001

© 2026 Cascale Inc.

- EUエコマネジメント・アンド・オーディットスキーム（EMAS）
  https://green-business.ec.europa.eu/eco-management-and-audit-scheme-emas_en

どのように検証されるか：

必要な書類

- 工場の環境管理スタッフの構成を示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
  - 環境管理チームの組織図。
  - 環境スタッフのための文書化された職務内容または責任。
  - その他の環境マネジメントシステムの文書。

インタビューの質問

- 工場の環境管理を担当するスタッフは、工場の環境管理と責任構造を説明することができます。
- 環境管理活動の調整を担当する主要なスタッフは、自分たちの役割と責任を理解し、説明することができます。

検査 - 物理的に確認すべき事項:

- 工場内での観察により、工場が報告した環境管理活動が、工場の手順とチーム構造に従って実施および管理されていることが示されています。

3. あなたの工場は会社の環境方針を持っていますか？ *(参照ID - emsenvpolicy)*

以下の場合には「あてはまる」を選択してください: あなたの工場には、組織の長期的な環境管理戦略と一致した文書化された環境方針があり、それはトップマネジメントによって承認されています。

推奨アップロード：

- 工場の環境方針のコピー。
- その他の関連する補足資料で、その方針が会社の環境戦略と統合されていることを示すもの（例えば、環境目標や目標、従業員やステークホルダーとのコミュニケーションなど）

質問の意図は？

© 2026 Cascale Inc.

この質問の目的は、工場が環境への影響を減らすことへのコミットメントを明確に示す環境方針を持っていることを示すことです。

テクニカルガイダンス：

環境方針は、組織が環境への影響を減らすというコミットメントを示します。明確な環境方針を設定することで、工場は環境プログラムを設立し、監視するための枠組みを提供し、すべての内部および外部のステークホルダーに対するコミットメントをコミュニケーションします。

ISO 14001の環境マネジメントシステム認証スキームによって定義される環境方針とは、以下のような方針であるべきです：

- 組織に適切であること。
- 継続的な改善へのコミットメントを含めてください。
- 関連する法的およびその他の要件を遵守することを約束に含めます。
- 環境目標と目標の設定と見直しのための枠組みを提供します。

一般的に、環境方針に必要な形式や内容は特にありませんが、環境問題を解決し、これらに対する組織の文化を概説する重要な側面を考慮することが重要です。以下のリストは、方針に含めることができる側面の一部の例を提供しています：

- 会社にとっての環境問題の重要性を説明します。
- あなたの組織の環境目標と目標（例：資源と材料の消費の削減、気候保護、廃棄物の削減など）。
    - すべての目標と目的が、組織が方針へのコミットメント、連続的な改善、および環境性能を示すことを可能にするパフォーマンス指標によって支えられていることが重要です。
- あなたの組織が環境意識を高め、参加を奨励し、スタッフに環境問題についてトレーニングする方法。
- あなたの組織が運営と供給チェーンの環境影響をどのように評価しているか。
- あなたの組織が、供給業者や請負業者に対して同様の環境的期待をどのように適用しているか。
- あなたの組織が環境目標と目的を内部および外部のステークホルダーにどのようにコミュニケーションするか。

リソース

- ZDHCサプライヤー向けロードマップ・トゥ・ゼロ：
  https://programme.roadmaptozero.com/suppliers

どのように検証されるか：

必要な書類

- トップマネジメントによって承認（署名）された文書化された環境方針。

© 2026 Cascale Inc.

- その他の補足文書で、方針が工場の環境管理戦略と目標と一致していることを示すもの。これには以下のものが含まれる場合があります：
    - 工場の環境目標、目標、KPI、およびこれらが方針に関連してどのように監視されているかについての詳細。
    - ステークホルダーとのコミュニケーションおよび/または方針に関するトレーニングの記録または証拠

尋ねるべき面接の質問:

- 環境管理を担当する工場のスタッフ、トップマネジメント、そして従業員は、工場の方針を理解し、工場がその目標を達成するための努力を説明できます。

検査 - 物理的に見るべきもの：

- 工場内での観察は、工場の環境方針と一致しています（つまり、方針は工場の運営と環境への影響に関連しています）
- サイトへの環境方針の掲示やスタッフへのその他の形式のコミュニケーション。

5. あなたの工場には、環境認可のステータスと更新（適切な場合）を定期的に見直し、監視し、遵守を確保するためのメカニズムがありますか？ *(参照ID - emspermitstatus)*

以下にあてはまる場合は「あてはまる」を選択してください: あなたの工場は、環境認可要件を定期的に見直し、現行の認可要件を監視し、環境認可を更新して遵守を確保するための手順と責任を明確にしています。

推奨アップロード:

- 工場の環境許可状況の確認と監視、許可の更新を行う手続きを支援する文書（例：許可の監視手順の文書化、関連する職務内容または職務、必要な許可のリスト、許可活動/更新要件のカレンダーなど）を確認し、法的要件を満たしていることを確認します。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が環境認可の遵守を監視し、維持するための手順を確立していることを確認することです。

テクニカルガイダンス：

© 2026 Cascale Inc.

適用される環境法規との適合性を維持することは、基本的なビジネスプラクティスです。工場は、認可要件がよく理解され、適合性が維持されることを確認するための確立された手順と明確な責任を持つべきです。

環境許可は、しばしば施設に対して、許可要件を遵守するための行動をとるよう求めます。これには以下のようなものが含まれる場合があります：

- 環境テストまたは報告
- 有効期限がある認可の更新。
- 工場の運営や関連法規の変更に基づいて認可を更新/再申請する。

FEPモジュールのこの質問において、仕組みが整備されているとは、定められたスケジュールに従って環境許可の見直し、監視および更新を行うために、スタッフが責任を担い、確立された慣行に従うことを確保するプロセスを施設が整備していることを意味します。このスケジュールは、施設の環境チームの組織構造および適用される環境許可要件に基づいて定める必要があります。

リソース

- 例認可の在庫および追跡テンプレート: https://howtohigg.org/resources/resources-library/#templates

どのように検証されるか：

必要な書類

- 法的要件を満たしていることを確認するために、施設が環境許可の状況を確認・監視し、許可を更新するための手順を有していることを示す裏付け文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - 適用可能なすべての環境認可のコピーと適用可能なコンプライアンス要件
    - 文書化された認可監視手順
    - 関連スタッフの職務内容または責任範囲のリスト
    - 必要な認可のリストと認可活動/更新要件のカレンダー（例えば、コンプライアンスを維持するための定義されたアクションを持つ認可追跡文書）
    - 是正措置計画（該当する場合）

注: 上記の支援文書は、さまざまな文書に含まれている場合がありますが、それらを総合すると、工場が環境認可を見直し、監視し、更新するメカニズムを持っていることを示す必要があります。

インタビューの質問

© 2026 Cascale Inc.

- 環境管理を担当するスタッフは、認可要件が遵守されていることを確認するための工場のプロセスを説明することができます。
- 許可の監視と更新プロセスに関与する主要なスタッフは、すべての環境許可に対するコンプライアンスを確保するための役割と責任を説明することができます。

検査 - 物理的に見るべきもの：

- 工場内での観察により、適用される環境許可要件が遵守されていることが確認されました（例えば、工場の運営範囲、許可が必要な環境影響や排出物など）。

7. あなたの工場は、環境意識と企業の環境管理戦略についてのトレーニングを従業員に提供していますか？ *(参照ID - emstraining)*

以下の場合は「あてはまる」を選択してください: あなたの工場が全従業員に環境意識と工場の環境戦略についてのトレーニングを提供している。

ノート:

- この質問の趣旨は、少なくともすべての従業員が環境意識および会社の環境管理戦略に関する研修を受けていることです。研修は従業員個人ごとに毎年実施する必要はありませんが、継続的な環境研修プログラムの一環として定期的な間隔（例：2〜3年ごと）で、または施設の環境戦略に重大な変更がある場合に、復習研修を実施することが推奨されます。
- 従業員の役職および／または責任に応じて異なるレベルの研修を提供することがありますが、この質問に「はい」と回答するには、すべての従業員に研修が提供されている必要があります。

お勧めのアップロード

- 工場が全従業員に対してトレーニングを実施したことを示す文書（例：トレーニング計画、トレーニング記録、環境トレーニングに使用された教材、トレーニング後の評価手順および/または記録）

質問の意図は？

この質問の意図は、すべての従業員に環境トレーニングが提供されたことを工場が示すことです。

テクニカルガイダンス：

すべてのレベルの従業員が、工場の環境プログラムと戦略、一般的な環境影響と保護（例えば、環境法、エネルギーと水の節約、廃棄物と化学品管理、廃水の影響、大気排出、気候変動など）について理解していることが重要です。

© 2026 Cascale Inc.

工場は、全従業員との意識と知識の共有を確保するために、正式な文書化されたトレーニングプロセスを持つべきです。環境トレーニングプログラムは、従業員に工場の環境影響を減らすための具体的な行動についての情報を提供し、環境責任の文化を推進することができ、これにより従業員のエンゲージメントと持続可能性目標へのコミットメントが高まります。

従業員は、彼らの地位や責任に適した異なるレベルのトレーニングを必要とする場合があります。例えば、一般的な労働者は、既存の企業の環境的な実践と目標についての認識トレーニングだけが必要かもしれませんが、管理職の人々は、彼らの責任に関連する環境マネジメントシステムや戦略についてより詳細なトレーニングを必要とするかもしれません。

研修プログラムの有効性を評価するための情報を収集する手順（例：研修受講者へのフィードバック質問票またはテスト、講師のパフォーマンスの観察またはレビューなど）を設けることは、施設が環境研修の有効性および知識の定着を確保するのに役立ちます。

どのように検証されるか：

必要な書類

- すべての従業員に対して環境トレーニングを提供したことを示す文書。これには以下のものが含まれる場合があります：
    - すべてのレベルの従業員のためのトレーニングスケジュールとトレーニングの種類を特定するトレーニング計画。
- トレーニング出席記録
- 環境研修で使用する研修資料
- トレーニング評価手順および/または記録

尋ねるべき面接の質問:

- 工場の環境トレーニングプログラムを担当するスタッフは、トレーニングがどのように提供され、該当する場合、トレーニングの効果がどのように評価されるかを説明できます。
- トレーニングを受けた従業員は、トレーニングの内容と工場の環境プログラム、そしてそのプログラムを支える役割について理解しています。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 工場の環境トレーニングプログラムの裏付けとなる証拠（例えば、意識向上のポスターや、工場の環境プログラムや戦略に関連する情報掲示、可能であれば）

8. 貴施設には、従業員が環境事故を報告できるようにする文書化された手順がありますか？（参照*ID - emsreportretaliation*）

© 2026 Cascale Inc.

以下の場合は「あてはまる」を選択してください: あなたの工場には、労働者が環境に関する事故や問題を報告するための文書化された手続きがあり、すべての従業員が報告手続きについてトレーニングを受けています。

注意: あなたの工場が一般的な苦情/従業員のフィードバック手順を持っているが、環境に関する事故/問題を報告するための手順を具体的に概説していない場合、または 従業員が環境報告手順についてトレーニングを受けていない場合、この質問には「いいえ」を選択してください。

お勧めのアップロード

- 環境に関する事故や問題を労働者が報告できるようにするための手順の文書化（例：報告手順、従業員トレーニング、報告テンプレートの例や従業員によって提出された以前の報告など）

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が環境事故や問題を報告するための適切なチャネルを確立し、従業員が報告手順についてトレーニングを受けていることを示すことです。

テクニカルガイダンス：

効果的な環境管理プログラムの一部として、規制違反や環境事故の疑いや実際の報告は、すべての従業員の義務であるべきです。工場は、従業員が環境事故や問題を報告することを促進し、奨励するために、明確な報告チャネルと手順を確立するべきです。これは、工場が違反を報告しない、または環境汚染を減らすための必要な行動を遅らせることを防ぐために重要です。

手順には以下のものを含めるべきです：

- 事故や問題の性質に基づいて、環境に関する事故や問題を報告するための手順の明確な説明（例えば、工場の環境管理、地元の環境局への内部および外部への報告）
- レポートを提出すべき責任者や部署（内部および外部）を特定してください。
- レポートが工場の環境管理チームによってどのように管理またはエスカレートされるかの詳細を含めてください)
- 法執行機関に真実の情報を報告した場合に罰せられたり報復されたりしないという保証を含めてください。

どのように検証されるか：

必要な書類

- 環境事故や問題を報告するための手続きが工場に存在することを示す文書。これには以下のものが含まれる場合があります：

© 2026 Cascale Inc.

- 環境に関する事故や問題の報告手順。
- 従業員のトレーニング出席記録および/またはトレーニング資料。
- インシデントを報告すべき内部および外部の連絡先一覧。
- 従業員によって提出された報告テンプレートや以前の報告の例。

尋ねるべき面接の質問:

- 環境管理を担当するスタッフは、工場の報告手順と従業員がその手順についてどのようにトレーニングを受けるかを説明することができます。
- 従業員は、環境に関する事故や問題をどのように報告するかの手順を理解しています。

検査 **-** 物理的に確認すべきこと**:**

- 工場内の観察により、環境に関する事故や問題を報告する手順が労働者に利用可能であることが確認されました（例えば、報告手順や連絡先の掲示など）。

10. あなたの工場に土壌および/または地下水の汚染はありませんか？ *(参照ID - emscontamination)*

次の場合には「あてはまる」を選択してください：あなたの工場で土壌や地下水の汚染が確認されていない。つまり、工場で危険物質の漏れやこぼれが発生し、それが土壌や地下水の汚染を引き起こしたという事例がないことを意味します。

「一部はい」と回答する場合： 施設において土壌および／または地下水の汚染を引き起こした流出が1件以上あったものの、完全に浄化済みである、または施設が汚染の浄化を進めており、具体的な措置、責任、投資および浄化活動のスケジュールの詳細を含む浄化計画が策定されている場合。

注釈

- もし現在、工場内に土壌および/または地下水の汚染があり、まだ浄化を開始していない場合、この質問には「いいえ」と回答すべきです。
- 有害物質とは、その化学的、物理的、生物学的特性（例：可燃性、爆発性、毒性、放射性、感染性など）により公衆衛生や環境に害を及ぼす可能性のある任意の物質を指します。有害物質は液体、固体、ガス、またはスラッジであり、廃棄物、資源、または原材料である可能性があります。

お勧めのアップロード

- あなたの工場が工場の敷地で土壌および/または地下水の汚染を引き起こしていないことを示す文書（例：土壌および/または地下水の調査報告書、現行の環境影響評価など）。

© 2026 Cascale Inc.

- 該当する場合、土壌および/または地下水の汚染を対処するための修復活動の文書化（例えば、漏洩対応/清掃活動または手順の記録、修復行動計画、汚染土壌および/または地下水が修復されたことを示す後の清掃調査など）。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場がその運営が土壌や地下水の汚染を引き起こしていないこと、または汚染が発生した場合、それが修復されたことを示すことです。

テクニカルガイダンス：

土壌または地下水の汚染とは、土壌または地下水中に人間の健康や周囲の環境に負の影響を及ぼす可能性のあるレベルで有害物質が存在することを指します。

製造業務に関連するさまざまな活動の結果として汚染が発生することがあります。これには、危険物質の漏洩、危険物質の貯蔵タンクやエリアからの漏洩、不適切な廃棄物の処理や保管が含まれます。危険物質が土壌や地下水に入ると、それらは何年も持続し、近くの水路に浸透する可能性があり、これが人間や環境に対する健康リスクを引き起こす可能性があります。汚染を防止し、修復する手順を持つことで、工場は潜在的な環境影響とコンプライアンスリスクを減らすのに役立ちます。

さらに、工場は内部監査/巡回検査を通じて、その運営からの土壌/地下水汚染の兆候をチェックするための手順を持つべきです。

汚染が確認された場合、工場は適切な対策計画を立てて汚染を修復するべきです。これには以下のようなものが含まれるかもしれません：
- 汚染の広がりを防ぐまたは減らすための初期の封じ込め活動。
- 汚染の範囲と深刻さを判断するための土壌/地下水調査。
- 汚染された土壌および/または地下水を除去および/または清掃するための具体的な行動。
- 汚染が修復されたことを確認するための修復後の調査。

どのように検証されるか：

必要な書類

- 工場が施設の敷地で土壌および/または地下水の汚染を引き起こしていないことを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - 土壌および/または地下水の調査報告書。
    - 工場の運営が地下水/土壌を汚染していないことを示す環境影響評価。
    - 内部監査の手続きや記録、汚染のリスクを監視するための現地調査を文書化します。
- 適用される場合、土壌および/または地下水汚染を修復するために行った修復活動の文書化。これには以下が含まれる場合があります：

© 2026 Cascale Inc.

- 漏洩対応/清掃活動または手順の記録。
- 具体的な行動と修復活動のタイムラインを含む修復行動計画。
- 汚染土壌および/または地下水が浄化されたことを示す、クリーンアップ後の調査/報告。

尋ねるべき面接の質問:

- 工場の環境管理を担当するスタッフは、土壌および/または地下水の汚染が発生していないことを確認するための工場の手順と行動、そしてそれがどのように監視されているかを説明することができます。
- 土壌/地下水の浄化に責任を持つスタッフは、汚染を浄化するために工場が取った行動を説明することができます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 工場内の観察結果から、土壌や地下水の汚染は発生していないことが示されています（例えば、危険物質の漏れや廃水の環境への直接排出、不適切な廃棄物処理の証拠などは観察されませんでした）。
- 汚染が適切に修復されたことを示す。

© 2026 Cascale Inc.

エネルギー & GHG

一般的な紹介

エネルギーの生産と使用は、大気汚染と温室効果ガス（GHG）排出の最大の人間による源です。エネルギーの運用、環境、および財務への影響は、工場運営の重要な問題です。エネルギー効率の向上と再生可能エネルギーの使用を工場運営全体に推進することは、すべての工場にとって重要な焦点領域です。

気候変動が世界で最も深刻な人間、環境、経済のリスクとして浮上するにつれて、政府からより厳格な要件や規制が課される可能性があります。あなたの工場がエネルギー消費と温室効果ガス排出を削減すると、規制リスクやブランドからの新たな要件への露出を減らすのに役立ちます。これはまた、化石燃料とエネルギーのコスト増加のリスクを軽減することで、あなたの会社に経済的な利点をもたらす可能性があります。

一般に、FEPのエネルギーおよびGHGセクションでは、以下を推奨します：

- あなたの工場で使用されているエネルギーの種類を特定し理解します。
- あなたの工場で最もエネルギーを消費する操作とプロセスを理解します。

各FEPモジュールのエネルギーおよびGHGに関する質問の目的および基準についての詳細は、以下のガイダンスに記載されています。また、施設におけるエネルギーおよびGHGの管理を支援する有用な技術ガイダンスおよびリソースも提供されています。

© 2026 Cascale Inc.

工場におけるエネルギー使用

エネルギーは、製造施設全体でさまざまな運用および生産活動に使用されます。FEPモジュールでは、施設が以下に挙げるエネルギー源のエネルギー使用データを追跡することを求めています。これらは3つのカテゴリー（購入エネルギー、再生可能エネルギー、非再生可能エネルギー）に分類されます。

購入エネルギー	再生可能エネルギー	非再生可能エネルギー
● 購入電力 ● スチーム購入 ● 購入した冷水 ● 購入暖房（地域暖房）	● バイオディーゼル ● バイオガス ● 地熱 ● 水力発電 ● ミニまたはマイクロ水力発電（工場内） ● 購入した再生可能エネルギー ● 太陽光発電（電気）（工場内） ● 太陽熱（敷地内） ● 風 (工場内)	● CNG - 圧縮天然ガス ● 石炭 - コマーシャル・ミックス (1) ● 石炭水スラリー (2) ● ディーゼル ● 生地廃棄物 ● 混合燃料油 (3) ● LNG - 液化天然ガス ● LPG - 液化石油ガス ● 天然ガス ● ガソリン ● 液化プロパン
バイオマス		
● バイオマス - 認証を受けた持続可能なソースから供給されます。(4) ● バイオマス -サステナブルなバイオマス認証なし。(5)		

注釈

(1) 石炭 - コマーシャル・ミックスは、すべての伝統的な石炭（例えば、無煙炭、ビチューメンなど）を含みます
   - ○ 石油コークスは、FEPでは石炭として報告する必要があります。これは、エネルギーベース（例：MJまたはmmBTU）では、石油コークスと石炭は非常に類似しており、石油コークスの排出係数がわずかに高いためです。

(2) 石炭水スラリーは、水中に懸濁した微細な石炭粒子の可燃性混合物で、燃料源として使用されます。

(3) 混合燃料油には、あらゆる種類の燃料油（例：炉用油、バンカー燃料、灯油など）が含まれます。

(4) バイオマス - 持続可能に調達され、認証があるバイオマスとは、持続可能なバイオマスプログラムからの認証書類を持つバイオマスのことを指します（例：森林管理協議会（FSC）、森林認証プログラム（PEFC）、ISCCバイオマス認証、サステイナブルバイオマスプログラム（SBP）認証、より良いバイオマス認証、国別認証など）。

(5) バイオマス -サステナブルなバイオマス認証なしは、サステナブルなバイオマスプログラムを通じて認証されていない任意のバイオマスを指します。

© 2026 Cascale Inc.

生活と生産のエネルギー使用

FEPモジュールにおけるエネルギー使用は、一般用エネルギー使用または生産用エネルギー使用に分類され、それぞれ以下のように定義されます：

生産以外のエネルギー使用 - 生産に関連しないエリアや建物で消費されるエネルギー、例えば従業員の洗面所、生活排水のみの処理施設、生産から分離されたオフィスエリア、食堂とキッチン、警備員のポスト、外部照明（例：道路や風景照明）、医療センターなど。

生産エネルギー使用 - 生産関連活動や生産エリアで直接的または間接的に消費されるエネルギー。例えば、生産設備の運用、工場内でのエネルギー生成（例：蒸気や電力）、産業用廃水処理プラント、生産エリアの照明、暖房、換気、冷却など。

注意: インダストリアルと生活排水が一緒に処理される場合、混合された排水処理プラントのエネルギー使用量は生産エネルギー使用量に含めるべきです。

FEPモジュールにおける温室効果ガス（GHG）排出量

温室効果ガス（GHG）は、地球の大気中に存在し、地球から放出される放射の一部を吸収/捕捉して地球の温度を維持するガスです（これを「温室効果」と呼びます）。人為的なGHG、つまり人間の活動によって排出されるGHGは、自然の気候変動よりも速く地球を温暖化させており、これを地球温暖化または気候変動と呼びます。エネルギーの生成と使用、輸送、冷媒の使用、その他の活動が環境に害を与える温室効果ガスの排出を生み出しています。IPCCを参照：www.ipcc.ch

GHG排出量は3つの異なる範囲に分類されます:

- スコープ**1** 排出量: 所有または管理下の源からの直接的な排出。
- スコープ**2** 排出量: 購入したエネルギーの生成からの間接的な排出。
- スコープ**3**排出量: 企業の価値チェーンで発生するその他の間接排出。

適用性に関する質問

以下の該当性に関する質問は、FEPモジュールの［サイト情報］セクションで、施設タイプとして「完成品組立業者」および「完成品加工業者」の2つのみを選択した施設にのみ適用されます。

1. あなたの工場は、各工場タイプごとにエネルギー消費を別々に報告することができますか？

- あてはまる
- いいえ

© 2026 Cascale Inc.

「はい」と回答する場合： 貴施設では、FEPモジュールのサイト情報セクションで選択した各施設タイプごとに、エネルギー消費量を個別に追跡しています。

エネルギーと温室効果ガス

1. 貴施設で使用するすべてのエネルギー源を選択してください（会社が所有・管理する車両で使用するエネルギー源は除く）。該当するものをすべて選択してください：（参照*ID - ensourcefacility*）

購入エネルギー

- 購入電力
- スチーム購入
- 購入した冷水
- 購入暖房（地域暖房）

再生可能エネルギー

- バイオディーゼル
- バイオガス
- ミニまたはマイクロ水力発電（工場内）
- 購入した再生可能エネルギー
- 太陽光発電（電気）（敷地内）
- 太陽熱（敷地内）
- 風 (工場内)

注：施設境界内にある太陽光／再生可能電力発電システムを施設が所有しておらず、そのシステムの所有者／運営者からこの再生可能エネルギーを直接購入している場合、これは購入した再生可能エネルギーとして分類する必要があります。

非再生可能エネルギー

- CNG - 圧縮天然ガス
- 石炭 - コマーシャル・ミックス
- 石炭水スラリー
- ディーゼル
- 生地廃棄物（例：工場内または外部源からのスクラップや未使用の生地で、エネルギー生成（例：焼却）に適しているもの）

© 2026 Cascale Inc.

- 混合燃料油
- LNG - 液化天然ガス
- LPG - 液化石油ガス
- 天然ガス
- ガソリン
- 液化プロパン

バイオマス

- バイオマス - 認証を取得したサステナブルな資源。
- バイオマス -サステナブルなバイオマス認証なし。

ノート:

- 施設内にボイラーがある場合、第三者が管理しているかどうかにかかわらず、FEPモジュールで施設内ボイラーとして報告する必要があります。施設内ボイラーで使用する燃料はエネルギー源として選択し、燃料消費量（追跡している場合）は該当する設問で報告する必要があります。
- 貴施設がFEPモジュールに記載されていないエネルギー源（例：外部供給源からの圧縮空気）を使用している場合は、このエネルギー源を生成するために使用されたエネルギーの種類および量を選択して報告する必要があります。
    - この場合、エネルギー供給者から、そのエネルギーがどのように生成されているかを示す裏付け資料を入手する必要が生じる可能性が高いことに注意してください。
    - 例えば、施設が購入電力を用いて生成された圧縮空気を外部供給源から購入している場合、施設は報告する購入電力の合計にこの電力を含める必要があります。
    - この未定義のエネルギー源を生成するために使用されるエネルギーが小規模水力、太陽光発電（電力）、太陽熱または風力である場合は、購入した再生可能エネルギーとしてのみ報告してください。

エネルギー源を選択した後、エネルギー源に関する追加情報を提供するため、以下の副質問が表示されます：

- あなたの工場は、購入したスチームを生成するために使用されるエネルギー源（エネルギーミックス）を知っていますか？ *(参照ID - ensteammix)*

  注：購入した蒸気を生成するために使用された特定のエネルギー源（エネルギーミックス）が不明な場合は、この質問には「いいえ」を選択してください。
    - あてはまる場合、エネルギー源を選択してください。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が使用するすべてのエネルギー源の重要な特性を特定し理解していることを確認することです。

© 2026 Cascale Inc.

テクニカルガイダンス：

あなたの工場のすべてのエネルギー源を理解することは、エネルギーがどこでどのように使用されているか、どれだけ使用されているかを特定し、追跡するためのエネルギー管理の重要な最初のステップです。

この質問に関するFEPモジュールでは、施設は、事業管理下にある（所有、運営、または直接賃借している）敷地の物理的境界内および事業活動で使用されるすべてのエネルギー源を選択する必要があります。

どのように検証されるか：

必要な文書**:**

- 工場で使用されるすべてのエネルギー源と、以下を含む可能性のある関連文書のリスト：
    - エネルギーの購入および/または使用記録（例：請求書、測定記録）
    - エネルギー源の特性に関する下位質問への回答を裏付ける文書。これには以下が含まれる場合があります：
        - スチーム購入の温度と圧力のデータ。

尋ねるべき面接の質問**:**

- エネルギー管理の責任者は、施設のエネルギー源および下位質問で報告されたエネルギー源の補足的な特性（例：購入した蒸気の温度や圧力など）を理解しています。

検査 **-** 物理的に見るべきもの：

- 工場内での観察は、工場が報告したエネルギー源と一致しています（つまり、報告された源は工場で使用されていることが観察されます）

5. あなたの工場はエネルギー使用量を追跡していますか？（会社所有および管理の車両で使用されるエネルギーを除く）*(参照ID - ensourcetrackopt)*

以下にあてはまる場合は「あてはまる」を選択してください：あなたの工場がエネルギー源のうち1つ以上のエネルギー使用量を追跡している（会社が所有し管理している車両で使用されるエネルギーは除く）。

「いいえ」と回答する場合： 報告年度に、1つ以上のエネルギー源からのエネルギー使用量を追跡していなかった場合。

© 2026 Cascale Inc.

この質問に「はい」と回答した場合、以下の質問が表示されます。

6. 貴施設では、使用する各エネルギー源からのエネルギー使用量を追跡していますか？（参照*ID - ensourcetrackopteach*）

「はい」と回答 する場合：貴施設内のすべてのエネルギー源から使用されるエネルギー量を追跡している場合。

「部分的にはい」と回答する場合： 貴施設内の少なくとも1つのエネルギー源から使用されるエネルギー量を追跡しているが、すべてのエネルギー源については追跡していない場合。

お勧めのアップロード

- すべての適用可能なエネルギー源について、工場がエネルギー消費を特定し、追跡していることを示す文書（例：エネルギー源の在庫および/または追跡記録、エネルギー購入の請求書やメーター記録のサンプルなど）。

  注意**:** 全ての公共料金の請求書をアップロードする必要はありませんが、検証の際には確認できるようにしておく必要があります。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場がすべてのエネルギー源からのエネルギー使用を特定し、追跡していることを示すことです。

テクニカルガイダンス：

すべてのエネルギー源からのエネルギー使用量の測定は、企業のエネルギー管理と全体的な持続可能性プログラムの基盤です。すべてのエネルギー源の測定により、エネルギー使用量が大きいエリアを特定し、異常な消費を検出し、エネルギー削減の目標を設定し、GHG排出量を計算することができます。

エネルギーの追跡と報告プログラムを設定する際には、以下のことから始めてください:

- ビジネスと運用のプロセスをマッピングし、エネルギー使用の源を特定します。
  - 注：貴施設が所有または管理していない、敷地内の施設またはテナントが消費したエネルギーは除外する必要があります。
- エネルギー使用データの収集と追跡の手順を確立します：
  - 購入電力、蒸気、その他の適用可能なソースの量を決定するために、公共料金の請求書を使用します。

© 2026 Cascale Inc.

- ディーゼルを発電機に、石炭をボイラーに使用するなど、工場内でのエネルギー生成に使用されるその他の燃料を追跡します。これらは工場が所有または管理しています。
    - 再生可能エネルギーが社内で生成される場合、生成された再生可能エネルギーの量を追跡するためのサブメーターをインストールします。
    - エネルギー使用量を決定するために試算技術が使用される場合、計算方法は明確に定義され、検証可能なデータによって裏付けられるべきです。
- 記録追跡データ（例：日次、週次、月次の消費記録）を、検証時のレビュー用に関連する裏付け証拠を保持しながら、レビューしやすい形式で（例：スプレッドシート（例：Microsoft Excel）またはデータを人間が読める形式（例：Excel、csv）でエクスポートできるデータ分析プログラム）記録します。

必要な書類

- エネルギー使用データを裏付ける文書には、以下が含まれる場合があります：
    - エネルギー消費記録（例：公共料金の請求書、メーター記録など）
        - 注意: 年次消費記録は、詳細な消費記録がレビュー可能であれば、スプレッドシート（例：Excel）にまとめても構いません。
    - 適用される場合のエネルギー測定器の校正記録（例：メーカーの仕様による）
    - 該当する場合、文書化された見積もり方法論。

インタビューの質問

- エネルギーを管理する担当者は、工場のエネルギー追跡プログラム（例えば、エネルギー源の特定方法やエネルギー量の追跡方法）を説明することができます。
- 主要なスタッフは以下を理解するべきです：
    - エネルギー使用を追跡するための手順。
    - エネルギー使用追跡プログラムのデータ品質がどのように維持されているか。
    - 年次エネルギー使用量を計算するために使用される任意の試算方法論。

検査 - 物理的に見るべきもの：

- すべてのエネルギー源が適切に識別され、追跡されています。
- 該当する場合、エネルギー使用量を測定するための適切な装置（例えば、メートル）

© 2026 Cascale Inc.

水

一般的な紹介

地球上の水は有限です。水の全球的な需要の増加は、ビジネスにリスクをもたらすだけでなく、より広範なスケールでコミュニティと地球にリスクをもたらします。水の使用による運用上、環境上、財務上の影響は、工場運営にとって重要な問題です。工場運営全体での水の効率的な使用と削減を推進することは、すべての工場にとって重要な焦点領域です。

一般的に、FEPモジュールの水セクションでは、以下を推奨しています：

- 工場でのすべての水源と使用法を特定し、理解します。
- あなたの工場で最も多くの水を使用する操作とプロセスを理解します。
- 貴施設における水使用量を追跡してください。

FEPモジュールの各水に関する設問の目的および基準の詳細は、水使用の管理において貴施設を支援する有用な技術ガイダンスおよびリソースとともに、以下のガイダンスに記載されています。

あなたの工場での水の使用

FEPモジュールでは、水使用を、以下に定義する生産用または一般用のいずれかに分類します：

- 生産に使用される水：製品を作るために使用される製造プロセスや操作で使用される水（例：染色やすすぎ水、蒸気生成、製品に適用される混合物に使用される水、製造プロセス中に製品に接触する機器部品やツールの清掃など）。

- 生活用途に使用する水：トイレ、衛生、飲料、食品調理、景観灌漑、非接触冷却などに使用する水。

FEPでは、施設で使用している水源を選択することが求められます。FEPモジュールには、選択可能な事前定義済みの水源一覧が含まれています。以下の表では、FEPモジュールで利用可能な水源の選択肢について説明します。これらはブルーウォーター源とグレーウォーター源に分類されます。

© 2026 Cascale Inc.

水源	説明
ブルーウォーター源 ブルーウォーターは淡水表面と地下水であり、つまり、淡水湖、川、および帯水層の水です	
地表水	地球の表面で自然に存在する水（氷床、氷帽、氷河、氷山、池、湖、川/小川、湿地、泥炭地など）。地表水は溶解固形物の濃度が低く、品質が適しており、または生活、市町村、農業用途に使用するための最小限の処理が必要です。
地下水	土壌表面下の土壌中の水で、通常は水中の圧力が大気圧よりも高く、土壌の空隙は大部分が水で満たされています。非再生可能な地下水は一般的に深い深度に位置しており、容易に補充することができないか、非常に長い期間にわたって補充されます。これらは時々「化石」地下水源と呼ばれます。
市営ブルーウォーター	ブルーウォーターから生成される、自治体その他の公的または民間の供給者によって供給される水。これには、工業団地またはその他の民間供給者によって供給されるブルーウォーターも含まれます。
市水（起源不明）	水源が不明な、自治体またはその他の公的もしくは民間の供給者から供給される水（例：ブルーウォーターまたはグレーウォーター）。これには、工業団地またはその他の民間供給者から供給される、水源不明の水も含まれます。
汽水表面水・海水	塩分濃度が比較的高い（10,000 mg/l以上）水。比較すると、海水の塩分濃度は通常35,000 mg/l以上です。汽水は淡水よりも塩辣ですが、海水ほどではありません。これは、河口などで海水と淡水が混ざることによるものである場合もありますが、特定の人間の活動によっても汽水が生成されることがあります。汽水は、ほとんどの陸生植物種の成長にとっては厳しい環境です。
外部蒸気源からの凝縮水	工場に位置していない蒸気源からの凝縮水が生成する水。
雨水	降水（例えば、雨や雪）としての水は、屋根や他の表面から工場内で収集され、使用するために保存されます。
グレーウォーターの源 グレーウォーターとは、人間の活動（例：インダストリアル、または生活源）によって汚染された水のことを指します	
中水道	グレーウォーターによって生成される、自治体やその他の公共のプロバイダーによって提供される水。

© 2026 Cascale Inc.

再利用水	物理的、化学的、および/または追加の処理プロセスを使用して処理され、プロセスや国内目的で再利用できる品質に達した廃水。例えば、膜濾過プロセスを経てインダストリアルな操作に再利用される廃水は、再利用水と見なされます。これには、冷却塔や非接触熱交換操作などの操作で循環される水は含まれません。
水の再利用	一つのプロセスから排出される廃水が、処理せずに直接別のプロセスで使用されます。これには、冷却塔や非接触熱交換操作などの操作で循環する水は含まれません。
外部からの廃水処理	物理的、化学的、および/またはその他の追加的な処理プロセスを使用して、他の製造工場などの外部ソースによって排出および処理された廃水の品質を改善し、再度プロセスで使用できるようにする。
外部からの未処理廃水（内部処理済み）	外部の源泉（例えば、他の製造工場）から排出された廃水が、物理的、化学的、またはその他の追加的な処理手段を用いてあなたの工場で処理され、再度プロセスで使用できる品質に達するようになります。

水使用

1. 貴施設で使用するすべての水源を選択してください：（参照*ID - watsource*）

- 水源カテゴリ
  - ブルーウォーター
    - 地表水
    - 地下水
    - 市営ブルーウォーター
    - 市水（起源不明）
    - 汽水表面水・海水
    - 外部蒸気源からの凝縮水
    - 雨水
  - グレーウォーター
    - 中水道
    - 再利用水
    - 水の再利用
    - 外部からの廃水処理
    - 外部からの未処理廃水（内部処理済み）

© 2026 Cascale Inc.

注: 上記の水源の定義についての情報は、水ガイダンスの導入部分を参照してください。

水源を選択した後、水源および使用量の追跡に関する追加情報を提供するため、以下の一連の質問が表示されます:

2. 貴施設では、水使用量を追跡していますか？（参照*ID - watsourcetrackopt*）

    - あてはまる
    - いいえ

以下の場合には「あてはまる」を選択してください: あなたの工場が1つ以上の水源からの水の使用を追跡している。

注: この質問に「いいえ」と回答した場合、以降の質問は表示されません。

3. 貴施設では、使用するすべての水源からの水の消費量を追跡していますか？（参照*ID - watsourcetrackoptall*）

    - あてはまる
    - 部分的にあてはまる
    - いいえ

以下の場合には「あてはまる」を選択してください: あなたの工場がすべての 水の使用源を追跡している場合。

部分的にあてはまる場合: あなたの工場が1つ以上の水源からの水の使用を追跡していますが、すべての水源からは追跡していません。

注: この質問に「いいえ」と回答した場合、すべての水源について水使用量を追跡していないことを意味し、前の質問への回答も「いいえ」である必要があります。この場合、以降の質問は表示されません。

お勧めのアップロード

- 工場が水源を特定し、該当する水源の水消費を追跡していることを示す文書（例：水源の目録および/または追跡記録、水購入の請求書や測定器の記録のサンプルなど）。

注意: すべての公共料金の請求書やメーターの記録をアップロードする必要はありませんが、検証の際には確認できるようにしておくべきです。

これらの質問の目的は何ですか？

© 2026 Cascale Inc.

これらの質問の目的は、工場が使用している水の源泉と、各源泉から使用される水の量を理解するのを助けることです。

テクニカルガイダンス:

すべての源からの水の使用を特定し、測定することは、水管理プログラムおよび企業の全体的な持続可能性プログラムの基盤です。すべての水源を測定することで、大量の水を使用しているエリアを特定し、異常な消費を検出し、水の使用ベースラインと削減目標を設定することができます。さらに、生活用水と生産用水の使用を別々に追跡することで、工場は改善と節約のための特定のエリアをさらに特定するのに役立ちます。

あなたの水の追跡と報告プログラムを設立する際には、以下のことから始めてください:

- ビジネスおよび運用プロセスをマッピングして、水源、水を消費するエリア/プロセスを特定します。
- 水の使用データを収集し追跡するための手順を確立します:
    - 公共料金の請求書を使用して、購入した水の量を決定します。
    - 雨水、再利用水など、その他の適用可能な源からの水消費を追跡する方法を決定します。
    - 現地で使用される水の量を追跡するためのサブメーターをインストールします。
    - 水の使用を決定するために試算技術が使用される場合、計算方法は明確に定義され、検証可能なデータによって支持されるべきです。
    - サイトが水をどのように取得し、その水がどこから来て、誰がまたは何がその水を供給しているかについての情報を収集します。
- 記録追跡データ(例:日次、週次、月次の消費記録)を、検証時のレビューに必要な関連する証拠を保持しながら、レビューしやすい形式で(例:スプレッドシート(例:Microsoft Excel)またはデータを読み取り可能な形式(例:Excel、csv)でのエクスポートを可能にする類似のデータ分析プログラム)記録します。

どのように検証されるか:

工場の水源を検証する際、検証員は必ず 不正確さを生じさせる可能性のある工場の水追跡プログラムのすべての側面を見直さなければなりません。これには以下が含まれます:

- 初期のデータ収集プロセスとデータソース(例えば、請求書、現地の測定器、メーターログなど);そして
- データを集約するためのプロセスとツール(例えば、スプレッドシートの計算、単位の変換など)

必要な書類

- 水源および水使用データを裏付ける文書。これには以下が含まれる場合があります:

© 2026 Cascale Inc.

- 工場で使用されるすべての水源のリスト。
- 水の消費記録（例：公共料金の請求書、メーターの記録など）
  - 注意: 年次消費記録は、詳細な消費記録がレビュー可能であれば、スプレッドシート（例：Excel）にまとめても構いません。
- 該当する場合の水メートルの校正記録（例：メーカーの仕様による）
- 該当する場合、文書化された見積もり方法論。

尋ねるべき面接の質問:

- 水の管理を担当するスタッフは、工場の水の追跡プログラム（例えば、水源の特定方法や水の使用量の追跡方法）を説明できます。
- 主要なスタッフは以下を理解するべきです:
  - 水の使用を追跡するための手順。
  - 水の使用追跡プログラムのデータ品質がどのように維持されているか。
  - 年次の水の使用を計算するために使用される任意の試算方法論。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- すべての水源が適切に特定され、追跡されています。
- 該当する場合、水の使用を測定するための適切な装置（例えば、測定器）が存在します。

6. 貴国では、法的に義務付けられた地下水取水制限がありますか？ （参照*ID - watgroundlegalreq*）

次の場合には「あてはまる」を選択してください：工場が運営する国または管轄区域で、工場に適用される法的に義務付けられた地下水の抽出制限が存在する（例：抽出できる水の量に制限がある）。

以下の場合、不明を回答してください： あなたの工場が運営している国や管轄区域で、法的に義務付けられた地下水の取水制限の存在または非存在を確認できない場合。

あてはまるを選択した場合、次のサブクエスチョンが表示されます：
- あなたは法的な制限内で抽象化していますか？

お勧めのアップロード

- あなたの国または運営地域で地下水の取水制限を規定する適用法または規制のコピー（例：水資源管理法、水利用許可、地下水保護規制など）。
- 工場の地下水抽出許可証のコピー、許可される抽出量、制限事項、および適用可能な監視または報告要件を示しています。
- 地下水の抽出/消費の追跡記録（例：メーターのログ）。

© 2026 Cascale Inc.

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が地下水の取水に関連する適用可能な法的要件を理解し、それに準拠していることを確認することです。

テクニカルガイダンス:

法的に義務付けられた地下水の取水制限は、通常、過剰な取水を防ぎ、環境を保護し、水供給と自然生態系や周辺コミュニティを含むさまざまな利用者の需要とのバランスを維持するために設けられています。

施設は、地下水の取水に関連する適用可能な法的要件および/または制限を理解し、遵守を確保するための適切な手順と実践を確立することが重要です。施設が地下水の取水に認可またはライセンスを必要とする場合、施設は認可と適用規制を見直し、すべての要件（例えば、許可される取水量、モニタリング、報告要件）が完全に理解されていることを確認するべきです。

どのように検証されるか:

必要な書類

- 地下水の取水に関連する適用可能な法的要件を知り、それに準拠していることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります:
    - あなたの国または運営地域で地下水の取水制限を規定する適用法または規制のコピー（例:水資源管理法、水利用許可、地下水保護規制など）。
    - 工場の地下水抽出許可証のコピー、許可される抽出量、制限事項、および適用可能な監視または報告要件を示しています。
    - 地下水の抽出/消費の追跡記録（例:メーターのログ）。

尋ねるべき面接の質問:

- 工場で水管理と地下水の取り扱いを担当するスタッフは、地下水の取り扱いに関連する適用可能な規制や認可要件を理解しており、工場の地下水使用の監視手順と適用要件の遵守を確保する手順を説明することができます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 現地の観察結果から、工場は地下水の井戸を適用可能な要件（例えば、すべての井戸に必要な認可があり、抽出/消費記録が許容量を超えていない）に従って運用していることが示されています。

© 2026 Cascale Inc.

廃水

一般的な紹介

廃水は、適切に管理、処理、および/または処分されない場合、周囲の自然システムやコミュニティの汚染と汚染の大きな要因となることがあります。廃水の運用、環境、および財政的影響

© 2026 Cascale Inc.

は、工場運営の重要な問題です。効率的な水の使用を推進し、工場運営から環境へ排出される汚染物質の量を減らすことは、すべての工場にとって重要な焦点領域です。

一般に、FEPモジュールの排水セクションでは、以下を推奨します：

- あなたの工場での廃水源を特定し、特性を評価してください（例：生活、および産業用廃水）。
- あなたの工場から発生し排出される廃水の量を追跡します。
- 該当する場合、工場内または工場外の処理に対するすべての法的要件を満たすように、廃水の排出を確認してください。
- 工場内の廃水処理システムが適切に設計および運用されていることを確認し、処理システムの故障時に備えた緊急計画が整っていることを確認してください。
- 工場内で生成されるスラッジを特定し、特性を把握し、追跡し、適切に処分されることを確認します。

FEPモジュールの各排水に関する設問の目的および基準の詳細は、排水管理において貴施設を支援する有用な技術ガイダンスおよびリソースとともに、以下のガイダンスに記載されています。

ZDHCの協働およびリソース

Cascaleの協力組織の一つであるZDHC Foundationは、FEPモジュールガイダンス全体で参照されている、排水管理および排水放流に関するさまざまな基準やリソースを開発しています。ZDHC、その取り組み、およびリソースの詳細については、本ガイダンス内のリンクを参照するか、以下のウェブサイトをご覧いただくことをお勧めします：
https://www.roadmaptozero.com/?locale=en。

ZDHCのRoadmap to Zeroプログラムの基盤となる要素の一つは、ZDHC排水ガイドラインです。これは、繊維、皮革、履物業界のサプライチェーン全体における産業排水および汚泥に対し、世界で統一された単一の期待事項を定める、随時更新される文書です。このガイドラインでは、排水の排出、汚泥の品質、および処分経路に関する指針を定めています。ZDHC排水ガイドラインおよびその他の関連する補足ガイドラインと参考資料は、こちらで確認できます：
https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/output。追加情報は、eRoad to Zeroナレッジベースでもこちらから確認できます：
https://knowledge-base.roadmaptozero.com/hc/en-gb/sections/25976839462941-Output

ハードグッズ工場向けのガイダンス: ZDHC廃水ガイドラインはハードグッズ製造業者に直接適用されるものではありませんが、適切な場合にはガイドラインに準拠するか、または同等の業界ベストプラクティスを採用することを推奨します。

あなたの工場の廃水

排水はさまざまな水源から発生する可能性があります。FEPモジュールでは、排水は以下のように分類されます：

© 2026 Cascale Inc.

- 生活排水: トイレ、入浴、個人の洗濯、キッチンなどの生活/衛生的な使用から発生する廃水.

- 産業用廃水: 製造プロセスで使用され、有益な使用のための品質基準を満たさなくなった水（例：生産、潤滑、冷却、メンテナンス、生産機械の清掃などからの廃水）

- 雨水: 降水（例えば、雨水）から生じる水 それが集まり、屋根、硬い表面、駐車場などから流れ出る（時々地表水の流出と呼ばれる）

以下の表は、FEPモジュールにおいて生活排水または産業排水として分類される一般的な排水源の例を示しています。

生活排水	産業用廃水
● 寮の廃水 ● 食堂/キッチンの廃水 ● オフィスの廃水 ● 非接触冷却水 ● コンプレッサーまたはボイラーからのブローダウン	● 廃水を処理する ● 工場のメンテナンス廃水 ● 廃棄物ガス処理工場の廃水 ● 石炭/廃棄物/スラッジの浸出液 ● 接触冷却水

ノート：

- FEPモジュールでは、施設は本ガイダンスの定義に従って排水を分類する必要があります。ただし、FEPモジュールの範囲外であっても、施設は生活排水および産業排水の分類と放流に関して適用されるすべての法的要件を引き続き遵守することが求められます。
- 非接触冷却水 - FEPモジュールでは、非接触冷却水は生活排水とみなされます。これは、冷却工程中に水が汚染されず、その結果、温度差以外に水質の悪化が予想されないためです。
- 接触式冷却水 - 繊維／アパレル／履物セクターでは通常見られませんが、アクセサリー、家庭用家具、およびアウトドアスポーツ用品のハードグッズ製造ではより一般的です。FEPモジュールでは、冷却水が汚染される可能性があるため、接触式冷却プロセスからの排水は産業排水に分類されます。
    - 接触式冷却水の例には、硬度または強度を高めるための加熱金属の直接焼入れ、ならびに、敷地内に存在する排出物によって水が汚染される可能性がある場合の、温度調節（設備、製品および作業者のため）のための工業用建物内のウォーターカーテンが含まれます。

廃水処理

© 2026 Cascale Inc.

排水を処理するための最も適切または効果的な選択肢は、排水の成分および量、適用される法的要件、利用可能な外部インフラ（例：敷地外の処理施設）など、多くの要因によって異なります。FEPモジュールでは、施設の排水処理は以下のいずれかに分類されます：

- 施設内廃水処理のみ: これは、工場内の廃水処理プラントで施設が管理/運営する施設内で行われる処理です。施設内処理の後、廃水は環境に排出されます。

- ゼロ液体排出（**ZLD**）: ZLDは、液体の形で施設から水が排出されないように設計された施設内処理の一種です。施設内にZLD処理システムを備えた施設では、ほぼすべての排水が処理・回収されるため、施設から排出される水は、蒸発または処理施設の運転により生じる汚泥中の水分としてのみ存在します。（出典：ZDHCナレッジベース－用語集：https://knowledge-base.roadmaptozero.com/hc/en-gb/sections/360002796277-Glossary）。

注：生活排水が排出されている場合でも、産業排水の液体排出がなければ、その施設にはZLD処理システムがあるとみなされます。貴施設が生活排水のみを排出し、産業排水を発生させない場合、生活排水がZLDシステムで処理されていない限り、貴施設はZLD処理システムを有するとみなされません。

- 敷地内排水処理＋敷地外処理：施設内で最初に処理を行い、その後、追加処理のために敷地外の第三者処理施設へ排出する処理です（部分的な敷地内処理とも呼ばれます）。

- 施設外排水処理のみ：これは、政府または民間が所有・運営する場合がある第三者の排水処理サービス提供者によって、施設外で行われる処理です。施設外処理では、施設の未処理排水は施設外の処理施設へ直接排出されます。

- 浄化槽システム: 浄化槽システムは地下の廃水処理構造で、自然/一次プロセスの組み合わせを使用して廃水を処理します。このプロセスは通常、浄化槽内で固形物が沈殿し、排水場を通じて土壌に廃水が排出されることで終了します。

適用性に関する質問

廃水セクションで完了する必要がある質問を決定するためには、以下に記載されている適用性の質問を完了する必要があります。

適用性の質問を完了した後、施設は以下の要素に基づいて分類され、その廃水タイプと処理場所に関連する適用可能な質問に回答します：

- 生成される廃水の種類（つまり、生活、インダストリアル、または両方）；そして
- 生活、インダストリアル、および/または両方の組み合わせの廃水処理の種類と場所。廃水処理の場所には以下が含まれます：
    - 敷地内処理のみ。

© 2026 Cascale Inc.

- ゼロ排水（ZLD）システムで工場内で処理されます。
- オフサイト処理のみ。
- 工場内で処理され、その後さらなる処理のために工場外の処理センターに排出されます。
- 敷地内の浄化システムへ送られる（国内の生活排水にのみ適用されます）
- 密閉された浄化槽に送られ、その後、さらなる処理のために工場外に排出されます（生活排水のみ適用）
- 雑排水は敷地内でのみ処理され、処理後に環境へ直接放流される。汚水は敷地内の浄化槽システムへ送られる
    - 注記：FEPでは、汚水は病原体、糞便、尿、および水洗トイレからのその他の衛生廃棄物を含む可能性がある、トイレからの排水と定義されています。
- 未処理

1. あなたの工場は産業用廃水を生成しますか？

- あてはまる
- いいえ

注意：産業用廃水の定義については、ガイダンスの導入部分を参照してください。

2. 貴施設ではゼロ液体排出を実施していますか？

- あてはまる
- いいえ

注：ゼロ液体排出（ZLD）の定義については、ガイダンスの「はじめに」セクションを参照してください。貴施設に生活排水しかなく、産業排水が発生しない場合、生活排水がZLDシステムで処理されない限り、貴施設はZLD処理システムを有しているとはみなされません。

3. インダストリアルと生活排水を一緒に処理していますか？

- あてはまる
- いいえ

4. あなたのインダストリアル/生活/混合された排水はどこで処理されていますか？

© 2026 Cascale Inc.

- 敷地内処理のみで、処理後に直接環境に排出されます。
- オフサイト処理のみ。
- 施設内で処理した後、さらなる処理のために施設外へ排出する。
- 敷地内の浄化システムへ送られる（生活排水のみ適用）
- ゼロ排水
- 未処理

廃水

1. 貴施設では排水量を追跡していますか？ （参照*ID - wwtrackopt*）

以下の場合は「はい」と回答：貴施設が、FEPモジュールの報告年度において、すべての排水源（例：生活排水、産業排水、またはその混合）から放流された排水量を追跡していた場合。

「部分的にはい」と回答する場合：FEPモジュールの報告年度に、**1**つ以上、ただしすべてではない排出源（例：生活排水、産業排水、および／または混合排水）から排出される排水量を追跡した場合。

お勧めのアップロード

- 該当する源泉から排出された廃水の量を工場が追跡したことを示す文書（例：廃水排出の追跡記録、メーター記録/ログ、廃水処理の請求書など）。

注意**:** すべての測定器の記録/ログまたは請求書のアップロードは必須ではありませんが、検証時には確認できるようにしておく必要があります。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が工場から排出される廃水の量を追跡していることを示すことです。

テクニカルガイダンス：

廃水追跡は、日次の運用とどの運用が廃水量に影響を与えるかを見ることを可能にします。また、廃水量を知ることは、潜在的な環境影響と運用コストにも関連しています。

工場で発生するすべての製造および/または商業活動からの廃水（生活とインダストリアル）を含むすべての廃水の追跡を行うべきです。また、工場で再利用/リサイクルされる廃水も追跡に含めるべきです。

あなたの水の追跡と報告プログラムを設立する際には、以下のことから始めてください：

© 2026 Cascale Inc.

- 工場のエリアとプロセスをマッピングして、廃水が発生し排出される場所を特定します。
- 廃水データを収集し追跡するための手順を確立します：
    - オンサイトの測定器を設置するか、オフサイトの処理工場からのメーター付き請求書を使用します。
    - 廃水の生成量を決定するために試算技術が使用される場合、計算方法は明確に定義され、検証可能なデータによって裏付けられるべきです。
- 記録追跡データ（例：日次、週次、月次記録）を、レビューしやすい形式（例：Microsoft Excelまたはデータを人間が読める形式でエクスポートできる類似のデータ分析プログラム）で記録し、検証時のレビュー用に関連する証拠を保持してください。

廃水量の追跡

廃水量を追跡する最も正確な方法は、メータリングシステムを使用することです。機械式メータと超音波メータは、廃水量を追跡するために広く使用されています。工場は、廃水が環境に排出される前に、すべての廃水排出ポイントにメータを設置する必要があります。工場が自己の排水処理施設（ETP）を持っている場合、メータは廃水処理施設の出口に設置する必要があります。工場は、正確な廃水排出量を追跡するために、定期的にメータからデータを収集する必要があります。この方法は、生活と産業用廃水の両方に適用されます。

工場が廃水排出量を追跡するための測定器を持っていない場合、以下に示す見積もり技術のいずれかを含む試算方法を使用することができます。

- 工場が生産プロセスと生活用途のための入力水量（測定器または請求書）について正確なデータを持っている場合、工場は入力水量を使用して廃水排出量を試算することができます。工場は、冷却塔の蒸発作用または蒸発による損失や灌漑など、水の使用または損失を見積もり廃水量を試算する際に考慮する必要があるかもしれません。
- 廃水排出量のデータを含む公式環境報告書の使用（例：環境影響評価報告書、環境認可申請書、政府のコンプライアンス報告書、または工場外廃水処理の請求書）。
    - 注意:　一部の場合、工場外の廃水処理施設からの廃水処理の請求書には処理された廃水の量が記載されていない場合があります。代わりに、請求書には総処理費用（例：100 USD）と単位処理費用（1 USD/立方メートル）が記載されています。[3]）。この場合、工場は総処理費用と単位コスト（例：総処理費 ÷ 単位処理費 = 廃水量）を用いて廃水量を手動で計算し、記録する必要があります。
- 工場が入力水量を示す文書を持っていない場合、異なる生産プロセスと特定の消費に基づいて産業用廃水の量を見積もることができます。
    - 例えば、染色工場では、染色レシピに各染色バッチで必要な水量が記載されている場合や、染色機に各バッチで必要な水量に関する仕様が示されている場合があります。施設は、各染色レシピの生産量および各染色機の生産量を収集する必要があります。その後、機械ごとの各レシピの生産用水使用量および各レシピ／機械で必要な水量に、それぞれの生産量を乗じて手作業で計算できます。最後に、すべての生産用水使用量を合計します。この推定生産用水量は、放流された産業排水の推定量とみなすことができます。施設は、生産工程中の蒸発による損失も考慮する必要がある場合があります。

© 2026 Cascale Inc.

さまざまなソースからの水の使用を計算するのに役立つツールはここで見つけることができます：http://waterplanner.gemi.org/calc-waterbalance.asp.

生活排水追跡（浄化槽システムを含む）：

生活排水の流量と排出量を現地の測定器で追跡することは一般的ではありませんが、排出される生活排水の量と質を正確に追跡するために強く推奨されています。

生活排水の排出メーターデータや実際の排出データが利用不可の場合、工場は、サイトの総水使用量、生活目的で使用される試算量、そして損失（例：蒸発作用または蒸発）による試算量を引いたものに基づいて、排水排出量を見積もることを検討できます。

- たとえば、生活用の廃水のみを使用するサイトが月に150m^3の市水を使用し、その水の10%が蒸発作用または漏れにより失われると見積もる場合、排出される廃水の量は135m^3(150m^3 - 10%)と報告します。

工場での水の使用は、利用可能な地元/地域のデータやメーカーの仕様（例えば、トイレ設備の定格リットル数）に基づいて、人数、施設の数と種類、蛇口、トイレ、シャワー、灌漑などによっても試算することができます。

注意：試算技術を使用する場合、これは完全に文書化され、一貫して適用され、関連するソースから導き出された合理的な試算要素に基づいている必要があります（例えば、製造業者の仕様、1人あたりの下水量に関する地域データなど）。

どのように検証されるか：

工場の廃水データを検証する際、検証員は必ず不正確さを生じさせる可能性のある工場の廃水追跡プログラムの全ての側面を見直さなければなりません。これには以下が含まれます：

- 初期のデータ収集プロセスとデータソース（例えば、請求書、現地の測定器、メーターログなど）；そして
- データを集約するためのプロセスとツール（例えば、スプレッドシートの計算、単位の変換など）

不整合やエラーが指摘された場合、可能な限り報告された情報を修正し、詳細なコメントを検証データフィールドに含めるべきです。

必要な書類

- 該当する源から排出された廃水の量を追跡した証明書類。これには以下が含まれる可能性があります：
    - 廃水排出記録（例：月次の請求書や年次の排出記録、測定器の記録/ログなど）

© 2026 Cascale Inc.

    - 注意: 年次排出記録がスプレッドシート（例：Excel）でまとめられている場合でも、詳細な排出追跡データがレビュー可能であれば問題ありません。
- 適用される場合のメートル校正記録（例：メーカーの仕様による）。
- 試算方法は、適用可能な場合に文書化されています。
- 施設内のすべての排水源が完全に追跡されています。

尋ねるべき面接の質問:

- 廃水を管理する担当者は、工場の廃水追跡プログラム（例えば、廃水源の特定方法や排出量の追跡方法）について説明できます。
- 主要なスタッフは以下を理解するべきです:
    - 廃水量を追跡するための手順。
    - 廃水追跡プログラムのデータ品質がどのように維持されているか。
    - 年次廃水排出量を計算するために使用される任意の試算方法論。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- すべての廃水源が適切に特定および追跡されています。
- 該当する場合、廃水の測定に適した設備（例えば、測定器）が存在します。

3. 貴施設には、雨水が環境へ排出される前に汚染されることを防ぐ仕組みがありますか？ （参照*ID - wwstormwatermixing*）

あてはまる場合: あなたの工場には、工場から環境に排出される前に雨水が汚染されないようにするメカニズムがあります。

注：この質問では、「メカニズム」は雨水汚染を防ぐための手順、慣行、および/または保護措置を指します。

該当なしと回答する場合: あなたの工場が複数階建ての建物に位置しており、雨水の流出があなたの工場が所有または管理しているエリアで蓄積しない場合。

お勧めのアップロード

- 工場が雨水の汚染を防ぐためのメカニズムを持っていることを示す文書（例えば、雨水の流れや排水ネットワーク、保管を示す工場の図、排水口カバーや堤防などの保護装置の写真、雨水管理や監視手順など）

質問の意図は？

© 2026 Cascale Inc.

この質問の目的は、適切な雨水の収集と排水により雨水の汚染を防ぐためのメカニズムが整っていることを確認し、汚染された雨水が環境に排出される前に適切に処理されていることを確認することです。

テクニカルガイダンス:

雨水の集水・排水システムを、排水またはその他の潜在的な汚染源から分離することは、優れた実務とみなされます。これにより、排水処理システムへの排水量の急増および汚染負荷をより適切に管理できるほか、下水および／または未処理の産業排水が環境へ流出する越流を防止できます。施設は、施設全体で雨水と産業／生活排水の集水・排水システムが分離されていることを確保する必要がありますが、雨水管理に関する適用法令の要件を遵守することが求められます。

雨水の汚染を防ぐための良い方法は次のとおりです:

- すべての雨水と廃水の収集ポイント、排水口、排水システムのコーディングとラベリングを行い、意図しない汚染を防ぎます。
- 場所、用途、コード、責任者の情報を持つ雨水と廃水の排水ネットワークマップを作成します。
    - 排水マップを従業員の多くがアクセスできる場所に掲示してください。注: 工場の廃水収集システムと雨水排水システムは、工場の構造工学/ユーティリティ図面に含まれている可能性があります。
- 雨水（例えば、降水）の急増に対して十分な収集および貯蔵容量があることを確認し、オーバーフローを避ける。
- 汚染のリスクがある場所では、保護措置（例:ドレインカバー、防波堤）を設置し、維持します。
- スタッフが工場の雨水保護と管理の実践について認識していることを確認してください。
- 有害物質の適切な保管のための手順が整っていることと、雨水排水路の汚染を防ぐための効果的な漏れ対応手順が整っていることを確認してください。
- 定期的に（例:日次、月次など）すべての雨水と廃水の収集ポイントと排水システムをチェックし、システムに混合や損傷がないことを確認します。

注意: 雨水が汚染されるのを防ぐ仕組みがない場合、汚染が発生した場合には、雨水が収集され、適切に処理され（法的またはその他の適用可能な要件に準拠したレベルまで）、環境に排出される前に手順が講じられるべきです。

リソース

注意: 以下のリソースは参考用に提供されており、外部サービスプロバイダーのウェブサイトへのリンクが含まれています。Cascaleは提供される製品やサービスを推奨していません。

- 雨水保護装置の例
    - https://www.newpig.com/drain-protection-stormwater-management/c/111

© 2026 Cascale Inc.

- https://www.grainger.com/category/safety/sorbents-spill-control-spill-containment/drain-protection-雨水-濾過?brandName=PIG&filters=brandName

どのように検証されるか：

必要な書類

- 施設が雨水の汚染を防止する仕組みを導入していることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
  - 雨水管理手順。
  - 工場の図面で雨水の流れ/排水ネットワークと貯蔵を示しています。
  - 雨水排水システムの点検および保守記録。
  - 該当する場合、汚染された雨水が環境に排出される前に処理されていることを示す文書。
  - 該当する場合、雨水または雨水/廃水の排出に関連する必要な認可または排出要件。

尋ねるべき面接の質問:

- 雨水管理を担当するスタッフは、雨水の汚染を防ぎ、工場の雨水収集および排水システムを維持する手順を説明できます。
- 雨水収集および排水システムの点検とメンテナンスを担当するスタッフは、汚染を防止し雨水システムを維持するための工場の手順を理解しています。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 観察結果から、適切なインフラ（例えば、収集、貯蔵、排水システム）と保護措置が、雨水の汚染を防ぐために整っていることが示されています。
- 観察結果からは、雨水の汚染（例えば、未処理の廃水が雨水排水に流れ込む）の存在が示されていません。

4. 貴施設では、敷地外の排水処理施設への排水に関して、規制遵守要件に関する最新の契約書、許可証、協定書または請求書の写しを保管していますか？ （参照*ID - wwoffsitetreatplantcontract*）

以下の場合には「あてはまる」を選択してください: あなたの工場が現行の契約社員、認可、合意、または工場外廃水処理施設への廃水排出に関する適用可能な要件の遵守を証明する請求書の現行/有効なコピーを持っている場合。

お勧めのアップロード

© 2026 Cascale Inc.

- 工場外の廃水処理施設への排出に関する適用可能な要件を満たしていることを示す証拠となる認可、契約社員、合意、請求書、またはその他の支援文書（例：支払い条件、廃水の水質基準、ボリューム/流量の閾値など）のコピー。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が工場外廃水処理施設への排出に関する適用可能な要件を満たすための必要な文書を保持していることを示すことです。

テクニカルガイダンス：

工場が工場外の処理施設への廃水排出に関連する要件を理解することが重要です。要件は契約合意、排出可能な廃水の量と質に関連する認可、または廃水排出の受け入れに対する料金体系で概説されるかもしれません。

これらの要件により、工場は適用可能な要件を満たし、工場外処理施設の運営に悪影響を及ぼさないように、必要な手順、モニタリング、報告の実践を確立することができます。
どのように検証されるか：

必要な書類

- 工場が工場外廃水処理施設への排出に関する適用可能な要件を満たしていることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - 許可証、契約書、協定書、請求書、またはその他の裏付け文書（例：支払条件、排水水質基準、量／流量の閾値など）の最新かつ有効な写し。

尋ねるべき面接の質問:

- 廃水管理を担当するスタッフは、工場外のプラントへの廃水排出に関連する契約または認可の要件を説明し、工場がどのように遵守を確保しているかを説明できます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 工場内での観察により、工場の廃水管理と排出の実践が、工場外の処理施設への排出に適用される要件と一致していることが示されています。

6. 貴施設には、排水に関連する緊急事態が発生した場合のバックアップ計画がありますか？ （参照*ID - wwemergplan*）

「はい」と回答する場合： 貴施設には、施設が排出する1日当たりの平均排水量を処理できる能力を備えた、排水に関連する緊急事態に対応するためのバックアップ計画、プロセス、および／または施設内および／または施設外の設備があります。

© 2026 Cascale Inc.

この質問に「あてはまる」と答えた場合、次のサブクエスチョンが出されます：

- 貴施設の排水バックアップ計画に含まれる該当する戦略をすべて選択してください：
    - 緊急生産停止
        - 注意：この行動は、単に工場が生産を停止すると述べるのではなく、追加の緊急対応行動やプロセスによって裏付けられる必要があります。
    - 緊急用貯留タンク
    - 特定の処理プラントに対して、日々のプラント運営に使用されない追加のポンプ、ブロワー、定量ポンプ、および重要な設備の利用可能性。
    - 工場外水処理施設への排出
        - 注：緊急事態により敷地内で処理できない未処理排水を排出する場合は、事前の同意を得たうえで、認可を受けた敷地外の排水処理サービス提供者（公的または民間）に送らなければなりません。
    - その他のバックアッププロセス
- あなたの工場は、バックアップ計画に関してすべての関連従業員にトレーニングを提供していますか？

お勧めのアップロード

- 施設敷地から放流される排水の日平均量を処理するのに十分な緊急バックアッププロセスが整備されていることを示す文書（例：排水処理フロー図、文書化されたバックアップ計画、バックアップ機器の在庫、緊急時に排水を受け入れる敷地外処理施設との協定など）。

質問の意図は？

この質問の目的は、処理プロセスが失敗し、未処理の排水が排出されるのを防ぐことができない場合に、工場が緊急計画を持っていることを確認することです。

テクニカルガイダンス：

工場は、廃水処理システムの故障（例えば、処理過程や設備の故障、自然災害、停電）のリスクを評価することが重要です。工場は、潜在的な緊急事態に対応するための文書化された緊急対策計画を立てるべきです。廃水処理システムの処理能力（1日あたり）を知り、この情報を生成される廃水の量と比較することで、処理システムの故障を効果的に管理するために必要な行動や工場内の設備を決定することが重要です。

また、施設は、関連するスタッフやチームがトレーニングを受け、施設のバックアップ計画を理解していることを確認することも重要です。これにより、緊急対応行動が効果的になることを確保します。

緊急事態が発生した場合に取ることができる行動の例は以下の通りですが、これらに限定されません：

© 2026 Cascale Inc.

- 状況が正されるまでの生産または処理システムの緊急停止。
    - 注意：この行動は、単に工場が生産を停止すると述べるのではなく、追加の緊急対応行動やプロセスによって裏付けられる必要があります。
- 一日分の生産に相当する廃水の量を一時的に保存するバックアップホールディングタンクの容量。
    - 注：ホールディングタンクは、排他的なバックアップ手段として考えるべきではありません。
- 壊れた/損傷した機器を適時に交換できるように、十分な量のバックアップ機器を保持すること。
- ライセンスを持つ第三者の廃水処理施設またはサービスプロバイダーとの工場外処理のための合意と手順を確立します。

リソース

注意:以下に提供されるリソースは参考のためのものであり、あなたの工場に適用されない法的要件を参照している場合があります。工場は、廃水に関連する緊急計画と手順に関連するすべての適用可能な法的要件を遵守することが期待されます。

- ニューハンプシャー環境サービス部 - 緊急対応計画（ERP）ガイド 廃水処理工場のO&Mマニュアルに挿入するために開発 https://www.des.nh.gov/sites/g/files/ehbemt341/files/documents/2020-01/ww-emergency-response-guide.pdf
- ICS排水処理プラント（ETP） - 緊急対応計画（ERP）ファクトシート https://ics-asso.org/wp-content/uploads/2018/04/Chap-4_Wastewater_Effluent-treatment-plant-emergency-response-plan_factsheet.pdf

どのように検証されるか：

必要な書類

- 工場サイトから排出される平均日次廃水量を処理するのに十分な緊急バックアッププロセスが整っていることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - 該当する場合、追加の緊急保持または処理能力を示す廃水処理フローダイアグラム。
    - 文書化されたバックアップ計画および/または手順（例：緊急停止手順）。
    - バックアップ機器の在庫
    - 緊急時に廃水を受け入れるための工場外処理施設との契約。
    - 緊急連絡先/責任者（内部および外部）のリスト。

尋ねるべき面接の質問:

© 2026 Cascale Inc.

- 廃水管理を担当するスタッフは、あらゆる種類の廃水緊急事態に対応するためのバックアッププランや手順を説明することができます。
- 責任者（処理工場の運転手、メンテナンススタッフ）は、工場の緊急対応手順を理解しています。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 観察結果、適切な設備と工場がバックアップ計画に従って配置されていることが示されています。

7. 施設で発生した排水が、漏えいおよび／またはバイパスによって環境へ放流されていないことを確認できますか？ （参照*ID - wwleaking*）

あてはまる場合: 未処理の廃水の漏れや廃水処理システムのバイパスがなく、かつ工場が未処理の廃水が漏れや廃水処理システムのバイパスから環境に排出されないようにするためのプロセスを持っている場合。

次の条件に部分的にあてはまる場合: 工場で未処理の廃水の漏れや廃水処理システムのバイパスがないが、これを定期的に監視する正式なプロセスがない場合。

次の場合はいいえを選択してください: 未処理の廃水の漏れや廃水処理システムのバイパスが環境に放出されていることが観察された場合。

お勧めのアップロード

- 工場の処理システムを経由せずに廃水が排出されていないことを示す文書（例：廃水流/配管図、生成された廃水の量に対する排出量の監視記録、漏れ検査記録）

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が廃水処理システムの漏れやバイパスから未処理の廃水が環境に放出されていないことを示すことです。

テクニカルガイダンス：

工場の廃水収集および処理システムネットワーク（例えば、収集および転送パイプ、貯蔵）が適切に設計され、廃水を適切に処理するために適切に指向できるようにすることは、未処理の廃水が処理をバイパスすることがないようにするために重要です。また、このネットワークが点検および保守されて、漏れやオーバーフローからの意図しない排出を防ぐことも重要です。

© 2026 Cascale Inc.

工場は、生産やその他の業務から発生する廃水の量を、処理して排出される水の量と比較して監視するための確立されたプロセスを持つべきです。大幅なまたは不明な差異は、原因を特定するために調査するべきです。

これを防ぐために取ることができる行動の例は以下の通りですが、これに限定されません:

- 工場の廃水収集および処理システムネットワーク(例えば、建設またはユーティリティの描画)を見直し、すべての廃水が適切に収集され、処理に向けられていることを確認します。
- すべての廃水ストリームを特定し、特性を評価して、環境に排出する前に処理に向けられるようにします。
- 適切なサイズの廃水処理システムを設置し、維持し、現場で生成される予想される廃水の量を考慮に入れます。
- 廃水の配管システムとタンクを定期的に点検し、漏れを監視します。
- 施設内廃水処理プラントがその容量を超えた場合や、故障した場合に備えて、緊急対応措置を実施します。

どのように検証されるか:

必要な文書:

- 工場が廃水処理システムの漏れやバイパスから未処理の廃水が環境に放出されないようにするプロセスを確立していることを示す文書。これには以下のものが含まれるかもしれません:
    - 廃水の流れ/配管図。
    - 生成された廃水と排出された廃水の量の差を示す廃水量監視記録は受け入れられます。
    - 工場が漏れを監視するために使用する廃水配管システムとタンクの検査記録(例:検査スケジュール、完了したチェックリスト)

インタビューの質問

- 廃水管理を担当するスタッフは、すべての廃水が適切な処理に向けられ、システムが漏れの監視のためにどのように確保されているかを説明できます。
- システムの漏れを検査し、監視する責任者は、工場の検査手順と漏れを効果的に特定する方法を理解しています。

検査 - 物理的に確認すべき事項:

- 観察結果から、すべての廃水が適切に処理に向けられていること(例えば、廃水の収集や処理がバイパスされていないこと)や、廃水の配管ネットワークとタンクが良好な状態で維持されていること(例えば、漏れが観察されないこと)が示されています。

© 2026 Cascale Inc.

8. 管理および処分される、個別かつ異なる排水汚泥の発生源はいくつありますか？（参照*ID - wwsludgesources*）

注：

- 施設における汚泥処理技術に変更がなく、または汚泥水分をより頻繁に検査する適用法令上の要件がない場合、過去3年以内の汚泥報告書を使用できます。

推奨アップロード:

- 貴施設がすべての汚泥発生源を特定していることを示す文書（例：汚泥の種類のリスト／台帳、内部または外部の汚泥分析結果／報告書）。

質問の意図は？

この質問の目的は、施設において発生する汚泥のさまざまな発生源を特定することです。

テクニカルガイダンス：

最も効果的な処理および処分方法が用いられるようにするため、施設が汚泥のさまざまな発生源（例：種類）を把握することは重要です。一般に、汚泥には水、有機物および無機物、ならびに固形物が含まれます。

一般に、汚泥の含水率を可能な限り低減すること（例：乾燥、脱水）は、汚泥量およびそれに伴う輸送／処分費用の削減に役立ちます。

リソース

- ZDHCサプライヤー向けRoadmap to Zeroのアウトプットセクション https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/output
    - 排水および汚泥に関するガイドライン

どのように検証されるか：

必要な書類

- 貴施設がすべての汚泥発生源を特定していることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - スラッジの種類のリスト/在庫。
    - 内部または外部のスラッジ分析結果/レポート。

尋ねるべき面接の質問:

© 2026 Cascale Inc.

- 排水および汚泥管理の責任者は、施設が汚泥の発生源をどのように特定したかを説明できます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 観察結果から、報告されたスラッジの源は、工場でのスラッジ生成と一致していることが示されています。

9. 貴施設では、報告年度に発生した産業排水汚泥を追跡していますか？（参照 *ID - wwsludgereporting*）

「はい」と回答する場合： 貴施設が、FEPモジュールの報告年度に施設で発生した産業排水汚泥の年間量を追跡した場合。

お勧めのアップロード

- 報告年度に生成されたスラッジの量/処分追跡記録（例：廃棄物管理票（マニフェスト）、内部追跡記録）

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が報告年度に産業用廃水スラッジの年間数量を追跡していたことを示すことです。

テクニカルガイダンス：

スラッジの量を追跡することは、スラッジを減らすための機会を特定し、これらの削減を定量化するための重要な情報を提供します。

スラッジが生成される年間数量を追跡する手順は、一般的に任意の廃棄物ストリームの数量を追跡するために使用される手法と一致し、以下のものが含まれます：

- どの種類の廃棄物が生成されるかを決定します。
- スラッジが生成されている場所（場所とプロセス）を特定します。
- 廃棄物データを収集し追跡する手順を確立します:
    - 例としては、現地のスケール、廃棄物の請求書/マニフェストなどがあります。
    - スラッジの量を試算するために推定技術が使用される場合、その方法論は明確に定義され、検証可能なデータによって支持されるべきです。
- データ（例：日次、週次、月次のスラッジ量）をMicrosoft Excelや他のデータ分析プログラムなど、使いやすく見直しやすい形式で記録してください。

スラッジ量データの見積もり

© 2026 Cascale Inc.

場合によっては、年次スラッジ量を計算するために試算が必要となる場合があります。使用される任意の試算方法は、計算方法と使用されるデータや仮定に関する詳細を含む文書化され、検証可能なプロセスを含めるべきです。

注：推定技術を使用する場合、その方法論は一貫して適用され、関連データ（例えば、スラッジの代表的なサンプルの実際の重量）から導き出された合理的な推定要素に基づいているべきです。

以下に廃棄物の量のデータがどのように試算されるかの例を示します:

- 工場は、フィルタープレスがアンロードされるたびに特定の量のスラッジを生成します。スラッジを毎回計量することは現実的ではありません。したがって、複数のロードからの代表的なスラッジのサンプルを計量し、この平均重量を週次または月次でのフィルタープレスのロード数に掛けることで、各フィルタープレスのロードの平均重量を決定できます。以下に示すように：
    - 平均荷重 = 50kg（異なる日、月、生産シナリオなどの代表的な荷重に基づいて）
    - 1ヶ月での荷物の数 = 45
    - 月次の試算スラッジ量の合計 = 2,250kg (50kg x 45 ロード)

リソース

- ZDHCサプライヤー向け「Roadmap to Zero」アウトプットセクション
  https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/output
    - 排水および汚泥に関するガイドライン

どのように検証されるか：

必要な文書:

- 報告されたスラッジ量を支持する文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - 年次スラッジ量の追跡記録（例：廃棄物業者からの請求書、重量記録など）。
    - 該当する場合のスケール校正記録（例：メーカーの仕様に基づく）
    - 該当する場合、文書化された見積もり方法論。

尋ねるべき面接の質問:

- スラッジおよび/または廃棄物の管理を担当するスタッフは、スラッジの量がどのように追跡されているかを説明できます。
- 主要なスタッフは以下を理解するべきです:
    - スラッジ追跡プログラムのデータ品質がどのように維持されているか。
    - 年次スラッジ量を計算するために使用される任意の試算方法論。

© 2026 Cascale Inc.

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 観察結果は、工場がスラッジの量を追跡し測定する手順に一致しています（例えば、該当する場合はスラッジの量を測定するための適切な設備が利用可能です）。

11. 貴施設には、明確に標識され指定された排水汚泥の保管区域がありますか？ （参照*ID - wwsludgestorage*）

以下に該当する場合は「あてはまる」を選択してください: あなたの工場には、指定された廃水スラッジの保管エリアがあります。

この質問に「あてはまる」と答えた場合、あなたの工場がスラッジ貯蔵エリアにどのような対策を講じているかを示す一連のサブ質問が出されます:

- あなたの工場は、廃水スラッジの保管エリアに以下の実践を導入していますか？
    - 廃水スラッジの貯蔵エリアの表面は、地面への浸透を防ぎ、性質上不活性です。
    - 廃水スラッジの保管エリアは、降水や雨水の流出から保護されています。
    - インダストリアルと生活排水のスラッジは別々に保管されています。
        - 生活排水汚泥のみが発生する場合、または産業排水と生活排水を合わせて処理し、汚泥が混合される場合は、この質問では「該当なし」を選択してください。
    - 産業用廃水スラッジの保管エリアは、無許可の従業員から保護されています。

推奨アップロード:

- スラッジ貯蔵エリアの写真。

質問の意図は？

この質問の目的は、スラッジが従業員、環境、地域社会にとって安全な方法で保管されていることを確認することです。

テクニカルガイダンス:

スラッジの適切な保管は、他の廃棄物や周囲の環境への意図しない汚染を防ぎ、従業員への曝露リスクを減らすために重要です。工場では、スラッジ専用の保管エリアを設け、サブクエスチョンに記載されているようなスラッジの危険性特性に基づいた適切な管理手法を実施するべきです。

スラッジの危険性特性に関する情報は、スラッジのサンプルからの分析データまたはスラッジを生成するプロセスで使用される危険な原材料の安全データシート(SDS)を使用して評価する

© 2026 Cascale Inc.

必要があります。例えば、重金属がプロセス化学で使用されている場合、これらの汚染物質は生成されたスラッジに存在する可能性が高いです。

スラッジの保管エリアも、良好な保管とハウスキーピングの実践が連続的に実施されていることを確認するために、定期的に検査するべきです。

リソース

- ZDHCサプライヤー向けRoadmap to Zeroのアウトプットセクション https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/output
    - 排水および汚泥ガイドライン

どのように検証されるか：

必要な文書:

- スラッジが適切に保管されるようにするための施設の手順を支援する文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - スラッジ/廃棄物保管エリアの手順または作業指示
    - 有害廃棄物エリア検査記録

尋ねるべき面接の質問:

- スラッジ/廃棄物管理の取り扱いと保管を担当するスタッフは、保管されているスラッジに関連するリスクを理解し、スラッジを適切に保管する方法（例：使用する容器、必要な分別など）を理解しています

検査 - 物理的に確認すべき事項:

- 観察結果から、スラッジが適切な管理のもとで指定されたエリアに保管されていることが示されています。

12. 産業排水汚泥は適切に処分されていますか？（参照*ID - wwhsludgedisposal*）

以下の場合には「あてはまる」を選択してください：あなたの工場がスラッジの有害特性に基づいてすべての法的要件に従って産業用廃水スラッジを処分している場合。

注: この質問は、スラッジの最終処理/廃棄方法に関するものです。これは、最終処理/廃棄場所により、工場内または工場外となることがあります。

この質問に「あてはまる」と答えた場合、次のサブクエスチョンが出されます：

- あなたの工場は産業用廃水スラッジをどの処分経路で処分していますか？

© 2026 Cascale Inc.

- 有害廃棄物処理（その他）
- 野焼き
  - 注意：スラッジの野焼きは、特定の規制承認を得てそれに準拠している場合を除き、強く推奨されません。
- Onsite Incineration at ≥1000 °C
- オンサイト焼却は<1000 °Cで行われます
- Offsite Incineration at ≥1000 °C
- 重要な管理措置のある埋立地
- Building Products Processed at ≥1000 °C
  - : This includes co-processing of waste for cement manufacturing at ≥1000°C注
- 限定的な管理措置を伴う埋立地
- オフサイト焼却と<1000 °Cで処理される建築製品
- 管理措置のない埋立地
- 土地利用
  - 例えば、堆肥、肥料。
- 承認された第三者による非開示方法（最終処分方法は非開示）

注釈

- 有害廃棄物処理（その他）とは、高温焼却を除き、化学的安定化／中和、有害性を低減するためのバイオレメディエーション技術など、有害廃棄物の処理に一般的に使用される処理方法を指します。
- FEPにおける埋立地（例：重要な管理措置、限定的な管理措置、または管理措置なし）および処分経路の定義は、以下のリンクで利用可能なZDHC汚泥管理リソースに記載されたZDHC処分経路の定義に準拠しています。FEPユーザーは、汚泥の処分経路を適切に選択するために、このリソースを参照してください。 https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/output/wastewater-sludge-guidelines-v1/document-sludge-disposal

お勧めのアップロード

- 産業用廃水スラッジが適切に処理されていることを示す文書（有害性を示すスラッジの分析/テスト、スラッジの廃棄証明書、スラッジを受け入れて処理する廃棄物業者の認可/ライセンス、最終的な処理/廃棄方法の証拠など）

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が産業用廃水スラッジを責任ある方法で処理し、環境への影響を最小限に抑えていることを示すことです。

テクニカルガイダンス：

スラッジの危険性と適切な処分方法は、スラッジの特定の危険性（例えば、危険な化学品の種類と濃度）によります。工場は、スラッジが適切に特性付けられていることを確認する必要があ

© 2026 Cascale Inc.

ります（例えば、実験室でのテストを通じて）その危険性と特定の処分要件や制限を特定するために。

最低限、スラッジはスラッジおよび廃棄物処理に関連するすべての適用可能な法的要件に従って処理する必要があります。これには、必要に応じてスラッジの有害な特性に基づいて処理するための認可を受けた資格を持つ廃棄物処理業者の使用が含まれます。

施設の廃棄物管理プログラムの一部として、施設は廃棄物（スラッジを含む）が施設を離れた後にどのように処理および/または廃棄されるかを理解することが重要です。施設は、廃棄物のベンダーとコミュニケーションを取り、スラッジの最終的な処理廃棄方法を検証するためのプロセスを設けるべきです。

スラッジが工場内で処理および/または処分される場合、必要に応じて政府当局から適切な許可（例：認可/許可）を得るべきです。

リソース

- ZDHCサプライヤー向けRoadmap to Zeroのアウトプットセクション https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/output
    - 排水および汚泥に関するガイドライン

どのように検証されるか：

必要な書類

- スラッジの有害な特性に基づいて、産業用廃水スラッジがすべての法的要件に従って処分されていることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - スラッジの分析/テストが有害な特性を示しています。
    - スラッジ処分証明書
    - 該当する場合、スラッジを受け入れて処理する廃棄物業者の認可/ライセンス。
    - 廃棄物業者が使用している最終処理/処分方法の証拠。
    - 該当する場合、工場内でのスラッジの処理/廃棄に対する法的認可/許可。

尋ねるべき面接の質問:

- 廃水/廃棄物管理を担当するスタッフは、工場のスラッジの有害な成分と、スラッジを処理/廃棄するための最終処分方法を理解しています。

検査 - 物理的に見るべきもの：

- 観察結果から、スラッジは工場が報告した方法に従って収集および処理されていることが示されています（例えば、工場内の処理/廃棄条件、スラッジの保管条件など）。

© 2026 Cascale Inc.

13. 貴施設では、施設で発生するすべての産業排水汚泥を対象として、汚泥の取扱い、輸送、処理および廃棄に関するマニフェストまたは同様の文書を維持していますか？ （参照*ID - wwsludge*）

以下の場合は「あてはまる」を選択してください：あなたの工場が産業用廃水スラッジの取り扱い、輸送、処理、および廃棄に関連する廃棄物管理票（マニフェスト）または同様の文書を取得し保持するプロセスを持っていて、すべての以下の条件が満たされている場合：

- すべてのスラッジ処分についての文書が取得されました。
- 以下に記載されている情報をすべて含む文書:
    - 発送者（スラッジを生成する工場）。
    - 出荷の質量または体積。
    - 輸送業者の会社名。
    - 出荷/受領日
    - スラッジが出荷された廃棄物または処理工場の名称。

以下の場合は部分的にあてはまると回答してください**:** あなたの工場が産業用廃水スラッジの取り扱い、輸送、処理、および廃棄に関連する廃棄物管理票（マニフェスト）または同様の文書を取得し保持するプロセスを持っている場合、そして すべてのスラッジ廃棄物について文書が取得されている場合；ただし

- 以下に記載されている情報の一部または全部が文書に含まれていません:
    - 発送者（スラッジを生成する工場）。
    - 出荷の質量または体積。
    - 輸送業者の会社名。
    - 出荷/受領日
    - スラッジが出荷された廃棄物または処理工場の名称。

この質問に「あてはまる」または「部分的にあてはまる」を選択した場合、次のサブクエスチョンが表示されます：

- あなたの工場は、産業用廃水スラッジの合法的な処分のために認可された第三者を使用していますか？
- あなたの工場は、すべての廃水スラッジの輸送および処分/処理会社の文書を保管していますか？
    - 注意**:** これは、文書を保管しなければならない法的に必要な期間を指し、管轄区域によって異なる場合があります。法的要件がない場合でも、文書は少なくとも2年間保管しなければなりません。
- すべての産業用廃水スラッジ輸送業者、処理施設、および廃棄物処理施設は、認可を受けていますか？

お勧めのアップロード

- 産業用廃水スラッジの取り扱い、輸送、処理、および廃棄に関連する廃棄物管理票（マニフェスト）または類似の文書のサンプル。

© 2026 Cascale Inc.

- スラッジの取り扱い/処理/廃棄業者のライセンスおよび/または認可のコピー。これらは、スラッジを受け取り、処理し、廃棄することが許可されていることを示しています。

注意: すべてのマニフェストやその他の文書のアップロードは必須ではありませんが、検証時には確認できるようにしておく必要があります。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が産業用廃水スラッジの取り扱い、輸送、処理、および廃棄に関連する情報を取得し保持するためのプロセスが整っていることを示し、第三者の廃棄物業者が工場のスラッジを受け取り、処理し、廃棄するための必要な法的承認を持っていることを確認することです。
テクニカルガイダンス:

適切な説明責任を確保するために、工場では産業用廃水スラッジの取り扱い、輸送、処理、および廃棄に関連する文書を維持するための確立されたプロセスを持つべきです。通常、廃棄物処分に関連する文書を生成し維持するための最低要件は、法的要件（特に有害廃棄物に関して）によって規定されており、すべての適用可能な要件は工場によって満たされるべきです。

法的要件に加えて、工場は良い習慣として、以下の情報を含む廃棄物管理票（マニフェスト）または同様の地元の輸送文書を各スラッジ出荷ごとに取得し、保持することを確認するべきです。必要に応じて、この追加情報は廃棄物ベンダーから要求することができます:

- 発送者（スラッジを生成する工場）。
- 純出荷の質量または体積。
- 輸送業者の会社名。
- 出荷/受領日
- スラッジが出荷された廃棄物または処理工場の名称。

工場は、使用する第三者の廃棄物業者が工場のスラッジを受け取り、処理し、処分するための必要な法的認可を持っていることを確認するべきです。工場は、廃棄物業者の認可プロセスの一部として、すべての法的に必要な認可（例えば、ライセンスや許可）の確認を行うべきです。法的義務ではない場合でも、工場が業者の認可を要求し、最新で有効なコピーを工場内に保持することは良い習慣とされています。

リソース

- ZDHCサプライヤー向けRoadmap to Zeroのアウトプットセクション
  https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/output
    - 排水および汚泥に関するガイドライン

どのように検証されるか:

© 2026 Cascale Inc.

必要な書類

- 工場が産業用廃水スラッジの取り扱い、輸送、処理、および廃棄に関連する廃棄物管理票（マニフェスト）または同様の文書を取得し、維持していることを示す文書。また、スラッジが認可された業者によって受け取られていることも含まれます。これには以下が含まれる場合があります：
    - 廃棄物管理票（マニフェスト）またはその他の輸送文書。
    - 廃棄物ベンダーのライセンスおよび/または認可は、工場のスラッジを受け取り、処理し、処分することが許可されていることを示します。

尋ねるべき面接の質問:

- 廃棄物の管理を担当するスタッフは、スラッジの処分に関連するマニフェストや他の輸送情報を取得し、維持するための工場の手順を説明することができます。また、工場がスラッジを収集、受け取り、または処理するために必要な承認を廃棄物業者が持っていることを確認する方法についても説明します。

検査 - 物理的に見るべきもの：

- 観察結果から、スラッジは工場が報告したプロセスに従って収集および処理されていることが示されています（例えば、スラッジの廃棄記録、スラッジの保管状況、検証時に工場内に廃棄物業者が存在するなど）。

14. 貴施設では、排水汚泥の取扱いに関わるすべての従業員（保守および清掃スタッフなど）に研修を提供していますか？ （参照*ID - wwsludgetraining*）

次の場合には「あてはまる」を選択してください：あなたの工場がすべての従業員に廃水スラッジの取り扱いについてのトレーニングを提供しているそしてそのトレーニングは、スラッジの安全な取り扱い、保管、廃棄についてカバーしている。

推奨アップロード：

- スラッジ取り扱いトレーニングまたはスラッジが含まれている場合の一般的な廃棄物取り扱いトレーニングの記録。
- 使用されたトレーニング資料のコピー。
- 汚泥を取り扱うすべての従業員に研修が提供されていることを示す、従業員研修計画または手順。

質問の意図は？

© 2026 Cascale Inc.

この質問の目的は、工場がスラッジに関連する環境および健康リスクを最小限に抑えるための実践について、廃水スラッジを取り扱うすべての従業員にトレーニングを提供する手順を確立していることを確認することです。

テクニカルガイダンス:

廃水スラッジは環境や人間の健康に重大なリスクをもたらす可能性があります。スラッジを現場で取り扱う従業員は、これらのリスクを理解し、環境や健康・安全への影響を最小限に抑えるために、スラッジを安全に取り扱い、保管し、処分する方法を知っているべきです。

さらに、トレーニングプログラムの効果を評価するための情報を収集する手順(例:受講者のフィードバックアンケートやテスト、観察、またはトレーナーのパフォーマンスのレビューなど)を持つことで、施設はトレーニングの効果と知識の維持を確保するのに役立ちます。

リソース

- ZDHC 廃水処理システムオペレーター資格トレーニングコース - I : 基本的な物理的/化学的処理 https://academy.roadmaptozero.com/courses/group/3#category-18

どのように検証されるか:

必要な文書:

- スラッジを取り扱うすべての従業員が、スラッジの安全な取り扱い、保管、および廃棄についてトレーニングを受けていることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります:
    - スラッジまたは一般的な廃棄物のトレーニングの記録、これにスラッジの取り扱いが含まれている場合。
    - 使用されるトレーニング資料。
    - スラッジを取り扱うトレーニングが提供されている従業員のトレーニング計画または手順を示す全従業員。

尋ねるべき面接の質問:

- スラッジ/廃棄物管理を担当する従業員は、工場のスラッジ処理手順と、関連するすべての従業員がどのようにトレーニングを受けているかを説明できます。
- 関連する従業員は、工場のスラッジ取り扱い手順を理解し、トレーニングを受けています。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 現地の観察結果から、スラッジは工場の廃棄物処理手順に従って取り扱われていることが示されています。

© 2026 Cascale Inc.

16. 貴施設では、浄化槽システムから生じる残渣を管理していますか？

（参照*ID - wwsepticwater*）

以下に該当する場合は「あてはまる」を選択してください**:** あなたの工場には、浄化槽システムの設計および運用仕様に従って、浄化槽システムからの残留物（例：スラッジ）を管理する手順やプロセスがあります。

この質問に「あてはまる」と答えた場合、次のサブクエスチョンが出されます：

- 貴施設の浄化槽システムは、施設で発生する浄化槽排水量に対して適切に設計されていますか？（参照*ID wwsepticdesign*）
    - 以下の場合は「はい」と回答： 浄化槽システムの設計処理能力および同システムに流入する排水量を裏付ける文書があり、かつそれにより、設計処理能力に基づいてシステムに過負荷がかかっていないことが示されている場合。
    - 次の場合は「いいえ」と回答してください： 浄化槽システムの設計容量およびシステムに送られる排水量を裏付ける文書があり、かつ その文書から、システムに送られる排水量がシステムの設計容量を上回っていることが示される場合。
    - 「不明」と回答する場合： 浄化槽システムの設計容量を裏付ける文書がない、および／またはシステムに流入している排水量が分からない場合。

お勧めのアップロード

- 工場が浄化槽システムからの残留物（例：スラッジ）をどのように管理しているかを示す文書（例：容量を示す浄化槽システムの設計描画、浄化槽システムに送られる廃水の量の追跡記録、浄化槽システムの清掃スケジュールと記録、スラッジ生成の記録、収集および処分のマニフェスト、廃棄物業者が使用している最終処理/処分方法の記録。）

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が浄化槽システムからの廃棄物（例：スラッジ）を浄化槽システムの設計および運用仕様に従って管理していることを示すことです。

テクニカルガイダンス：

浄化槽システムは、処理対象となる排水の特性（例：排水量および汚濁負荷）に基づいて特別に設計された工学的システムです。排水を効果的に処理するためには、浄化槽システムを設計仕様および運転パラメータの範囲内で運用することが不可欠です。

すべてのシステム機器とコンポーネント（例ポンプ、流量計、監視・サンプリング、汚泥の除去頻度など）について、設計仕様と製造元の仕様に従ってシステムが運用、監視、保守されるように、工場は確立された手順を持つべきです。

© 2026 Cascale Inc.

最低限、システムからの残留物（例えば、スラッジ）は、スラッジと廃棄物の処理に関連するすべての適用可能な法的要件に従って処理されるべきです。これには、スラッジの有害な特性に基づいて処理するための認可を受けた資格を持つ廃棄物処理業者の使用が含まれます。

施設の廃棄物管理プログラムの一部として、施設は廃棄物（浄化槽システムのスラッジを含む）が施設を離れた後にどのように処理および/または廃棄されるかを理解することが重要です。施設は、廃棄物のベンダーとコミュニケーションを取り、浄化槽システムのスラッジの最終処理廃棄方法を検証するプロセスを設けるべきです。

スラッジが工場内で処理および/または処分される場合、必要に応じて政府当局から適切な許可（例：認可/許可）を得るべきです。

リソース

- ZDHCサプライヤー向けRoadmap to Zeroのアウトプットセクション https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/output
    - 排水および汚泥に関するガイドライン

どのように検証されるか：

必要な書類

- 工場が浄化槽システムからの残留物（例えば、スラッジ）をどのように管理し、システムがその設計容量と運用仕様に従ってどのように運用されているかを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - 浄化槽システムの設計描画は容量を示しています。
    - 浄化槽システムに送られる廃水の量の記録を追跡する（例えば、システムが過負荷になっていないことを示す）
    - 浄化槽システムの清掃スケジュールと記録。
    - スラッジ生成、収集の記録。
    - 浄化槽システムの廃棄物管理票（マニフェスト）。
    - 廃棄物業者が使用している最終処理/処分方法の証拠。

尋ねるべき面接の質問:

- 排水および／または浄化槽システムの管理責任者は、施設が設計容量に従って運転されていることをどのように確保しているか説明できる

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 観察結果から、特定のシステムが適切に運用および保守されていることが示されています（例えば、浄化槽や排水場周辺に水たまり、湿った場所、強い臭いがない）

© 2026 Cascale Inc.

17. 貴施設は、法的要件に基づき排水の検査を行う必要がありますか？（参照 *ID - wwtestlegalrequired*）

「はい」と回答する場合：貴施設が排水の試験を実施することを法的に義務付けられている場合。

「いいえ」と回答する場合：貴施設が排水の試験を実施することに適用される法的要件がない場合。

この質問に「あてはまる」と答えた場合、次のサブクエスチョンが出されます：

- 法的要件に基づき、貴施設で試験する必要がある排水カテゴリーを示してください。
- 貴施設に適用される法的要件に照らして、排水の検査を実施しましたか？
    - 「はい」と回答する場合：貴施設が、現地法で求められる頻度で、かつ法的に求められるすべてのパラメーターについて排水試験を実施している場合。
- 結果は要件に対する遵守を示していますか？

注意**:**「結果は要件に対する遵守を示していますか？」という質問は、以下のガイダンスに基づいて回答する必要があります：

- 次の場合には「あてはまる」を選択してください**:** テスト結果が全てのテストが法的要件を満たしている場合全てのパラメーターについて。
- 次の場合、部分的にあてはまると回答してください**:** テスト結果が1つのパラメータが法的要件を満たしていないことを示している場合。複数のテストレポートがある場合、1つのレポートで1つ以上のパラメータが超過してはなりません。
- 次の場合には「いいえ」を選択してください：複数のテストレポートで1つ以上のパラメータが満たされていないとテスト結果が示している場合、または少なくとも1つのレポートで複数のパラメータが満たされていない場合。

お勧めのアップロード

- 廃水検査報告書のコピー。
- 工場に適用される試験パラメータと排出限度を示す廃水排出の認可または承認。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が適用可能な法的要件に対して廃水がテストされたことを示すことです。

テクニカルガイダンス：

法的要件に従って廃水を検査することは、工場の廃水が適用可能な排出限度を満たしているかを判断するための基本的な実践です。工場は、適用可能なすべての検査要件が理解され、法的要件に従った廃水検査の手順が実施されるようにするべきです。この情報は、コンプライ

© 2026 Cascale Inc.

アンスの監視と、コンプライアンスを達成し維持するための行動が必要な問題を特定するために使用するべきです（非コンプライアンスが検出された場合）。

どのように検証されるか：

必要な書類

- 法的に必要なすべてのパラメータに対する廃水検査結果の表示。
- 工場に適用される試験パラメータと排出限度を示す廃水排出の認可または承認。

尋ねるべき面接の質問:

- 廃水管理と法的遵守に責任を持つスタッフは、工場の廃水検査がすべての適用可能な法的要件を満たしている方法を説明できます。

検査 **-** 物理的に確認すべきこと**:**

- 観察結果から、すべての廃水が法的要件に従ってテストされていることが示されています（例えば、工場は適用可能な法的要件に従ってすべての廃水排出点を特定し、テストしています）。

18. 法的要件に加えて、何らかの排水基準について報告していますか？（参照 *ID - wwstandard*）

以下の場合には「あてはまる」を選択してください：あなたの工場が廃水をテストし、法的要件に加えて廃水基準に対する結果を報告している場合。

注意**:** あなたの工場が法的要件に従って廃水をテストしただけの場合、この質問には「いいえ」と答えるべきです。

次の場合、該当なしを回答してください：あなたの工場に適用される適用可能な産業用廃水基準（法的検査要件に加えて）がありません。

注：貴施設で発生するのが生活排水のみであり、生活排水に適用される業界基準がない場合（法的な検査要件に加えて）は、「該当なし」を選択してください。

あてはまるを選択すると、次のサブクエスチョンが表示されます：

- あなたが報告している廃水基準を指定してください:
  - ZDHC廃水ガイドライン（皮革・繊維用）（WWG）
  - ZDHC MMCFガイドライン
  - ZDHCスラッジ・リファレンス・ドキュメント
  - BSR

© 2026 Cascale Inc.

- ブルーサイン廃水基準
- 顧客／ブランド
- その他

お勧めのアップロード

- 適用可能な基準に従って行われた廃水検査の結果のコピー。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が法的に必要なテストに加えて、廃水が廃水基準に対してテストされていることを示すことです。

テクニカルガイダンス：

この質問で参照されている基準は業界基準を指し、基本的な法的排出要件を超えたコンプライアンスを評価することを目指しています。

産業標準とツールは、環境への廃水中の有害汚染物質の排出を適切に管理し、減らすための施設を支援するために開発されています。これらのツールは、有害汚染物質の排出を特定し、監視し、報告する一貫した方法論を提供することを目指しています。また、基本的な法的遵守を超えて進行的な排出制限を設定することにより、施設が有害な排出を管理し減らすことを支援することを目指しています。

異なる基準やツールには、廃水データの監視と報告に関して異なる要件があるかもしれません（例えば、報告の種類や頻度、監視/報告が必要な汚染物質の種類、テスト方法など）。業界標準を採用する際には、工場はガイドラインを見直し、自社の運営に適用される監視と報告の要件を決定し、必要な監視と報告の要件を満たすための手順を設定するべきです。

廃水に関するインダストリアルのガイダンス/ツールの例は以下の通りです：

- こちらからダウンロードできるZDHCガイドライン一式：https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/output
  - 排水および汚泥に関するガイドライン
- ZDHC人造セルロース繊維（MMCF）ガイドライン https://www.roadmaptozero.com/fibres#MMCF
- 生産拠点向けのbluesign® CRITERIA（およびその付録）はここからダウンロードできます：https://www.bluesign.com/en/downloads

どのように検証されるか：

必要な書類

- 選択した適用可能な基準に従って工場が廃水を監視し報告していることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：

© 2026 Cascale Inc.

- 工場が追跡しているパラメータを示す廃水テストレポート。
  - 注意：テストは適用可能な標準（例：テストの頻度、テストパラメータ、サンプリングと分析方法など）に従って実施する必要があります。
- 該当する場合、標準の要件が満たされていることを確認するための内部手順。

注意: 必要な文書は、報告対象の基準により異なる場合があります。基準により要求されるすべての廃水報告文書は、確認のために利用可能であるべきです。

尋ねるべき面接の質問:

- 廃水を管理する担当者は、工場が報告対象とする基準の監視および報告要件を理解し、説明することができます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 工場で観察された関連する廃水源は、廃水データを報告するために使用される標準により要求される通り、工場の監視/報告手順に含まれています。

大気排出

一般的な紹介

インダストリアルなプロセスと製造業務からの大気排出は、環境や人間の健康に影響を及ぼし、気候変動に寄与する可能性のある汚染物質を大気中に排出する可能性があります。

政府やインダストリアルステークホルダーが環境への影響を減らすことに引き続き注力する中で、より厳格な要件や規制が課される可能性があります。積極的に管理し、工場の大気排出の影響を減らすことで、規制リスクやビジネスパートナーからの新たな要件への対応を軽減することができます。

© 2026 Cascale Inc.

一般に、FEPモジュールの大気排出セクションでは、以下を推奨しています：

- あなたの工場から排出される排出源と汚染物質の種類を特定し理解します。
- すべての適用可能な法的要件を理解し、それに従ってください。これには、大気排出に関連するすべての認可、報告、およびテスト要件が含まれます。

各FEPモジュールの大気排出に関する質問の目的および基準についての詳細は、以下のガイダンスに記載されています。また、施設における大気への排出管理を支援する有用な技術ガイダンスおよびリソースも提供されています。

あなたの工場の大気排出

汚染物質は通常、以下のタイプの排出源のいずれかから排出されます：

- 点源: 大気排出は、ファンや排気ダクトによって積極的に制御・指向される（例えば、ボイラーの排気スタックや、揮発性有機化合物（VOC）を排出するプロセスからの排気を捕捉するための局所換気システムの排気スタックなど）単一の固定源からのものです。

- 漏洩排出源：FEPモジュールにおいて、漏洩排出源とは、屋外環境へ受動的に放出され、単一の排気口（例：煙突またはベント）を通じて積極的に排出されない排出源を指します。例としては、全体換気（例：受動的な側壁換気または窓）のみを備えたスクリーン印刷、しみ抜き、または染色エリアが挙げられます。

- 移動式排出源：FEPモジュールでは、移動式排出源とは固定されていない排出源を指します。例としては、動力付き自動車（例：フォークリフト、トラック、乗用車）、重機（例：移動式クレーンまたはリフト）、小型エンジン（例：造園用機器）が含まれます。

FEPモジュールでは、排出源の性質に基づいて、排出量をさらに以下のように分類しています：

- 施設運用からの排出： FEPモジュールでは、これには施設運用を支え、生産工程の直接的な結果ではない発生源からの排出が含まれます。施設運用からの排出は、通常、点源または移動式排出源を通じて排出されます。例としては、ボイラー、発電機、暖房および冷却システム（例：燃焼式暖房、冷媒を含む冷却設備）、ならびに燃焼エンジンが含まれます。

- 生産工程からの排出： FEPモジュールでは、これには生産工程に関連する発生源からの排出が含まれます。生産工程からの排出は通常、点源または漏出排出として排出されます。例としては、化学物質を使用する生産工程（例：溶剤、接着剤、印刷、染色）、粉じん／粒子状物質、燃焼生成物、またはその他の有害もしくは毒性のある大気汚染物質を排出する工程が含まれます。

FEPモジュールにおける報告対象汚染物質

© 2026 Cascale Inc.

FEPモジュールでは、施設は以下に示す複数の主要汚染物質について排出データを追跡する必要があります。

運営から排出される汚染物質	生産プロセスから排出される汚染物質
• 粒子状物質 • 窒素酸化物（NOx） • 硫黄酸化物（SOx） • 一酸化炭素（CO） • 揮発性有機化合物（VOC）または全有機炭素（TOC） • 有害または有毒な大気汚染物質（HAP / TAP）	• 粒子状物質 • 窒素酸化物（NOx） • 硫黄酸化物（SOx） • 一酸化炭素（CO） • 揮発性有機化合物（VOC）または全有機炭素（TOC） • 有害または有毒な大気汚染物質（HAP / TAP） • アンモニア（NH_3） • オゾン（O_3） • オゾン層破壊物質（ODS） • 二硫化炭素 (CS_2) • 硫化水素 (H_2S)

揮発性有機化合物（**VOC**）

VOCは、通常の条件下でガス状になるか、蒸発して大気中に入ることができる有機化学化合物として定義されています。汚染物質がVOCと見なされるかどうかを判断する一般的な基準は以下の通りです：

- それは炭素を含んでいます。
- 蒸気圧は20℃で0.01 kPa（約0.075 mmHg）以上
- 沸点は、標準圧力101.3 kPaで250C以下です

有害または有毒な大気汚染物質（**HAP / TAP**）

人間の健康や環境に重大な有害な影響を及ぼすと知られているか、または疑われている化合物として定義されています。

国別の規制は、特定の管轄区域内でHAPs/TAPsとして指定される空気汚染物質を定義する場合があります。国別の定義や規制がHAPs/TAPsを定義していない場合、工場の運用からの汚染物質がHAPs/TAPsの報告数量に含まれるべきかを判断する際に、他の管轄区域の認識されたリストを参照することができます。例えば、米国EPAからのHAPsに関する情報はここで見つけることができますhttps://www.epa.gov/haps。米国EPAによって定義されたHAPsの最新リストはここで見つけることができます:
https://www.epa.gov/haps/initial-list-hazardous-air-pollutants-modifications

適用性に関する質問

© 2026 Cascale Inc.

1. あなたの工場には、以下の運用設備が含まれていますか？

- ボイラー
- ジェネレータ
- 燃焼エンジン（例えば、ガソリン駆動のポンプ）
- インダストリアルオーブン（加熱/乾燥/硬化用）
- 暖房と換気（燃焼暖房（炉））
- 冷媒を含む機器（空調システムを除く）（例：製氷機、冷蔵庫、ウォータークーラーなど）
- 空調（冷却）
- 工場運営からのその他の既知の大気排出源
- その他の揮発性有機化合物（VOC）の源

2. あなたの工場では、以下のプロセスを実施したり、以下の物質を使用したりしていますか？

- 糸紡績または合成繊維製造
- 仕上げ（つまり、製品の見た目、性能、または感触に影響を与える染色後の任意の機械的または化学的なプロセス）
- 溶媒
- 接着剤/セメント化
- 印刷
- 染色
- テンターフレームまたは他の加熱プロセス
- しみ抜き剤（VOCを含む）（*しみ抜き剤とは、衣類、布地、靴などの材料または最終製品から汚れた箇所や一時的な汚れを除去するために使用される化学物質です。アセトン系の化学物質は、しみ抜き剤として一般的に使用されます。しみ抜き作業は製造工程中に施設内で行われる場合があり、また、施設内にしみ抜き専用の部屋を設けている場合もあります。）
    - 注記：VOCを含むしみ抜き剤のみを大気セクションで報告する必要があります。一方、すべてのしみ抜き剤（VOCの有無を問わず）は化学物質セクションで報告する必要があります。
- スプレー化学品またはペイント
- オゾン層破壊物質（ODS）のその他の源
- その他の粒子状物質（PM）の源
- その他の揮発性有機化合物（VOC）の源
- 有害または毒性のある大気排出物質（HAPs/ TAPs）

大気排出

© 2026 Cascale Inc.

1. 貴施設では、施設内のすべての点源大気排出源のインベントリを作成していますか？ （参照*ID - airsourceinvent*）

以下の場合には「あてはまる」を選択してください: あなたの工場には、工場の運営や生産排出源からの点源排出源をすべて記録した在庫があります。

ノート:

- FEPでは、空調設備は点源排出源とは見なされません。これらは漏出排出源と見なされます。

あてはまるを選択すると、次のサブクエスチョンが表示されます:

- あなたの工場の点源大気排出インベントリには、以下の情報が含まれていますか？該当するものをすべて選択してください。
    - 固有の排出源識別子（排出ポイント名または番号）
    - ソースがリンクされているプロセスまたは装置
    - 排出源から排出される汚染物質のリスト
    - 該当する場合、法的要件またはその他の排出、試験もしくは報告要件（すなわち、試験パラメータおよび頻度）
    - 該当する場合、発生源に設置されている制御装置
        - 注意:この在庫アイテムの目的は、ソースの制御装置の有無を示すことです。このソースに制御装置がなく、これが在庫に示されている場合、このオプションを選択するべきです。

お勧めのアップロード

- 点源大気排出源の工場目録のコピー。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が現場での大気排出の可能性のあるすべての点源の目録（つまりリスト）を作成することです。これには、工場の運営と生産排出からの点源が含まれます。また、各点源から排出されるか、または排出される可能性のある汚染物質を工場が理解することも目的としています。

テクニカルガイダンス:

大気排出源の目録は、工場内の排出源を特定、追跡、管理するために必要です。包括的な目録を作成するためには、運営と生産からの工場の点源排出のすべてを含めるべきです。目録が最新で正確であることを確認するために、定期的なレビューを行うべきです。この目録には、認可によって規制されている排出源だけでなく、現在規制されていない排出源も含めるべきです。

© 2026 Cascale Inc.

排出源の目録には、詳細度や情報量が異なる場合がありますが、目録には以下の基本情報が含まれるべきです

- 固有の排出源識別子（排出ポイント名または番号）
- ソースがリンクされているプロセスまたは装置。
- 排出源から排出される汚染物質のリスト。
- 法的またはその他の排出、試験、報告要件（例：試験パラメータと頻度）、該当する場合
- 該当する場合、発生源に設置されている制御装置
    - 注意：この在庫アイテムの目的は、ソースの制御装置の有無を示すことです。このソースに制御装置がなく、これが在庫に示されている場合、このオプションを選択するべきです。

例の在庫はここからダウンロードできます：
https://www.sumerra.com/wp-content/uploads/Air-Emissions-Inventory.xlsx

点源を通じて排出される可能性のある排出源と汚染物質の一般的な例を以下に示します。これは包括的なリストではなく、工場は大気排出の点源とすべての可能性のある汚染物質を特定するために、資格を持つ環境専門家の支援を必要とする場合があります。

- 粒子状物質 (PM) – 例えば、燃料の燃焼、糸紡績、スラッシング、製織、合成繊維の製造、鋳造から発生
- 硫黄と窒素の酸化物（SOxおよびNOx）- 通常は燃料の燃焼と関連しています。
- 揮発性有機化合物（VOC）- 例えば、ファブリックの仕上げ、溶剤、接着剤、ファブリックの印刷、テンターフレーム、脱脂作業から。
- オゾン層破壊物質（ODS）- これらは一般的に冷媒、多くのアパレル用スポットクリーナー、および一部の接着剤や溶媒に見られます。
- アンモニア（NH3） - 例えば、織物の仕上げやなめし工程から。
- オゾン（O3） - 例えば、デニムの仕上げから
- 二硫化炭素 (CS_2) - 人工セルロース繊維 (MMCF) 生産から
- 硫化水素 (H_2S) - 人工セルロース繊維 (MMCF) 生産から
- 有害または有毒な大気汚染物質（HAP / TAP）- 例えば、燃料の燃焼、溶媒、接着剤、仕上げ工程（例：印刷、過マンガン酸カリウムスプレー）、抗真菌/細菌剤、金属めっき、射出成形などから発生します。

国別の規制は、特定の管轄区域内でどの空気汚染物質がHAPs/TAPsとして指定されるかを定義する場合があります。国別の定義や規制がHAPs/TAPsを定義していない場合、工場の運営からの汚染物質がHAPs/TAPsと見なされるかどうかを判断する際に、他の管轄区域の認識されたリストを参照することができます。例えば、米国EPAのHAPsに関する情報はここで見つけることができますhttps://www.epa.gov/haps。米国EPAによって定義されたHAPsの最新リストはここで見つけることができます：
https://www.epa.gov/haps/initial-list-hazardous-air-pollutants-modifications

どのように検証されるか：

© 2026 Cascale Inc.

必要な書類

- 工場からのすべての点源排出源の最新の在庫、運用および生産排出源を含む。
- 在庫はサブクエスチョンに記載されているすべての基本情報を含み、この情報は正確で完全です。

注: この情報は、いくつかの異なる文書で管理されることがあります。例えば、工場がすべての点源と各源から排出される汚染物質のリストを持っているが、すべての排出関連の法規制要件をインベントリにリンクできる別の法的登録を維持している場合、これは許容されます。

尋ねるべき面接の質問:

- 大気排出を管理する担当者は、インベントリの情報と排出源および汚染物質の特定方法を説明することができます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- すべての点源排出源と各源からの潜在的な汚染物質が適切に識別され、これは工場内の観察と一致しています。

3. 貴施設は、すべての許可、報告および検査要件を含む、大気排出に関するすべての適用法的要件を遵守していますか？（参照*ID - aircompliance*）

以下の場合には「あてはまる」を選択してください: あなたの工場が大気排出に関連するすべての適用可能な法的要件、すなわち認可、報告、およびテスト要件を全て満たしている場合。

注：貴施設がFEPモジュールの［許可］セクションに記載された大気排出に関して法的に必要とされる許可を1つ以上取得していない場合は、この質問に「いいえ」を選択してください。

「いいえ」と回答した場合、以下の副質問が表示されます：

- あなたの工場には、非遵守を対処するための行動計画がありますか？

お勧めのアップロード

- 主質問で「いいえ」を選択した場合、非遵守に対処するための行動計画。

質問の意図は？

© 2026 Cascale Inc.

この質問の目的は、大気排出に関連するすべての適用可能な法的要件、認可、報告、およびテスト要件を含む、工場がすべての法的要件を遵守して運営していることを確認することです。

テクニカルガイダンス:

大気排出に関連する工場での側面は、排出源のタイプ、汚染物質、業界カテゴリ、または工場が運営する管轄区域など、いくつかの要素によって複数の方法で規制される場合があります。

要件には以下のものが含まれる場合があります:

- 工場の大気排出や特定の工場運営や設備に対する排出認可または承認。
- ソーステスト(スタックテストとも呼ばれる)は、特定の汚染源を地元の法律で定められた頻度でテストし、特定の汚染物質(例えば、ppmまたはmg/立方メートル)のスタック内または排出率濃度の遵守を確認するものです。
- 認可またはその他の規制要件(例えば、年次トンまたはキログラム)の遵守を示すための特定の汚染物質の年次化質量排出量を計算または測定する
- 大気分散モデリングを使用して特定の汚染物質の工場外濃度を計算し、周辺大気質ガイドラインまたは基準の遵守を示します。
- 排出源に対する法的に義務付けられた制御装置。

コンプライアンスを遵守するとは、すべての法的に必要な認可が有効で最新であり、すべての適用可能な法的要件に従ってテストや報告が行われていることを意味します。

どのように検証されるか:

必要な書類

- 大気排出に関連するすべての適用可能な法的要件を満たしていることを示す文書。これには、認可、報告、およびテストのすべてが含まれますが、これに限定されません:
    - 認可、ライセンス、またはその他の承認文書。
    - テストレポート
    - 法的に必要な排出物および/または汚染物質の報告書類

注意 – 必要な文書は工場によって異なる場合があります。これは、各工場に適用される具体的な法的要件によるものです。

尋ねるべき面接の質問:

- 大気排出を管理する担当者は、工場の大気排出に関連する法的要件と、コンプライアンスを確保するためのプロセスを理解し、説明できます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

© 2026 Cascale Inc.

- すべての法的要件に基づいて有効で最新の認可が全てあり、必要なテストや報告はすべての適用可能な法的要件に従って実施されています。

廃棄物

一般的な紹介

インダストリアルなプロセスや製造業務からの廃棄物は、環境、人間の健康、そして地元の生態系に影響を及ぼす可能性があります。

政府および業界の利害関係者が、廃棄物の削減とより持続可能な製造慣行の促進に引き続き注力する中、より厳格な要件や規制が課される可能性があります。廃棄物を削減・回収し、より持続可能な循環型経済の実現に向けて、新たな材料や技術も開発されています。施設から発生する廃棄物を積極的に管理し、最小化に取り組むことで、環境への影響や規制リスク、ビジネスパートナーからの新たな要件への対応リスクを低減し、より持続可能な未来に貢献できます。

一般的に、FEPモジュールの廃棄物セクションでは、以下を推奨しています：

- あなたの工場で生成される廃棄物の種類を特定し理解します。
- すべての廃棄物が工場内で適切に管理されていることを確認してください（例：保管および廃棄）

© 2026 Cascale Inc.

- あなたの工場を離れた後に廃棄物がどのように処理/処分されるかを理解します。
- 貴施設で発生する廃棄物の量を追跡してください。

各FEPモジュールの廃棄物に関する質問の目的および基準についての詳細は、以下のガイダンスに記載されています。また、施設における廃棄物の管理および削減を支援する有用な技術ガイダンスおよびリソースも提供されています。

あなたの工場の廃棄物

廃棄物は、工場から排出され、環境や周辺のコミュニティを汚染または汚染する可能性がある、それ以上の利用価値がない材料または物質です。

FEPモジュールでは、廃棄物を以下のように分類します：

- 無害廃棄物: これは、人間や環境の健康に害を及ぼさない任意の廃棄物を指します。無害廃棄物には、無害な生産廃棄物と生活廃棄物の両方が含まれます。無害廃棄物の例には以下のようなものがあります:
  - 繊維、革、プラスチック、紙、金属、または梱包廃棄物などの非有害生産廃棄物
  - 生活廃棄物、例えば生ごみや衛生廃棄物（オフィスや寮エリアからの家庭廃棄物、例えばトイレットペーパー、庭/庭廃棄物、ガラス、食品梱包など）等

- 有害廃棄物:これは、化学的、物理的、または生物学的特性（例えば、可燃性、爆発性、毒性、放射性、または感染性）のために公衆衛生および/または環境に害を及ぼす可能性がある任意の廃棄物です。有害廃棄物は液体、固体、またはガスであることができます。有害廃棄物の例には以下のようなものがあります:
  - 使用済み化学物質、化学物質の容器/ドラム、廃油、汚染された素材・原材料（例えば、溶媒を含むラグなど、有害廃棄物を含む他の物質を含む素材・原材料）などの有害生産廃棄物。
  - 廃水処理スラッジ（危険な場合）、フライアッシュ、蛍光灯電球、電子廃棄物、電池など、工場の運営から生じる廃棄物。

注記：欧州連合域内で、または欧州連合向けに製造もしくは流通を行うすべての企業にとって、WEEE（電気電子機器廃棄物）指令は、遵守すべき重要な指令です。WEEE指令は、電子廃棄物の削減および分別を規定しています。

FEPで報告対象となる廃棄物

FEPモジュールでは、施設は以下に挙げる複数の特定の廃棄物カテゴリーについて、廃棄物発生データを追跡する必要があります。

無害廃棄物	有害廃棄物

© 2026 Cascale Inc.

• 繊維廃棄物 • 革の廃棄物 • ゴムくず • 金属（折れた針、金属くずなど） • プラスチック • 紙 • 缶 • 材木 • 生ごみ • ガラス • カートン • 発泡体（EVAなど） • 水処理前汚泥（非危険物） • 一般廃棄物あるいは未特定廃棄物 • スラグ（非有害物） • その他	• 空の化学薬品ドラムや容器（適切な洗浄が行われていないもの） • フィルム、プリンティングフレーム • 水処理前汚泥（危険物） • 期限切れ、未使用、使用済み化学物質（廃油、溶媒、反応物質など） • 圧縮ガスシリンダー（冷媒など） • 汚染された素材・原材料 • 電池 • 蛍光灯電球 • インク・カートリッジ • 廃油やグリース（調理後） • 廃油・廃グリース（製造、メンテナンスなどからのもので、調理用ではない） • メタルスラッジ • 空容器（清掃、消毒、害虫駆除剤など） • 電子廃棄物 • 石炭燃焼がら（飛散灰、ボトムアッシュ、石炭スラグ） • スラグ（有害物） • その他

注意: 有害廃棄物の法的分類は、国や管轄区域によって異なる場合があります。工場は、最低限、地元の規制要件と廃棄物を有害または無害と分類するための定義に従うべきです。法的要件が存在しない場合、工場は業界のガイドラインや国際的に認知された有害廃棄物の定義（例えばバーゼル条約に記載されているもの http://www.basel.int/TheConvention/Overview/TextoftheConvention/tabid/1275/Default.asp）を使用することを推奨します。また、業界のガイドラインが地元の要件よりも厳格な場合、工場は業界のガイドラインに従うことを推奨します。

FEPモジュールの 報告範囲から除外する廃棄物：

以下の廃棄物は通常の事業活動から発生するものではないため、FEPで報告すべきではありません：

- 医療廃棄物
- 大規模な建設および解体プロジェクトの廃棄物
- 洪水、火災、竜巻、ハリケーンなどの自然災害からの廃棄物。

FEPモジュールにおける廃棄物処分方法

FEPモジュールでは、施設が現在どのように廃棄物を処分しているかを報告する必要はありません。ただし、Higg FEMには選択可能な事前定義済みの廃棄物処分方法が含まれています。参考として、下表にHigg FEMで利用可能な廃棄物処分方法の選択肢の説明を示しま

© 2026 Cascale Inc.

す。これらは、関連する環境影響に基づき、「望ましい」、「あまり望ましくない」、「最も望ましくない」の選択肢に分類されています。

廃棄物処理方法	説明
優先オプション（材料回収）	
再利用	事前または事後の消費者の廃棄物は、廃棄物を使用する前に変更や追加の製造工程を経ずに新製品や中古品を作るために再利用されます。
リサイクル（アップサイクルを含む）	事前または事後の消費者廃棄物は、新しいアイテム（同等またはより高品質）を生産するために再処理されます（例：繊維から繊維へのリサイクルやプラスチックボトルを布に加工する）。
ダウンサイクル	事前または事後の消費者の廃棄物はリサイクルされ、経済的価値の低い材料や製品（例えば、ラグ、カーペットパッド、または防音製品に使用されるリサイクル繊維）を生産するために処理されます。
あまり推奨されない選択肢（エネルギー回収または非評価処分）	
非リサイクル品のみのエネルギー回収型焼却	リサイクル不可能な廃棄物を焼却する過程からのエネルギー回収。注：リサイクルのインフラと能力は地域や国によって異なる場合があります。
エネルギー回収 - 残留物管理（例：物理的/化学的/生物学的処理）	残留物管理の一形態としてのエネルギー回収、つまり、バイオガス生成、生物学的処理（堆肥化）からの熱生成、"焼却"を含まない任意の活動からのエネルギー生成につながるスラッジ処理
非リサイクル廃棄物のエネルギー回収を伴わないオンサイト焼却	焼却プロセスからエネルギーを回収しない工場内での非リサイクル廃棄物の焼却。
非リサイクル品のエネルギー回収を伴わないオフサイト焼却	リサイクル不可能な廃棄物を第三者の工場で焼却し、その焼却プロセスからエネルギーを回収しない工場外での焼却。
非有価物処理 - その他の処理	廃棄物の有用な材料や特性を回収せず、それらを原材料、燃料、または他のエネルギー源などのより有用な副産物に変換しない任意の廃棄方法。
非有価物処理 - 責任管理型埋立地（優先オプションまたは優先度の低いオプションのいずれのオプションでも管理できない廃棄物用）	Higg FEMでは、責任を持って管理される埋立地は、ZDHCスラッジ管理文書バージョン1.0で定義されている重要な管理措置のある埋立地のZDHC廃棄物処理経路の定義と一致します。ここで利用可能です：https://www.roadmaptozero.com/output、以下のように説明されています： 重要な管理措置のある埋立地は、埋立地に置かれた物質から生じる浸出液とガスを制御し、廃棄物を周囲

© 2026 Cascale Inc.

	の環境に安全な方法で保管するように設計された埋立地です。WWガイドラインの目的のために、重要な管理措置は次のように定義されています: ● 透水性が1 x 10-7 cm/sec以下となるようにライナーで覆われた埋立処分。これは、ほとんどの場合、詰められた天然粘土ライナーの上に合成コンポジットライナーを使用して達成されますが、2つの合成ライナーを使用しても達成できます。 ● 浸出液はライナーの上で収集され、適切な処理と廃棄のために除去されます。漏れの検出と収集は、一次ライナーの下と二次ライナーの上で実施されます。 ● エアロビックおよび嫌気性分解から生成されるガスは収集され、安全に使用または処分されます。このガスは主に二酸化炭素またはメタンですが、硫黄化合物を含むこともあります。ガスの内容によっては、二酸化炭素を直接大気に放出するか、収集してフィルタリングし、有益に使用することができます。 ● 埋立処分の寿命にわたり、監視と文書化が維持されます。 限定的な管理措置を伴う埋立地は、重要な管理措置のある埋立地のセクションで指定された説明要件を満たさない埋立地のタイプです。透水性、浸出液とガスの制御、および文書化は一般的に制限が少ないです。浸出液の制御は存在しないか、単純な収集と地元の下水道への排水から成るかもしれません。ガスは貯蔵、処理、使用するのではなく、通気されるかもしれません。これらのタイプの埋立地の監視要件は厳格ではなく、頻繁なサンプリング、検査、記録が少なく、地元の法律や規制により短い時間が必要です。
最も好ましくないオプション	
エネルギー回収（例:リサイクル品のエネルギー回収型焼却）	リサイクル可能な廃棄物の焼却プロセスからのエネルギー回収。注:リサイクル可能な廃棄物に対しては、材料回収が優先される方法です。注:リサイクルのインフラと能力は地域や国によって異なる場合があります。
管理措置のない埋立／投棄	Higg FEMでは、制御がないまたは制御が限定的な埋立処分は、ZDHCの廃棄物処理経路の定義と一致し、これはZDHCスラッジ管理文書バージョン1.0で定義されています。ここで利用可能です: https://www.roadmaptozero.com/output、および以下に記載されているように:

© 2026 Cascale Inc.

	限定的な管理措置を伴う埋立地は、重要な管理措置のある埋立地のセクションで指定された説明要件を満たさない埋立地のタイプです。透水性、浸出液とガスの制御、および文書化は一般的に制限が少ないです。浸出液の制御は存在しないか、単純な収集と地元の下水道への排水から成るかもしれません。ガスは貯蔵、処理、使用するのではなく、通気されるかもしれません。これらのタイプの埋立地の監視要件は厳格ではなく、頻繁なサンプリング、検査、記録が少なく、地元の法律や規制により短い時間が必要です。 管理措置のない埋立地は、管理措置がない状態で建設された埋立地です。廃棄物を含むため、浸透を制限するため、または浸出液が環境に触れたり環境に入るのを制御するために設計されていない任意の埋立地は、管理措置のない埋立地と見なされます。これには、地面や地下水への廃棄物の露出を制限するためのライニングやパッキングがないダンプパイルや穴が含まれます。これらのタイプの埋立地には、ほとんどまたは全く監視要件がない場合があります。多くの場合、これらのタイプの埋立地は、単に穴を掘り、その穴を廃棄物で埋めるか、自然に発生する凹みを廃棄物で埋めることで建設されます。**</l:style3>**
リサイクル品のエネルギー回収を伴わないオンサイト焼却	リサイクル可能な廃棄物を工場内で焼却し、その焼却プロセスからエネルギーを回収しない工場。
リサイクル品のエネルギー回収を伴わないオフサイト焼却	リサイクル可能な廃棄物を工場外の第三者の工場で焼却し、その焼却プロセスからエネルギーを回収しない。
その他	上記の方法の説明に当てはまらないその他の廃棄物処理方法。注：その他の方法については詳細な説明を提供する必要があります。

廃棄物

1. 貴事業所では、どのような非有害廃棄物の排出区分が発生しますか？該当するものをすべて選択してください：（参照*ID - wstsourcenh*）

- 繊維廃棄物
- 革の廃棄物

© 2026 Cascale Inc.

- ゴムくず
- 金属
- プラスチック
- 紙
- 缶
- 材木
- 生ごみ
- ガラス
- カートン
- 発泡体（EVAなど）
- 水処理前汚泥（非危険物）
    - 注記：排水処理汚泥廃棄物は「排水」セクションで報告し、「廃棄物」セクションでは報告しないでください。
- ボイラー灰を含むスラグ（非有害）
- 一般廃棄物または未指定の廃棄物
    - これには、上記で定義されていない一般／混合廃棄物（例：床のほこり、布のほこり）が含まれます。
- その他

リソース:

- 繊維廃棄物の分別に関する研修リソース
    - https://www.reverseresources.net/resources/training-videos

廃棄物ストリームを選択した後、廃棄物生成データの追跡に関連する以下の質問がされます：

2. 貴施設では、非有害廃棄物の排出区分を追跡していますか？（参照*ID - wstsourcenhtrack*）

    - あてはまる 場合：あなたの工場で生成される少なくとも1つ（1）の無害廃棄物の量を追跡しています。
    - 次の場合は「いいえ」と回答してください：貴施設で発生した非有害廃棄物の排出区分を少なくとも1つ、その量を追跡していない場合。

上記の質問に「はい」と回答した場合、非有害廃棄物の追跡に関する詳細情報を提供するため、以下の質問が表示されます。

3. 貴施設では、発生する各非有害廃棄物の排出区分を追跡していますか？（参照*ID - wstsourceeach*）

© 2026 Cascale Inc.

- 以下の場合には「あてはまる」を選択してください: あなたの工場で生成される全廃棄物の流れの量を追跡しています。
- 次の場合に部分的にあてはまると回答してください: あなたの工場で生成される少なくとも1つ（1）の無害廃棄物の量を追跡している。

注：貴施設が廃棄物の排出区分を一切追跡していない場合、上記2つの質問への回答はいずれも「いいえ」としてください。

お勧めのアップロード

- 工場で発生するすべての無害廃棄物の廃棄物リスト。
- 報告年度に廃棄された廃棄物の量を示す廃棄物量/処分追跡記録（例：廃棄物管理票（マニフェスト）、内部追跡記録）

質問の意図は？

目的は、施設が施設内で発生するすべての非有害廃棄物の種類（生産廃棄物および一般廃棄物の両方）を把握し、各廃棄物の種類の量を追跡することを確保することです。

テクニカルガイダンス：

工場のすべての廃棄物の流れを特定し、廃棄物の量を追跡することで、廃棄物を減らす機会を特定し、これらの削減を量化するための重要な情報を工場に提供します。

注記：このガイダンスは、一般に、FEPの有害廃棄物に関する質問で扱われる有害廃棄物管理にも適用されます。

廃棄物リストの作成:
廃棄物リストを作成することは、廃棄物管理の重要な最初のステップです。廃棄物の追跡と報告プログラムを設定する際には、以下のことから始めてください：

- どの種類の廃棄物が生成されるかを決定します。
- 廃棄物が生成されている場所（場所とプロセス）を特定します。
- 廃棄物データを収集し追跡する手順を確立します：
  - 例えば、現地のスケール、廃棄物の請求書/マニフェスト、売却される廃棄物の領収書などがあります。
  - 廃棄物の量を試算するための推定技術が使用される場合、その方法論は明確に定義され、検証可能なデータによって裏付けられるべきです。
- データ（例：日次、週次、月次の廃棄物の量）をMicrosoft Excelのような使いやすく見直しやすい形式で記録します

注：「通常の事業活動」で発生したものではない廃棄物は、FEPモジュールで報告してはなりません。例：

© 2026 Cascale Inc.

- 医療廃棄物
- 大規模な建設および解体プロジェクトの廃棄物
- 洪水、火災、竜巻、ハリケーンなどの自然災害からの廃棄物。

廃棄物の量のデータを試算する

場合によっては、年次廃棄物量を計算するために試算が必要となる場合があります。使用される任意の試算方法は、以下の詳細を含む文書化され、検証可能なプロセスを含めるべきです:

- 計算方法および使用されるデータや仮定。
- 計算に使用される生産量や工場の運営データ。
- 計算方法の更新や変更の説明

注: 試算技術を使用する場合、その方法論は一貫して適用され、関連データ(例えば、廃棄物の代表的なサンプルの実際の重量)から導き出された合理的な試算要素に基づいているべきです。

以下に廃棄物の量のデータがどのように試算されるかの例を示します:

- 工場は廃棄物をバレルに生成し、それらは満杯になると密封され、週次で処分に出されます。すべてのバレルを計量することは可能ではないかもしれません。したがって、満杯のバレルの平均重量は、バレルの代表的なサンプルを計量し、その平均重量を週または月に処分されるバレルの数で掛けることにより決定できます。以下に示すように:
  - バレルの平均重量 = 25kg(異なる日、月、生産シナリオなどの代表的なバレルの重量に基づいて)
  - 1ヶ月で処分されたバレルの数 = 65
  - このソースの1ヶ月の総廃棄物 = 1,625kg (25kg x 65 バレル)

- 同様に、上記と同じ方法を使用して、食堂や寮からの食品や衛生廃棄物を見積もることができます。これは、平均的な袋やビンの代表的な重量測定を収集し、その平均重量を月に廃棄される袋やビンの数で乗じることによって行います。

どのように検証されるか:

工場の廃棄物データを検証する際、検証員は必ず不正確さを生じさせる可能性のある工場の廃棄物追跡プログラムの全ての側面を見直さなければなりません。これには以下のようなものが含まれます:

- 初期のデータ収集プロセスとデータソース(例えば、重量記録、マニフェスト/請求書/領収書など)

© 2026 Cascale Inc.

- データを集約するためのプロセスとツール（例えば、スプレッドシートの計算、単位の変換など）

不整合やエラーが指摘された場合、可能な限り報告された情報を修正し、詳細なコメントを検証データフィールドに含めるべきです。

必要な文書:

- 工場で生成されるすべての無害廃棄物のリスト、ただし以下に限定されません:
  - 生産廃棄物
  - 梱包廃棄物
  - 生活廃棄物

尋ねるべき面接の質問:

- 廃棄物を管理する担当者は、廃棄物リストの情報、廃棄物源の特定方法、および廃棄物の量の追跡方法を説明することができます。
- 主要なスタッフは以下を理解するべきです:
  - 無害廃棄物の追跡に関する手順、廃棄物収集プロセスの追跡、量の測定、および処分の種類を含む。
  - 廃棄物データ追跡プログラムのデータ品質がどのように維持されているか。
  - 年次廃棄物の量を計算するために使用される任意の試算方法論。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 観察されたすべての無害廃棄物の流れは適切に識別され、追跡されています。
- 該当する場合、廃棄物量を測定するための適切な装置。

5. 貴施設では、どの有害廃棄物フローが発生しますか？該当するものをすべて選択してください: （参照*ID - wstsourceh*）

注記: 排水処理汚泥廃棄物は排水セクションで報告するものであり、廃棄物セクションでは報告しないでください。

- 空の化学薬品ドラムや容器（適切な洗浄が行われていないもの）
  - このカテゴリーは、製造に使用されるものなど、工業用化学物質の廃棄物ドラム／容器を対象とします。
- フィルム、プリンティングフレーム
- 水処理前汚泥（危険物）
- 期限切れ／未使用／使用済みの化学物質（溶剤、反応物など）
- 圧縮ガスシリンダー（冷媒など）
- 汚染された素材・原材料

© 2026 Cascale Inc.

- 電池
- 蛍光灯電球
- インク・カートリッジ
- 廃油やグリース（調理後）
- 廃油・廃グリース（製造、メンテナンスなどからのもので、調理用ではない）
- メタルスラッジ
- 空容器（清掃、消毒、害虫駆除剤など）
    - このカテゴリーは、家庭内の清掃、消毒、または殺虫剤など、家庭内作業に使用される化学物質の廃棄物容器を対象とします。
- 電子廃棄物
- 石炭燃焼がら（飛散灰、ボトムアッシュ、石炭スラグ）
- 石炭以外のボイラー灰を含むスラグ（有害）
- その他

注釈

- 石炭から発生するボイラー灰は、「石炭燃焼残渣（フライアッシュおよびボトムアッシュ／石炭スラグ）」として報告する必要があります。
- 燃焼残渣（例：バイオマスまたは木材ボイラー由来）を含む有害なバイオマス廃棄物は、「石炭以外のボイラー灰を含むスラグ（有害）」として報告する必要があります。
    - 施設が有害性分析試験を実施し、この廃棄物が非有害であることを確認した場合は、非有害廃棄物として報告する必要があります。初回試験以降、バイオマスの供給源および組成に変更がない場合、年次試験は不要であり、廃棄物が有害ではないことを示すには1回の試験で十分です。

- 布地またはその他の固形廃棄物由来の有害な燃焼残渣廃棄物は、「石炭以外のボイラー灰を含むスラグ（有害）」として報告する必要があります。
    - 施設が有害性分析試験を実施し、この廃棄物が非有害であることを確認した場合は、非有害廃棄物として報告する必要があります。布くずまたはその他の廃棄物の発生源や組成は大きく変化する可能性があるため、この種類の廃棄物については定期的な試験（すなわち少なくとも年1回）が推奨されます。

廃棄物ストリームを選択した後、廃棄物生成データの追跡に関連する以下の質問がされます：

6. 貴施設では、有害廃棄物フローを追跡していますか？（参照*ID - wstsourcehtrack*）

- あてはまる、あなたの工場で生成される少なくとも1つ（1）の有害廃棄物ストリームの量を追跡している場合。
- 以下の場合は「いいえ」と回答してください：施設で発生する有害廃棄物のうち、少なくとも1つの廃棄物流の量を追跡していない。

© 2026 Cascale Inc.

上記の質問に「はい」と回答した場合、有害廃棄物の追跡に関する詳細情報を提供していただくため、以下の項目について質問されます。

7. 施設で発生する有害廃棄物の各廃棄物流を追跡していますか？（参照*ID - wstsourcehtrackeach*）

    - あてはまる、あなたが工場で発生するすべての有害廃棄物の量を追跡している場合。
    - 部分的にあてはまると回答し、あなたの工場で生成される少なくとも1つの有害廃棄物の量を追跡している場合。

注: あなたの工場が有害廃棄物の流れを追跡していない場合、上記の両方の質問に対する答えは「いいえ」であるべきです。

お勧めのアップロード

- 工場で生成されるすべての有害廃棄物ストリームの廃棄物リスト。
- 報告年度に廃棄された廃棄物の量を示す廃棄物量/処分追跡記録（例：廃棄物管理票（マニフェスト）、内部追跡記録）

質問の意図は？

目的は、施設が施設内で発生するすべての種類の有害廃棄物を把握し、各廃棄物の量を追跡することを確実にすることです。

テクニカルガイダンス：

すべての工場の有害廃棄物ストリームを特定し、廃棄物の量を追跡することで、工場は適用可能な規制を遵守するための重要な情報と、廃棄物を減らす機会を特定し、これらの削減を定量化するための情報を得ることができます。

注意: 有害廃棄物の法的な分類は、国や管轄区域によって異なる場合があります。工場は、少なくとも、廃棄物を有害または無害と分類するための地元の規制要件と定義に従うべきです。

FEPモジュールでの有害廃棄物データの報告

非有害廃棄物に関する質問1の技術ガイダンスセクションで提供されているガイダンスを、有害廃棄物の追跡にも適用する必要があります。

廃棄物の量のデータを試算する

© 2026 Cascale Inc.

ほとんどの場合、地元の法律では有害廃棄物の量の詳細な追跡と報告が必要とされていますが、場合によっては年次廃棄物の量を計算するために試算が必要となるかもしれません。使用される任意の試算方法は、以下の詳細を含む文書化され、検証可能なプロセスを含むべきです：

- 計算方法および使用されるデータや仮定。
- 計算に使用される生産量や工場の運営データ。
- 計算方法の更新や変更の説明

注：試算技術を使用する場合、その方法論は一貫して適用され、関連データ（例えば、廃棄物の代表的なサンプルの実際の重量）から導き出された合理的な試算要素に基づいているべきです。

以下に廃棄物の量のデータがどのように試算されるかの例を示します：

- 工場では、空の化学品ドラムまたは満杯のドラム（液体の有害廃棄物を含む）を処分します。すべてのドラムを重量測定することは可能ではないかもしれません。したがって、ドラムの代表的なサンプルの平均重量を測定し、それを週次または月次で処分されるドラムの数に掛けることで、空のドラムまたは満杯のドラムの平均重量を決定できます。以下に示すように：
    - ドラムの平均重量 = 20kg（異なる日、月、生産シナリオなどのドラムの代表的な重量に基づいて）
    - 1ヶ月で処分されたドラムの数 = 10
    - このソースの1ヶ月の総廃棄物 = 200kg (20kg x 10ドラム)

    - 同様に、上記と同じ方法を使用して、印刷スクリーンや蛍光灯電球などのその他の有害廃棄物の量を試算することができます。

どのように検証されるか：

工場の廃棄物データを検証する際、検証員は必ず工場の廃棄物追跡プログラムの全ての側面を見直す必要があります：

- データ収集プロセスとデータソース（例：重量記録、マニフェスト/請求書/領収書など）
- データを集約するためのプロセスとツール（例えば、スプレッドシートの計算、単位の変換など）

不整合やエラーが指摘された場合、可能な限り報告された情報を修正し、詳細なコメントを検証データフィールドに含めるべきです。

必要な文書**:**

- 工場で生成されるすべての有害廃棄物のリスト、ただし以下に限定されません：
    - 生産廃棄物

© 2026 Cascale Inc.

- 工場運営廃棄物

尋ねるべき面接の質問:

- 有害廃棄物の管理を担当するスタッフは、廃棄物リストの情報、廃棄物源の特定方法、および廃棄物の量の追跡方法を説明することができます。
- 主要なスタッフは以下を理解するべきです:
  - 有害廃棄物の追跡に関する手順、廃棄物収集プロセスの追跡、量の測定、および処分の種類を含む。
  - 廃棄物データ追跡プログラムのデータ品質がどのように維持されているか。
  - 年次廃棄物の量を計算するために使用される任意の試算方法論。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- すべての有害廃棄物ストリームは適切に識別され、追跡されています。
- 該当する場合、廃棄物量を測定するための適切な装置。

9. 貴施設では、廃棄物（有害・非有害）を分別し、それぞれを別々に保管していますか？ （参照*ID - wstsegregatestreams*）

以下にあてはまる場合は「あてはまる」を選択してください: あなたの工場では、適切な管理と処分のために有害廃棄物と無害廃棄物を分別しています。

推奨アップロード:

- 分離された保管エリアの写真
- 廃棄物収集ポイントでの分別された廃棄物ストリームの写真

質問の意図は？

目的は、工場が有害廃棄物と無害廃棄物を適切に管理・処分するために分別することです。

テクニカルガイダンス:

廃棄物の種類別分別は重要です。なぜなら、異なる廃棄物（例えば、有害廃棄物と無害廃棄物）は、それぞれ異なる保管、取り扱い、処分方法を必要とするからです。有害廃棄物と無害廃棄物を分別することにより、以下のような効果も期待できます:

- 互換性のない廃棄物ストリーム間の望ましくない反応を防ぎます。
- 汚染の削減、環境への影響の軽減、および廃棄物処理費用の削減（例えば、廃棄物のミキシングは、処分に費用がかかる危険な廃棄物の量を増加させる可能性があります）。
- 従業員の露出リスクを減らします。

© 2026 Cascale Inc.

さらに、工場は以下のことを行うべきです:

- 有害廃棄物と無害廃棄物の管理に関する手順を確立しており、廃棄物の収集、分別、取り扱い、保管が含まれます。
- 廃棄物を取り扱う従業員に対して、十分な作業指示とトレーニングを提供します（例：正式なトレーニング、意識向上キャンペーン）。
- 各廃棄物タイプを分別し、処分する場所と方法を従業員に指示する明確で一貫した標識を職場に提供してください（例：廃棄物コンテナのラベリング、ポスターなど）。

どのように検証されるか：

必要な書類

- 有害廃棄物と無害廃棄物の分別プログラムを支える工場の文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - 廃棄物ストリームの分別に関する作業指示または運用手順。
    - トレーニング資料と廃棄物管理、取り扱い、廃棄に関するトレーニングの記録。
    - 啓発キャンペーンの文書（例：ポスター、廃棄物の分別のための標識）

尋ねるべき面接の質問:

- 廃棄物管理、廃棄物の処理、廃棄物の保管を担当するスタッフは、工場の廃棄物分別手順を理解し、知識を持っています。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 現地の観察により、工場が適切に廃棄物を分別していることが示されています。
- 廃棄物の収集、保管、処分エリアには適切な標識と廃棄物処分の指示（例：ラベリング、ポスター）があります。

10. 貴施設には、すべての有害廃棄物について、明確に表示された指定保管エリアおよび適切な容器がありますか？（参照*ID - wsthstorage*）

以下の場合には「あてはまる」を選択してください：あなたの工場には指定された有害廃棄物の保管エリアがあり、有害廃棄物は適切な容器に保管されています。

推奨アップロード：

- 有害廃棄物の保管エリアとコンテナの写真

質問の意図は？

© 2026 Cascale Inc.

この質問の目的は、有害廃棄物が従業員、環境、地域社会にとって安全な方法で保管されていることを確認することです。

テクニカルガイダンス:

有害廃棄物の適切な保管は、他の廃棄物や周囲の環境への意図しない汚染を防ぎ、従業員への曝露リスクを減らすために重要です。工場は有害廃棄物の保管用に専用の保管エリアを設け、廃棄物の有害特性に基づいた適切な管理手法を実施するべきです。これらの手法は、サブクエスチョンに記載されています。

廃棄物の危険性に関する情報は、時折、廃棄物を生成するプロセスで使用される危険な原材料の安全データシート(SDS)に記載されています。例えば、可燃性の洗浄溶剤が使用されている場合、これらの溶剤で汚染された廃棄物は、おそらく溶剤（つまり、使用された原材料）と同じ危険性を持つでしょう。

工場は、保管および取り扱い要件、およびセクション7および10にそれぞれ記載されている化学的な非互換性に関する重要な情報を得るために、材料のSDSを参照する必要があります。これはGHS準拠のSDSです。火災、偶発的なリリース/スピル、または従業員の曝露の場合の対策など、その他の重要な情報も材料のSDSに記載されています。

有害廃棄物の保管エリアも定期的に点検し、良好な保管とハウスキーピングの実践が連続的に実施されていることを確認するべきです。

どのように検証されるか:

必要な文書:

- 有害廃棄物が適切に保管されるようにする施設の手順を支援する文書。これには以下が含まれる場合があります:
    - 有害廃棄物保管エリアの手順や作業指示
    - 廃棄物の材料に関連する場合、安全データシート。
    - 有害廃棄物エリア検査記録

尋ねるべき面接の質問:

- 有害廃棄物の管理、取り扱い、保管を担当するスタッフは、廃棄物保管エリアに保管されている材料に関連するリスクと、廃棄物材料を適切に保管する方法（使用する容器、化学物質の分離など）を理解しています

検査 - 物理的に確認すべき事項:

- 現地の観察から、廃棄物が適切な管理のもとで指定されたエリアに保管されていることが示されています。

© 2026 Cascale Inc.

11. 施設には、明確に表示された指定の非有害廃棄物保管区域および容器がありますか？（参照*ID - wstnhstorage*）

以下の場合は「はい」と回答してください：施設には指定された廃棄物保管区域があり、廃棄物は適切な容器に保管されている。

推奨アップロード：

- 無害廃棄物の保管エリアとコンテナの写真

質問の意図は？

この質問の目的は、無害廃棄物が従業員、環境、地域社会にとって安全な方法で保管されていることを確認することです。

テクニカルガイダンス：

非有害廃棄物を適切に保管することは、他の廃棄物や周辺環境への意図しない汚染を防ぐとともに、従業員が有害物質にさらされるリスクや火災のリスクを低減させる上で重要です。各施設には、非有害廃棄物を保管するための専用エリアを設け、サブクエスチョンに挙げられているような廃棄物の特性に応じた適切な管理手法を導入する必要があります。

無害廃棄物の保管エリアも定期的に点検し、良好な保管とハウスキーピングの実践が連続的に実施されていることを確認する必要があります。

どのように検証されるか：

必要な文書**:**

- 無害廃棄物が適切に保管されるようにする施設の手順を支援する文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - 無害廃棄物の保管エリアの手順または作業指示
    - 非有害廃棄物エリアの点検記録

尋ねるべき面接の質問**:**

- 無害廃棄物の管理、取り扱い、保管を担当するスタッフは、廃棄物保管エリアに保管されている材料に関連するリスクと、廃棄物材料を適切に保管する方法（使用する容器、廃棄物の分別など）を理解しています

検査 **-** 物理的に確認すべき事項**:**

© 2026 Cascale Inc.

- 現地の観察から、廃棄物が適切な管理のもとで指定されたエリアに保管されていることが示されています。

12. 貴施設では、野焼き、不法投棄、廃棄物の埋設、土壌および／または水への意図的な放出を含む、すべての無責任な廃棄物処分行為を禁止していますか？（参照*ID - wstpolburn*）

以下の場合には「あてはまる」を選択してください：あなたの工場には、すべての不適切な廃棄物処理の方法を禁止する方針と手順が整っています。

推奨アップロード：

- あなたの工場でのすべての不責任な廃棄物処理の慣行を禁止する文書化された方針と手順が存在します。

質問の意図は？

この質問の目的は、あらゆる無責任な廃棄物処理を禁止するための方針および手順が施設に整備されていることを確認することです。

テクニカルガイダンス：

許可されていないまたは無責任な廃棄物処理の方法、例えば野焼き、埋立処分、廃棄物の埋め立てなどは、周囲の環境を汚染し、重大な環境および人間の健康リスクをもたらす可能性があります。

工場はこれらの慣行を厳格に禁止し、全スタッフに伝えられる適切な方針と手順を設けるべきです。

廃棄物処理活動が現地で行われる場合、工場は地元の法律に従って必要な認可と許可を持っていなければなりません（例えば、繊維廃棄物の焼却）。

どのように検証されるか：

必要な文書**:**

- 工場がすべての形態の不責任な廃棄物処理を禁止していることを示す文書化された方針と手順。
- 方針と手順がすべての関連スタッフに伝えられたという証拠の支持（例えば、トレーニング記録）
- 廃棄物が工場内で処分される場合、必要な法的な認可と承認がすべて必要です。

© 2026 Cascale Inc.

尋ねるべき面接の質問:

- 廃棄物の管理と取り扱いを担当するスタッフは、責任ある廃棄物処理のための工場の方針と手順、禁止されている実践を理解しています。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 現地の観察結果から、工場の敷地や周囲の環境に対して不適切な廃棄物処理（例：埋め立て、野焼き、または投棄）が行われていないことが確認されました。

13. 貴施設では、廃棄物の分別に関する意識向上研修を従業員に提供していますか？（参照*ID - wsttraining*）

以下の場合は「はい」と回答してください：施設が廃棄物の分別に関する意識向上研修をすべての従業員に提供している。

以下の場合は「一部はい」と回答してください：貴施設では従業員に廃棄物分別に関する意識向上トレーニングを提供しており、このトレーニングを50%以上の従業員が受けているものの、全従業員には提供されていない場合。

注記：この設問の意図は、少なくともすべての従業員が廃棄物の分別に関する研修を受けていることです。従業員一人ひとりに毎年研修を実施する必要はありませんが、継続的な環境研修プログラムの一環として、定期的な間隔（例：2〜3年ごと）での再研修、または施設の廃棄物管理プログラムに重大な変更があった場合の研修実施が推奨されます。

推奨アップロード：

- 廃棄物分別トレーニングの記録。
- 廃棄物分別トレーニング資料のコピーが使用されました。
- すべての従業員に廃棄物の分別トレーニングが提供されていることを示す従業員のトレーニング計画または手順。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場での適切な廃棄物分別の実践について従業員にトレーニングが提供されていることを確認することです。

テクニカルガイダンス：

廃棄物を異なる廃棄物ストリーム（つまり、廃棄物の分別）に分けることで、工場は自身が生産する各廃棄物の量を理解し、量を計算することができます。これにより、廃棄物を減らし、リサ

© 2026 Cascale Inc.

イクル率を上げる機会を見つけるのにも役立ちます。これにより、廃棄物処理費用を削減することができます。

廃棄物を効果的に分別するためには、すべての従業員がトレーニングを受け、職場で廃棄物を適切に分別する方法を理解していることが重要です。トレーニングを提供することに加え、容器の色分けや、スタッフが廃棄物を適切に処分しやすくするための、施設全体にわたる明確で一貫した標識など、適切な廃棄物処分設備を整備することも同様に重要です。

どのように検証されるか：

必要な文書:

- 従業員が工場での廃棄物の分別についてトレーニングを受けていることを示す文書。これには以下のものが含まれる場合があります：
    - 廃棄物分別トレーニングの記録
    - 廃棄物分別トレーニング資料のコピーが使用されました。
    - 従業員への廃棄物分別トレーニングが提供されていることを示す従業員のトレーニング計画や手順。

尋ねるべき面接の質問:

- 廃棄物管理と取り扱いを担当するスタッフは、工場の廃棄物分別プログラムと従業員がどのようにトレーニングを受けているかを説明できます。
- 工場全体の従業員は、工場の廃棄物分別プログラムを理解し、トレーニングを受けています。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 現地の観察結果から、廃棄物が工場の廃棄物分別プログラムに従って分別されていることが示されています。

14. 貴施設では、施設内で有害廃棄物の取扱いに関わる業務を行うすべての従業員（保守スタッフや清掃スタッフなど）にトレーニングを提供していますか？ （参照*ID - wsthtrain*）

以下の場合は「はい」と回答してください。 貴施設が有害廃棄物を取り扱うすべての従業員に年次研修を実施しており、かつその研修に適切な取扱い、保管および処分、廃棄物の最小化、個人用保護具（PPE）の使用、ならびに緊急時対応が含まれている。

以下の場合は「一部はい」と回答してください：施設が有害廃棄物を取り扱うすべての従業員に年次研修を実施しているが、その研修ですべての上記トピックを扱っていない。

© 2026 Cascale Inc.

この質問に「はい」または「一部はい」と回答した場合、トレーニングプログラムに関して、次の下位質問が表示されます：

- あなたのトレーニングに含まれるすべてのトピックを選択してください：
    - 適切な取り扱い
    - 保管と処理に関する技術と手順
    - 廃棄物の最小化のための具体的な業務手順
    - 個人用保護具の使用
    - 緊急時対応

推奨アップロード：

- 有害廃棄物トレーニングの記録。
- 使用されたトレーニング資料のコピー。
- 有害廃棄物を取り扱うすべての従業員に有害物質に関する研修が提供されていることを示す従業員研修計画または手順。

質問の意図は？

この質問の目的は、有害廃棄物を取り扱うすべての従業員に対して、有害廃棄物に関連する環境や健康リスクを最小限に抑えるための実践についてトレーニングする手順を工場が設けていることを確認することです。

テクニカルガイダンス：

- 有害廃棄物は環境や人間の健康に重大なリスクをもたらす可能性があります。現場で有害廃棄物を取り扱う従業員は、これらのリスクを理解し、有害廃棄物を効果的に最小化、取り扱い、処分する方法を知っているべきです。従業員はまた、露出のリスクがある場合に自己を適切に保護する方法（例えば、適切なPPEの使用を通じて）を理解しているべきです。

どのように検証されるか：

必要な文書**:**

- 有害廃棄物を取り扱うすべての従業員が、適切な取扱い、保管および廃棄、廃棄物の最小化、ならびに個人用保護具（PPE）の使用について毎年研修を受けていることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - o 有害廃棄物トレーニングの記録。
    - o 使用されたトレーニング資料のコピー。
    - o 有害廃棄物のトレーニングが提供される従業員のトレーニング計画または手順全ての有害廃棄物を取り扱う従業員。
    - o 工場で発生する有害廃棄物の取り扱いに必要なPPEのリスト。

© 2026 Cascale Inc.

尋ねるべき面接の質問:

- 有害廃棄物管理を担当するスタッフは、工場の有害廃棄物取り扱い手順と、関連する全ての従業員がどのようにトレーニングを受けているかを説明できます。
- 関連する従業員は、工場の有害廃棄物取扱い手順を理解し、トレーニングを受けています。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 現地の観察によれば、有害廃棄物は工場の有害廃棄物取扱い手順に従って処理されています。
- 適切なPPEが利用可能で、従業員によって使用されています。

© 2026 Cascale Inc.

化学品管理

一般的な紹介

工場の生産プロセスや運営における化学品の使用は、体系的かつ責任ある管理がなされていない場合、環境や人間の健康に重大なリスクをもたらす可能性があります。

政府やインダストリアルステークホルダーが責任ある化学品管理に焦点を当て続ける中で、より厳格な要件や規制が課される可能性があります。また、供給チェーン内の有害化学品の削減を支援するために、新しい化学物質や技術も常に開発されています。積極的に管理し、有害化学品の使用を排除または削減することで、環境への影響を減らし、規制リスクやビジネスパートナーからの新たな要求への対応を減らし、より持続可能な未来に貢献することができます。

一般に、FEPモジュールの化学物質管理セクションでは、以下を推奨しています。

- 適切な方針、手順、およびコミットメントを持つ効果的な化学品管理システム（CMS）を確立し、連続的な改善を推進します。
- 生産と運用のための工場で使用されるすべての化学品を、良好な化学品在庫管理の実践を通じて理解します。
- 有害な化学品の使用を減らすことに焦点を当てた、責任ある化学品購入の実践を確立します。
- スタッフが職場で化学品を取り扱い、または管理するための適切なトレーニングと資格を持っていることを確認してください。
- 化学品の安全な保管、取り扱い、使用のための適切な設備と保護措置が整っていることを確認してください。

各FEPモジュールの化学物質管理に関する設問の目的および基準の詳細は、責任ある化学物質管理を施設で実施するために役立つ技術ガイダンスおよびリソースとともに、以下のガイダンスに記載されています。

注記：FEPモジュールの化学物質管理セクションは、Cascale、Outdoor Industry Association、およびZero Discharge of Hazardous Chemicals（ZDHC）の協力により作成されました。

工場での化学品の使用

化学物質は、幅広い用途および工程で使用されています。FEPモジュールでは、化学物質を以下のように分類しています。

© 2026 Cascale Inc.

- 製造に使用される化学品: これは製品を作るためのプロセスで使用される化学品を指します（例えば、染色やその他の湿式加工、印刷、洗濯または洗浄、接着または接着、製織中のスラッシング、繊維の押出、糸紡績、革の鞣し、電気めっき、溶接またはその他の製造プロセスで使用される化学品）。

- 運用またはメンテナンス/工具/設備で使用される化学品: これは、生産プロセスで使用されず、工場の運用に使用される化学品を指します（例：ボイラーや発電機の燃料として使用される化学品、一般的な工場/設備のメンテナンス、工場設備や工具の潤滑、廃水処理など）。

ZDHCの協力およびリソース

当社の協力団体の一つである有害化学物質ゼロ排出（ZDHC）財団は、化学物質管理のためのさまざまな優れたリソースを開発しており、それらはFEPモジュールガイダンス全体で参照されています。ZDHC、その取り組み、およびリソースの詳細については、本ガイダンス内のリンク、または以下のウェブサイトをご覧ください： https://www.roadmaptozero.com/?locale=en 。

適用性に関する質問

化学品セクションで完了する必要がある質問を決定するために、以下に記載されている適用性の質問を完了する必要があります。あなたは、現地でどのプロセスを持っているか、汎用化学品を使用しているか、そしてあなたの工場が現在MRSLを実施しているかどうかを選択するように求められます。あなたの選択は、あなたの工場に最も適用可能な質問を完了するように指示します。

適用可能性に関する質問への回答に基づき、貴施設はFEPモジュールにおいて、以下に示す施設タイプのいずれか1つ（またはその組み合わせ）に分類されます。

- 化学品を使用する工場。
    - これは、製品を製造する工程で使用される化学物質を指します（例：染色その他の湿式加工、印刷、ランドリーまたは洗浄、セメンティングまたは接着、織布時の糊付け、繊維の押出し、糸の紡績、皮革のなめし、電気めっき、溶接、履物製造用EVAペレット、その他の生産工程で使用される化学物質）。

- 化学品を使用する工場のみ。
    - これは、生産プロセスに直接使用されない化学品を指し、基本的なエネルギー変換や工場内の廃水管理を運用するための設備やプロセスで使用されます（例えば、工場内の廃水処理に使用される化学品、冷却塔、ボイラー（アイロン掛け/ミニボイラー用の小型電気ボイラーは除く））

© 2026 Cascale Inc.

- メンテナンス/工具/設備でのみ化学品を使用する工場。
    - これは、生産工程で直接使用されるものではなく、施設設備の定期的な保守に使用される化学物質を指します。（例：設備の保守、施設設備または工具の潤滑に使用される化学物質［例：マシンオイル］）
- スポットクリーナーのみを生産に使用する工場。
    - これは、衣類、布地、靴などの材料または最終製品から、汚れた箇所や恒久的ではない染みを除去するために使用される化学物質を指します。アセトン系の化学物質は、スポットクリーナーとして一般的に使用されます。スポットクリーニングは生産工程中に施設内で行われることもあれば、施設内に専用のスポットクリーニング室が設けられている場合もあります。
        - 注記：VOCを排出しないスポットクリーナーとVOCを含有するスポットクリーナーは、いずれも化学物質セクションで報告する必要があります。一方、大気排出セクションで報告が必要なのは、VOCを排出するスポットクリーナーのみです。
- 化学品の使用が最小限の工場のみ。
    - これは、液体燃料および気体燃料のみ（例：車両または調理用のディーゼル、LPG）、および／または清掃や工場全般の維持管理のための市販の化学物質のみ（例：洗剤、厨房用品、塗料、シンナー）を使用し、上記に挙げた他の化学物質使用タイプのいずれにも該当しない施設を指します。

1. あなたの工場で行われるすべてのプロセスを選択してください:

- 染色またはその他の湿式加工
- 印刷
- ランドリーまたは洗濯
- 接着または接着
- 繊維の押出または糸紡績（化学品使用）
- 製織中のスラッシング
- 革の鞣し
- ラミネーション
- 押出、組み立て、プラスチック部品の仕上げ
- 化学品を使用した金属仕上げ
- 化学品を使用した溶接
- 鋳造/鋳物（化学品使用）
- 有機溶剤による脱脂
- レーザー裁断（化学品使用）
- 金属めっき（陽極酸化、電気めっき、無電解めっき）
- 絵画
- 粉体塗装（化学物質を使用）
- 化学品を使用したはんだ付け
- プリント回路基板（PCB）の電子自動化（化学物質を使用）

© 2026 Cascale Inc.

- 化学品が必要なその他の生産プロセス
- スポットクリーナー - スポットクリーナーとは、衣類、布地、靴などの素材または最終製品から、汚れた箇所や恒久的ではないしみを除去するために使用される化学物質です。
- 生産機械／設備の潤滑

2. あなたの工場は汎用化学品を使用していますか？

- あてはまる
- いいえ

注記：FEPモジュールは、コモディティ化学品の定義に準拠しています。コモディティ化学品とは、化学構造が明確に知られており、単一のCAS番号を持ち、その用途がプロセス内で条件を整えることまたは補助剤として機能することである単一物質または化学化合物として定義されます。異なる製造業者によって製造された2つのコモディティ化学品は同一であり、代替可能な場合があります。コモディティ化学品の定義を含む詳細については、ZDHC用語集およびZDHCサプライヤー向けRoadmap to Zeroのインプットセクションを参照してください。

3. あなたの工場では、工場内で化学物質の使用を最小限に抑える（液体および気体燃料、市販の化学物質、工場維持のためのメンテナンス用化学物質）のみを使用していますか？

- あてはまる
    - 注記：施設内の維持管理のために、液体燃料および気体燃料、市販の化学物質、保守用化学物質などの最小限の化学物質のみを使用している場合は、「はい」を選択してください。生産または施設運営のために施設内でその他の化学物質を使用している場合は、この設問では「いいえ」を選択してください。
- いいえ

3.1. 貴施設ではどのような化学物質を使用していますか？（該当するものをすべて選択）

ノート：

- この質問は、「工場内で化学物質の使用を最小限に抑える（液体および気体燃料、市販の化学物質、工場維持のためのメンテナンス用化学物質）のみを使用していますか？」という適用性の質問に対していいえを選択した場合にのみ尋ねられます。
- 化学品使用分類の例については、上記の定義を参照してください。

    - 製造用化学品
    - 作業等の化学品

© 2026 Cascale Inc.

- メンテナンス／工具／設備用薬品
- スポットクリーナー用薬品

4. あなたの工場は**MRSL**を実施していますか？

- あてはまる - あてはまるを選択した場合、以下のオプションから選択するように求められます：
  - 顧客のMRSL
  - ZDHC MRSL
  - ブルーサインBSSL
  - OEKO-TEX ECO PASSPORT
  - OEKO-TEX STeP基準
  - その他（その他の場合、具体的に記入してください）
- いいえ

化学品管理

1. 施設には、文書化された化学物質管理システム（**CMS**）方針がありますか？
（参照*ID - chemcmspolicynonprod / chemcmspolicyprod*）

製造工程で化学物質を使用しない施設の場合：（参照*ID*：*chemcmspolicynonprod*）

以下に該当する場合は「あてはまる」を選択してください：あなたの工場には、以下のすべての要素をカバーする文書化された化学品管理システム（CMS）の方針があります：
- 適用されるすべての法令を遵守する。
- 化学物質の安全な使用を保証し、労働者の健康と安全を確保し、環境への影響を最小限に抑える。
- CMSに関するスタッフの能力開発と研修。

生産工程で化学物質を使用する施設の場合：（参照*ID*：*chemcmspolicyprod*）

次の条件にあてはまる場合は「あてはまる」と答えてください: あなたの工場には、以下の要素すべてを網羅する文書化された化学品管理システム (CMS) 方針があります。すべて の要素:
- 適用されるすべての法令を遵守する。
- 化学物質の安全な使用を保証し、労働者の健康と安全を確保し、環境への影響を最小限に抑える。
- CMSに関するスタッフの能力開発と研修。
- あなたの工場の運営に追跡可能性と透明性を組み込む。
- 生産プロセスに持続可能な化学品管理の実践を組み込む

© 2026 Cascale Inc.

- CMSの効果を連続的に改善することに対するコミットメント。

次の場合は部分的にあてはまると答えてください: あなたの工場には、以下の3つの要素をカバーする文書化された化学品管理システム (CMS) 方針があるが、上記の3つの追加要素すべてをカバーしていない場合:

- 適用されるすべての法令を遵守する。
- 化学物質の安全な使用を保証し、労働者の健康と安全を確保し、環境への影響を最小限に抑える。
- CMSに関するスタッフの能力開発と研修。

あてはまるまたは部分的にあてはまるを選択した場合、次のサブ質問が表示されます。

- 次のうち、方針に含まれているのはどれですか:
    - 適用されるすべての法令を遵守する。
    - 化学物質の安全な使用を保証し、労働者の健康と安全を確保し、環境への影響を最小限に抑える。
    - CMSに関するスタッフの能力開発と研修。

推奨アップロード:

- 工場の化学品管理システム方針のコピー。

質問の意図は？

この質問の目的は、化学品を安全かつ効果的に管理するための正式な方針が工場に存在することを示すことです。

テクニカルガイダンス:

化学品管理システムの方針は、工場の化学品管理システムの基盤です。方針は、すべてのステークホルダー（内部および外部）が化学品管理に関する工場の目標を理解するために重要です。CMSの方針には、工場の化学品管理に対するコミットメントを明確に示す文が含まれているべきです。また、工場が実施する実践と手順の詳細を提供します。

化学品管理システムの方針の具体的な内容は、工場で使用される化学品の性質に基づいて異なる場合があります。例えば、工場の運営（例：機械のメンテナンスや潤滑）でのみ化学品を使用する工場と、化学品を多用する製造プロセスを持つ工場とでは異なります。しかし、以下のような基本的な要素を含めるべきです:

- 適用されるすべての法令を遵守する。
- 労働者と環境へのリスクを減らします。
- スタッフのトレーニングと能力開発
- 関連するすべての当事者（例えば、スタッフ、外部のステークホルダーなど）に方針と関連するCMS手順を伝える

© 2026 Cascale Inc.

化学品を生産に使用する工場の場合、以下のようなコミットメントを含む追加の方針要素が必要です:

- CMSの効果の連続的な改善。
- 生産プロセスに持続可能な化学品管理の実践を取り入れます。
- その運営に追跡可能性と透明性を組み込む。

CMS方針も定期的に見直し、必要に応じて更新するべきです。これにより、連続的な改善の枠組みを提供し、工場が化学品管理の実践を改善し、リスクを減らすことができる領域を特定することができます。

リソース

ZDHCサプライヤー向けRoadmap to Zeroのインプットセクションのリソースは、企業がZDHCフレームワークの要件を満たし、サプライチェーンにおける化学物質使用に伴う環境および健康への影響を低減する、堅牢で効果的なCMSを構築するために作成されています。これらのリソースは以下で確認できます: https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/input

どのように検証されるか:

必要な書類

- 化学品を生産に使用しない施設の場合、以下の要素を明確に含む文書化された化学品管理システムの方針:
  - 適用されるすべての法令を遵守する。
  - 化学物質の安全な使用を保証し、労働者の健康と安全を確保し、環境への影響を最小限に抑える。
  - CMSに関するスタッフの能力開発と研修。

- 生産に化学品を使用する工場の場合、以下の要素を明確に含む文書化された化学品管理システムの方針:
  - 適用されるすべての法令を遵守する。
  - 化学物質の安全な使用を保証し、労働者の健康と安全を確保し、環境への影響を最小限に抑える。
  - CMSに関するスタッフの能力開発と研修
  - あなたの工場の運営に追跡可能性と透明性を組み込む。
  - 生産プロセスに持続可能な化学品管理の実践を組み込む
  - CMSの効果を連続的に改善することに対するコミットメント。

- CMS方針に準拠している工場の実践と手順を示すその他の補足文書。これには以下が含まれる場合があります:
  - 工場のCMS方針に関するコミュニケーションおよび/またはトレーニングの記録
  - CMSの手順

© 2026 Cascale Inc.

- CMS方針の管理レビューの記録。

尋ねるべき面接の質問:

- 化学品管理を担当する工場のスタッフ、トップマネジメント、および従業員は、工場のCMS方針を理解し、工場がその目標を達成するための努力を説明できます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 工場内での観察は、工場のCMS方針（つまり、方針は工場の運営と工場内での化学品の使用に関連しています）と一致しています。
- サイトにCMS方針を掲示するか、スタッフに対する他の形式のコミュニケーション。

2. 化学物質管理システム（**CMS**）の実施および維持に関する責任を、チームまたは担当者に割り当てていますか？（参照*ID - chemcmstraining*）

以下の場合は「あてはまる」を選択してください: あなたの工場が化学品管理システム（CMS）の実施と維持の責任をチームまたはスタッフに任せており、工場のCMSの実施と維持の責任が文書化されている（例えば、職務説明）。

注：この責任は、工場の単一の人物/役割に割り当てられるか、複数のスタッフ/役割に分散されるかもしれません。

推奨アップロード:

- CMSの実装と維持を担当するスタッフのリストとその責任（例：文書化された職務説明）。
- CMSの実装に関連するスタッフの責任を含む文書化されたCMSの手順。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場がCMSの実装と維持のために専門の役割と責任を設定し、スタッフを割り当てていることを示すことです。

テクニカルガイダンス：

チーム/スタッフメンバーを割り当て、工場のCMSを実装し維持するための明確な役割と責任を定義することで、工場内の化学品管理に対する明確な責任の連鎖が生まれます。これが工場のCMSの効果的な実装の基盤となります。

© 2026 Cascale Inc.

工場の規模と業務範囲に基づき、CMSの実装に必要なスタッフの数を決定できます。化学品責任者またはコアチームを設け、トレーニングを受けた能力と経験を持つ人材がCMSの実装と監視を監督するのが良い実践です。

工場でCMSを実装し、維持するには、化学品管理の原則を深く理解する必要があります。CMSの効果的な実装の大きな障害の一つは、化学品管理の技術的な能力の欠如です。化学品管理に適切な能力を持つチームは、工場が使用中の化学品のリスクと影響をよりよく理解し、それらのリスクを軽減し、改善するための適切な対策を特定し、実装するのに役立ちます。また、それは関連する規制やその他の要件の遵守を確保するのに役立ちます。これらの要件は常に進化し、より複雑になっています。

リソース

ZDHC Supplier's Roadmap to ZeroのInputセクションのリソース、ZDHC CMSおよびTechnical Industry Guideのフレームワークでは、CMS方針およびCMSに含めるべき原則と実践が定められています。これらは、企業がZDHCフレームワークの要件を満たし、サプライチェーンにおける化学物質の使用に伴う環境および健康への影響を低減する、堅牢かつ効果的なCMSを確立するために設計されています。これらのリソースは、こちらで確認できます：https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/input。

どのように検証されるか：

必要な書類

- CMSの実装と維持の責任をチームまたはスタッフメンバーに割り当て、チームメンバーの責任が文書化されていることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - CMSの実装と維持を担当するスタッフのリストとその責任（例：文書化された職務説明）。
    - CMSの実装に関連するスタッフの責任を含む文書化されたCMSの手順。

尋ねるべき面接の質問:

- 化学品管理を担当するスタッフは、CMSに関連するスタッフやチームメンバーの役割と責任を説明することができます。
- CMSの実装と維持を担当する関連スタッフは、SDS、RSL、MRSL、GHSの分類とラベリング、またはそれに相当するものについての能力を示すことができます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 観察結果から、CMSは適切な技術能力を持つスタッフによって管理されており、工場の化学品管理の実践はCMSに準拠していることが示されています。

© 2026 Cascale Inc.

3. 施設には化学物質購入方針がありますか？（参照*ID - chempurchasingpolicy*）

以下の場合は「あてはまる」を選択してください: あなたの工場が正式に文書化された化学品購入方針を設定している。

あてはまるを選択した場合、次のサブクエスチョンが表示されます:

- あなたの化学品購入方針にどのような基準が含まれていますか？（該当するものをすべて選択してください）:
    - 法的要件
    - 安全衛生要件
    - RSLおよび/またはMRSLの要件

注: RSLおよびMRSLの要件は、ブランド固有の要件と他の業界プログラム（例:ZDHC、bluesignなど）の要件の両方を指します

推奨アップロード:

- 工場の化学品購入方針のコピー

質問の意図は？

この質問の目的は、化学品が購入される前に確立された基準に対してスクリーニングされることを保証するための化学品購入方針が工場に存在することを示すことです。

テクニカルガイダンス:

正式な化学品購入方針を確立することで、購入前に化学品が適切にスクリーニングされることを確保します。化学品購入方針は、購入できる化学品と購入できない化学品の基準を明確に定義するべきです（例えば、特定の法的またはその他の要件、健康と安全性の考慮事項など）。この方針の目的は、危険または違反の化学品が工場に入るリスクを減らすことです。

化学品購入方針を策定する際、工場は効果的な化学品購入方針の以下の主要な要素を考慮するべきです:

- 化学品を購入するための具体的な基準（例えば、法的またはその他の要件）を開発する。
- 化学品が購入される前の詳細な手順と責任の確認と承認。
- 化学物質製造業者に方針と購入基準を伝える手順（例えば、契約や購入合意に条項と条件を含めるなど）。

© 2026 Cascale Inc.

- サプライヤーが安全データシート(SDS)の提供、ラベリング要件、ロット番号、有効期限、その他の製品の環境および健康への影響に関する情報など、十分な化学情報を提供するための要件。
- スタッフが方針についてトレーニングを受け、工場で適切な化学品を選択する重要性を理解するための手順。

リソース

ZDHC Supplier's Roadmap to ZeroのインプットセクションのリソースであるzDHC CMSおよびTechnical Industry Guideフレームワークでは、CMS方針およびCMSに含めるべき原則と実践事項が定められています。これらは、企業がZDHCフレームワークの要件を満たし、サプライチェーンにおける化学物質の使用に伴う環境および健康への影響を低減する、堅牢かつ効果的なCMSを構築することを支援するためのものです。これらのリソースはこちらでご覧いただけます: https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/input

どのように検証されるか:

必要な書類

- 工場が確立した化学品購入方針を持っていることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります:
  - 化学品の購入方針は、購入前に確立された基準に対して化学品がスクリーニングされる方法を概説しています。
  - 化学品の購入記録は、確立された化学品購入方針に従って化学品が購入されていることを示しています。
- 化学品購入方針に合致する工場の実践と手順を示すその他の補足文書。これには以下が含まれる場合があります:
  - 工場の購入方針に関するコミュニケーションおよび/またはトレーニングの記録。
  - 化学品の調達手順。

尋ねるべき面接の質問:

- 工場で化学品の購入を担当するスタッフは、工場の方針を理解しており、確立された方針に沿って化学品のスクリーニングと購入のプロセスを説明することができます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 工場内での観察によると、化学品の購入は購入方針に従って行われています（例えば、工場内のすべての化学品が購入方針に含まれています

4. 貴施設では、化学品在庫リスト（**CIL**）および各化学製品の供給者を記録していますか？（参照*ID - chemtrack*）

© 2026 Cascale Inc.

以下の場合には「あてはまる」を選択してください：あなたの工場が最新の化学品目録（CIL）を持っており、その中にはすべての工場で使用されている化学品が含まれている。

次の場合に部分的にあてはまると回答してください: あなたの工場には最新の化学品目録（CIL）があり、一部、しかし全てではない工場の化学品が含まれています。

注意: 最新の情報とは、在庫の情報が現在使用中のすべての化学品を含んでいることを意味しますそして工場での化学品の使用を正確に反映しています（例えば、現在は工場内にないが、一般的に工場内や工場で使用される化学品）。

あてはまるまたは部分的にあてはまるを選択した場合、次のサブクエスチョンが表示されます：

- あなたの工場の在庫には、以下の種類の化学品が含まれていますか？
    - 製造プロセスで使用されるすべての化学品（生産に使用される化学品、反応物質、添加物を含む。
    - 工具/設備に使用されるすべての化学品（潤滑油とグリース）。
        - 注記：施設の生産設備の保守に下請業者を利用しており、下請業者がこれらの化学物質を施設に持ち込み、施設から持ち出す場合でも、それらをCILに含める必要があります。
    - 施設の運営および保守に使用されるすべての化学物質、ならびに該当する場合は排水処理施設で使用される化学物質。
        - 注記：貴施設が施設運営設備（例：ボイラー、発電機など）の保守に下請業者を利用し、下請業者がこれらの化学物質を施設に持ち込み、施設から持ち出す場合、それらはCILに含める必要はありません。
    - スポットクリーナー。

注記： 主要質問に「はい」と回答するためには、上記の下位質問へのすべての回答が「はい」または「該当なし」でなければなりません。上記の下位質問への回答に「いいえ」が1つでもある場合、主要質問への回答は「一部はい」とする必要があります。

部分的にあてはまるまたはいいえを選択した場合、次のサブクエスチョンが表示されます：

- あなたの工場の化学品目録に含まれていないデータについて、このデータを取得するための行動計画はありますか？

推奨アップロード:

- 工場の化学品目録のコピー
- 該当する場合、インベントリに欠けている情報を取得するための行動計画の文書化。

© 2026 Cascale Inc.

質問の意図は？

この質問の目的は、工場が工場内のすべての化学品を特定し、在庫を作成していることを確認することです。

テクニカルガイダンス:

工場内でどの化学品が使用されているかを理解することは、化学品管理システムを構築するための必要な最初のステップです。使用されているすべての化学品とその特性を特定することで、工場は規制や顧客の要求を理解し管理し、労働者と環境を保護するための適切な管理策を講じることができます。化学品の在庫管理はまた、工場が購入決定を行うのを助け、透明性と追跡可能性を高め、化学品の責任ある使用を促進することもできます。

工場は、化学品の在庫を作成し更新するための堅牢なプロセスを持つべきであり、在庫を維持するための専任スタッフを配置するべきです。

在庫を準備する際には、以下のような重要な考慮事項を見直すべきです:

- すべての化学品、製造用化学品および非製造用化学品を含めてカバーする方法。
    - 在庫は、工場で使用および保管されているすべての化学品を含むべきであり、これには限定されませんが、クリーナー、接着剤、塗料、インク、洗剤、染料、着色剤、補助剤、コーティングおよび仕上げ剤、汎用化学品、さらにはETP、衛生、実験室、ユーティリティ目的で使用されるものも含まれます。
- 化学品を効果的かつ安全に管理するために、インベントリに必要な情報とその情報の取得方法（例：化学物質製造業者、SDS、その他の情報源など）は何ですか。含めるべき主要な情報には、以下のものがありますが、これに限定されません:
    - 化学品の名称と種類
    - サプライヤー/ベンダーの名称とタイプ
    - 製造業者/製剤名
    - 安全データシート(SDS)、世界調和システム（GHS）準拠または同等のもの
    - 機能
    - 危険性分類
    - それがどこで使われているか
    - 保管条件と場所
    - 数量（使用される化学品の量）
    - CAS 番号または番号（混合物の場合）
    - ロット番号（該当する場合）
    - MRSL準拠
    - 購入日
    - 有効期限（該当する場合）
- 在庫がどのように更新されるか（例：新旧の化学品の追加/削除、レビューの頻度、責任者）。

© 2026 Cascale Inc.

- 在庫が化学品の消費と購入の監視を支援し、有効期限切れや工場内での化学品の過剰な保管のリスクを減らす方法。

リソース

以下のリソースは、工場が化学品の在庫を作成または更新するのを支援するための例示テンプレートと参考情報を提供します。

注意: 以下に提供されるリソースは参考のためのものであり、工場は自身の化学品の在庫が適用される法律や規制に準拠していることを確認するべきです。

- ZDHC Supplier's Roadmap to Zeroのインプットセクション
  https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/input
  - 化学物質の購入
- UNECE 世界調和システム（GHS）の化学品の分類と表示
  https://unece.org/about-ghs

どのように検証されるか：

必要な書類

- 工場が化学品目録（CIL）を持っており、そのリストが最新で正確であることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
  - 化学品の在庫リスト (CIL)
  - 化学品の購入記録

尋ねるべき面接の質問:

- 化学品の在庫リストを担当するスタッフは、工場がリストを維持し更新する方法を説明することができます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 工場内での観察によれば、在庫は最新で正確であることが示されています（例えば、工場で使用されている化学品が在庫に含まれています）

5. 貴施設の化学品在庫リスト（**CIL**）には、以下のデータが含まれていますか？該当するものをすべて選択してください。 （参照*ID - chemtrackdatahtml*）

- 化学品の名称と種類
- サプライヤー/ベンダーの名称とタイプ
- 製造業者/製剤名

© 2026 Cascale Inc.

- 安全データシート(SDS)、世界調和システム（GHS）準拠または同等のもの
- 機能
- 危険性分類
- それがどこで使われているか
- 保管条件と場所
- 数量（使用される化学品の量）
- CAS 番号または番号（混合物の場合）
- ロット番号（該当する場合）
- MRSL準拠
- 購入日
- 有効期限（該当する場合）

注釈

- ロット番号に関する例外: 生産に化学品を使用しない工場（例えば、スポットクリーニングやETP化学品など）は、RSL、MRSL、ZDHC廃水テストの失敗を引き起こさないため、これらの化学品のロット番号を含める必要はありません。これらが工場内で使用される唯一の化学品の種類である場合は、ロット番号のボックスをチェックしてください。
- 化学物質が特定のMRSL要件に適合していない場合でも、MRSL適合状況が記載されていれば、施設にCILまたは必要な情報がないことを意味するものではありません。

推奨アップロード:

- 工場の化学品目録（CIL）のコピー
- CILに含まれるデータの補足情報の例（例えば、SDS、化学物質の使用記録、購入記録、MRSL適合性テストまたは宣言など）

質問の意図は？

この質問の目的は、各化学品に必要な情報を含む化学品目録を工場が提示することです。

テクニカルガイダンス:

効果的な化学物質インベントリには、化学物質を効果的かつ安全に管理するために必要なすべての情報を含める必要があります。FEPモジュールでは、この質問に含まれる情報の一覧は、インベントリに含めるべき重要な情報とみなされていますが、施設による化学物質管理を支援するうえで有用な追加情報が存在する場合もあります。例えば、該当する場合、インベントリ内の化学物質が業界標準のポジティブリストまたはネガティブリストに含まれているかどうかを示すことも、望ましい実践として推奨されます。

以下のガイダンスは、在庫の主要な項目に含めるべき情報の種類についての追加詳細を提供します:

- 化学製品と化学製剤製造者の名称

© 2026 Cascale Inc.

- これはSDSのセクション1から取得でき、ここには化学品の名称と化学品調合者の名称が詳細に記載されています。これは化学品容器のGHSラベルで確認するべきです。
- サプライヤー名
  - これが化学品の調合者とは異なる場合、たとえばトレーダーやディストリビューターの場合。
- 安全データシート(SDS)の情報
  - 化学製品のSDSが製造工場で利用可能な場合にのみ、SDSの発行日を入力してください。SDSが利用不可であるか、古いものであると判断された場合は、化学製剤メーカーに連絡して最新のSDSを取得し、その発行日を入力するべきです。
- 機能
  - 化学品の使用または応用を示します。
- 危険性分類
  - 3つの危険タイプ - 物理的、健康、環境 - の危険性声明は、SDSのセクション2に記載されているように入力する必要があります。
  - 保管、取り扱い、排出の予防策：セクション2およびSDSのセクション7.2に記載されているP-ステートメントを参照してください。
- それがどこで使われているか
  - 化学品が使用される場所/エリアを入力してください。
- 保管条件と場所
  - メインストア、サブストア、または特定の保管場所などの場所をここで説明することで、保管場所をすばやく理解することができます。
- 数量（使用される化学品の量）
  - たとえば、実際の月次/年次の使用量と単位
- CAS 番号または番号
  - SDSのセクション3に記載されている有害物質のCAS（Chemical Abstract Service）番号を入力してください。
  - 混合物のCAS 番号と%の物質を入力してください。
- ロット番号（該当する場合）
  - その月に購入した化学品のバッチまたはロット番号を入力することで、原因分析の場合のトレーサビリティを確立することができます。
- MRSL準拠
  - 適用可能なMRSLに対する適合状況を入力してください。

リソース

以下のリソースは、工場が化学品の在庫を作成または更新するのを支援するための例示テンプレートと参考情報を提供します。

注意: 以下に提供されるリソースは参考のためのものであり、工場は自身の化学品の在庫が適用される法律や規制に準拠していることを確認するべきです。

© 2026 Cascale Inc.

- ZDHCサプライヤー向けRoadmap to Zeroのインプットセクション https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/input
    - 化学物質の購入
- UNECE 世界調和システム（GHS）の化学品の分類と表示 https://unece.org/about-ghs

どのように検証されるか：

必要な書類

- 施設の化学品目録（CIL）が最新で、リスト内の化学品に関する正確な情報が含まれていることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - 化学品の在庫リスト (CIL)
    - 安全データシート(SDS)または技術データシート(TDS)
    - 化学品使用記録
    - 化学品の購入記録
    - MRSL準拠テストまたは宣言

尋ねるべき面接の質問:

- 化学品の在庫リストを担当するスタッフは、工場が在庫情報をどのように取得し、リストが維持・更新されることを確認するかを説明することができます。

検査 - 物理的に確認すべきこと:

- 工場内での観察によれば、在庫は最新のものであり、在庫に関連する情報は正確です（例えば、工場で使用されている化学品はすべて在庫に含まれています）

6. 貴施設では、使用するすべての化学物質について安全データシート（**SDS**）を従業員が利用できるようにしていますか？ （参照*ID - chemsds*）

以下の場合には「あてはまる」を選択してください：工場が従業員に対して最新のSDS情報を全ての使用する化学品について提供しているそしてSDSは少なくとも国別の規制に準拠しているそして工場にはSDS情報を最新の状態に保つための確立されたプロセスがある。

以下の場合、部分的にあてはまると回答してください: あなたの工場では、使用されている化学品の一部だけで、最新のSDS情報が従業員に提供されているそして 提供されているSDSは、少なくとも国別の規制に準拠しています。

注: 最新の情報とは、SDSが地方法で定められた頻度で更新され、または以下のいずれかが発生した場合を指します:

- 成分が変更されたため、製剤の危険性分類に影響が出ています。

© 2026 Cascale Inc.

- 新たな毒性学的/法的情報は、製剤の全体的な危険性分類に影響を与える可能性のある製剤に使用される任意の成分に適用されます。
- 物質や混合物に対して新たな制限や認可が課された場合（例えば、EU- REACH規制やその他の法律によるもの）。

あてはまるまたは部分的にあてはまるを選択した場合、次のサブクエスチョンが表示されます：

- 安全性 データシートは、危険な化学品が保管/使用されている場所で容易にアクセスできるように掲示されていますか？
- 労働者が理解できる言語で安全データシートは利用可能ですか（少なくとも、救急処置、危険性、可燃性など、作業者の安全と保管要件に直接関連するセクションについて） 情報はありますか？

ノート:

- 「容易にアクセス可能」は、SDS情報が使用エリアで簡単にアクセスできることを意味します。例えば、SDSを掲示したり、近くの作業エリアのフォルダにSDS情報を保管することで実現できます。
- 全てのSDS情報を労働者の言語に完全に翻訳する必要はありません。労働者の職務機能と化学品の危険性/安全性（例：化学品の適切な取り扱い、使用、保管、個人保護、適切な応急処置/緊急対応、廃棄物処理の注意事項など）に関連する必要な情報の翻訳を含む簡易データシートを作成することが許容されます。

お勧めのアップロード

- SDS情報が適用される作業エリアで表示され、従業員がアクセスできる写真画像。
- SDSのコピー
  - 注意:すべてのSDSのコピーをアップロードする必要はありませんが、検証中にレビューできるようにしておくべきです。
- SDS情報が最新であることを確認する手順。

質問の意図は？

この質問の目的は、工場で使用されるすべての化学品について、最新のSDS情報が利用可能であることを確認することです。

テクニカルガイダンス：

安全データシート(SDS)は、化学品に関連する危険性についての情報の基本的な情報源です。SDSは、化学品の保管、使用、取り扱い、廃棄方法、および健康、安全、環境に関する危険性についての重要な情報を提供します。

工場で使用されるすべての化学品のSDS（ハードコピーまたはソフトコピー）は、スタッフがすぐにアクセスできるように、中央の場所と化学品が保管および/または使用されている場所に

© 2026 Cascale Inc.

保管する必要があります。また、スタッフはSDS情報の読み取りと理解の方法についてもトレーニングを受けるべきです。

化学品の分類および表示のための世界調和システム（GHS/CLP）は、化学品の分類および表示のための国際的に認められたシステムです。GHSは、化学品の分類および表示のための基準と、SDSに必要な情報の要件を標準化した単一の基準セットに、各国で使用されている個々の分類および表示基準セットを置き換えるために開発されました。

GHSの採用レベルは国によって異なる場合がありますが、可能な場合は工場がGHS準拠のSDSを化学物質製造業者から要求することを推奨します。しかし、最低限、工場はSDSの内容に関連する適用可能な国別の規制を遵守するべきです。

また、SDS情報は全ての労働者が理解しやすいように、その言語で提供することが重要です。SDS情報を全て労働者の言語に翻訳する必要はありません。労働者の職務機能や化学物質の危険性/安全性（例えば、化学品の適切な取り扱い、使用、保管、個人保護、適切な応急処置/緊急対応、廃棄物処理の注意事項）に関連する必要な情報の翻訳を含む簡易データシートを作成することが許されています。また、法的に必要な場合もあります。

SDSの発行日とバージョン番号は注意深く監視する必要があります。化学物質製造業者は以下の場合にSDSを更新する必要があります：

- 化学品の危険性分類を変更する結果をもたらす成分が変更されます。
- 新たな毒性学的/法的情報は、化学品の危険性分類に影響を与える可能性のある成分に適用されます。
- 化学品またはその成分（例：EU- REACH規制やその他の法律）に対して何らかの制限または許可が課されています。

施設にとって、各化学製品のSDSの有効性を、更新の可能性について供給業者に定期的に確認することで監視することは、優れた慣行と見なされます。（注記：FEPでは、この頻度を必須として定めていません。）

特定のSDS情報が購入時点で入手できない場合（例：工具用または清掃用の化学物質）、施設は化学物質に関する情報を可能な限り入手するよう努めるべきです（例：製品に記載された製造業者または供給業者に連絡する）。また、施設は、これらの製品に成分および危険有害性の詳細を記載すべき適切なラベルが付いていることを確認する必要があります。適切なラベルまたはSDSが入手できない場合、元のラベルはGHS／CLPまたは国別の規制に準拠している必要があります。

リソース

以下のリソースはSDS管理に役立つ情報を提供します。

注：以下に提供されるリソースは参考のためのものであり、工場は自身のSDS管理プログラムが適用可能な法律や規制に準拠していることを確認するべきです。

© 2026 Cascale Inc.

- UNECE 世界調和システム（GHS）の化学品の分類と表示 https://unece.org/about-ghs
- 国別のGHS実施状況 - https://unece.org/transportdangerous-goods/regionalcountry-level?accordion=0#accordion_1
- ZDHC Supplier's Roadmap to Zeroのインプットセクション https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/input

どのように検証されるか：

必要な書類

- 工場が最新のSDS情報を職場で利用可能にしており、SDS情報が労働者に利用可能であることを示す文書。これには以下のものが含まれる場合があります：
    - SDSの最新のコピーは、少なくともSDSの法的要件に準拠しています。
    - 労働者の言語に翻訳されたSDS情報をコピーします。
    - 労働者のためのSDSトレーニング記録。
    - 工場がSDS情報を最新の状態に保つためのプロセスを持っていることを示す手順。

インタビューの質問

- 施設でSDS管理を担当するスタッフは、SDS情報を管理するための施設の手順、ならびに化学物質に関する最新のSDS情報を入手し、周知し、労働者が利用できるようにする方法を説明できます。

- 関連する従業員は、工場のSDSプログラムを理解し、必要に応じてSDS情報がどのようにアクセスされるかを説明できます。

検査 - 物理的に確認すべき事項:

- 工場で最新のSDS情報が利用可能であり、労働者がアクセスできることを示す観察（例えば、工場内で観察された化学品のSDSが利用可能、SDSが作業エリアに（ハードまたはソフトコピーで）保存されている）

7. 施設では、化学物質を取り扱うすべての従業員に対し、化学物質の危険有害性、リスク、適切な取扱い、および緊急時または漏出時の対応について研修を実施していますか？ （参照*ID - chemtraining*）

次の場合には「あてはまる」を選択してください：あなたの工場が従業員にトレーニングを提供し、そのトレーニングがすべての基準を満たしている場合：
- トレーニングは全化学品を取り扱う従業員に提供されました。

© 2026 Cascale Inc.

- トレーニングは、以下のサブクエスチョンに記載されているすべてのトピックをカバーしています。
- トレーニングは記録されています（トレーニング記録および/または資料で）
- トレーニングは少なくとも年次で行われまたは従業員の離職率に応じて新入社員全員をトレーニングする頻度で行われます。

次の条件が1つ以上満たされていない場合、部分的にあてはまると回答してください：工場がトレーニングを提供しているが、

- 化学品を取り扱う全ての従業員にトレーニングが提供されました。
- トレーニングは、以下のサブクエスチョンに記載されているすべてのトピックをカバーしています。
- トレーニングは記録されています（トレーニング記録および/または資料で）
- トレーニングは少なくとも年次で行われまたは従業員の離職率に応じて新入社員全員をトレーニングする頻度で行われます。

注: あなたの工場が化学品についてのトレーニングを従業員に提供していない場合、この質問には「いいえ」と答えるべきです。

あてはまるまたは部分的にあてはまるを選択した場合、次のサブクエスチョンが表示されます：

- あなたのトレーニングに含まれるすべてのトピックを選択してください:
  - 化学物質の危険性と識別
  - MSDS/SDS
  - 標識
  - 互換性とリスク
  - 適切な保管と取り扱い
  - PPE
  - 緊急事態、事故、または漏洩の場合の手順
  - 化学品保管エリアへのアクセス制限
  - タンク内の化学品の潜在的な環境への影響
  - 工場がこれらの容器を使用し、保管し、輸送するエリアで従業員に提供される物理的な保護。
  - この保護を監視し維持するための個々の職務についてはこちら。

お勧めのアップロード

- 従業員向けの化学品に関するトレーニングを工場が実施したことを示す文書（例：トレーニング計画/スケジュール、トレーニング記録、トレーニングに使用された教材、トレーニング後の評価手順および/または記録）

質問の意図は？

© 2026 Cascale Inc.

この質問の目的は、化学品の危険性と安全性について取り扱う従業員をトレーニングするための手順が工場に存在し、そのトレーニングが実施されていることを示すことです。

テクニカルガイダンス:

すべてのレベルの従業員が、工場で使用されている化学品の危険性、リスク、安全対策、および緊急対応について認識していることが重要です。工場では、化学品を取り扱うすべての従業員との間で認識と知識を共有するための正式な文書化されたトレーニングプロセスを持つべきです。

効果的なトレーニングプログラムにより、すべてのレベルの従業員が職場での化学品に関連する潜在的な危険、リスク、および管理方法を理解することが確保されます。従業員の位置や責任に応じて、さまざまなレベルと種類のトレーニングが必要となる場合があり、これは彼らが通常の業務や緊急事態中に接触する可能性のある化学品の種類に直接関連しています。

トレーニングプログラムの効果を評価するための情報を収集する手順(例:受講者のフィードバックアンケートやテスト、観察、またはトレーナーのパフォーマンスのレビューなど)を持つことは、工場がトレーニングの効果と知識の維持を確保するのに役立ちます。

リソース

- ZDHCアカデミーは、持続可能な化学品管理についての認識を高め、スキルを学び、開発するためのトレーニングを提供しています - https://www.implementation-hub.org/academy

どのように検証されるか:

必要な書類

- 工場が従業員に化学品に関するトレーニングを提供したという文書。これには以下が含まれる場合があります:
  - 従業員のためのトレーニング計画は、トレーニングのスケジュール、カバーするトピック、トレーニングの種類を特定します。
  - トレーニング出席記録
  - 環境トレーニング用のトレーニング資料、
  - トレーニング評価手順および/または記録

尋ねるべき面接の質問:

- 工場の化学品トレーニングプログラムを担当するスタッフは、トレーニングがどのように提供され、該当する場合、トレーニングの効果がどのように評価されるかを説明できます。

© 2026 Cascale Inc.

- トレーニングを受けた従業員は、トレーニングの内容を理解しています。

検査 - 物理的に見るべきもの：

- 工場の環境トレーニングプログラムの裏付けとなる証拠（例えば、意識向上のポスターや、可能であれば工場の化学品管理/安全プログラムに関連する情報掲示など）

8. 施設には、定期的に訓練を実施する化学物質の漏出および緊急時対応計画がありますか？（参照*ID - chememergplan*）

化学品を生産に使用する工場向け:

以下の場合には「あてはまる」を選択してください：あなたの工場が、ZDHC 化学品管理システム（CMS）フレームワーク のセクション4.3に記載されている要件を満たす化学品漏洩と緊急対応計画（ERP）を文書化しているそして関連スタッフ全員が年に少なくとも2回は実践的な訓練を行っている。

以下の場合は「一部はい」と回答してください：貴施設には文書化された化学物質の漏出および緊急時対応計画がありますが、その計画がZDHC化学物質管理システム（CMS）フレームワークのセクション4.3に記載されている要件を満たしていない または関連するすべてのスタッフを対象とした訓練が、少なくとも年2回実施されていない。

注：この質問について、関連スタッフとは、化学品を取り扱う従業員やマネージャー、化学品が使用されているエリアで働く人々、および/または工場の化学品漏れと緊急対応計画（ERP）/手順に明確な責任を持つ人々を指します。

運用や工具/設備のために化学品のみを使用する工場について:

以下の場合は「あてはまる」を選択してください：あなたの工場が、セクション4.3に記載されている要件を満たす化学品漏洩と緊急対応計画（ERP）を文書化している場合 ZDHC化学品管理システム（CMS）フレームワーク。実践的なボーリングは必要ありません。

以下の場合、部分的にあてはまるを選択してください：あなたの工場には化学品の漏れと緊急対応計画（ERP）が文書化されていますが、その計画はZDHC化学品管理システム（CMS）フレームワークのセクション4.3に記載されている要件を満たしていません。実践的なボーリングは必要ありません。

注記：ZDHC化学物質管理システム（CMS）フレームワークに関連する文書は、以下で参照できます： https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/input

© 2026 Cascale Inc.

推奨アップロード:

- 工場が緊急対応計画を持っており、必要に応じて実施訓練を行っていることを示す文書（例：緊急対応計画/手順のコピー、実施訓練の記録など）

質問の意図は？

この質問の目的は、緊急対応手順が整備されており、化学品の緊急事態が発生した場合の対応方法を従業員がトレーニングされていることを工場が示すことです。

テクニカルガイダンス：

FEPモジュールは、ZDHC化学物質管理システム（CMS）フレームワークのセクション4.3に記載された緊急時対応計画の内容および手順に関するZDHC基準に準拠しています。これらの基準の概要は以下のとおりです：

少なくとも、工場には以下のものが必要です：

- 化学品や自然災害に関連するがそれに限定されない、漏れ、火災、事故、従業員への負傷、建物や設備の損傷などの潜在的な事故に対応するための手順。
- 建物の避難方法と、避難を担当する個々の連絡先/情報を含む詳細な指示。
- すべての従業員、下請け業者、EMSチーム、そしてドリルの規模と範囲により、外部のコミュニティEMSチームを含む手順の年2回のテスト。
- 大規模な緊急事態では地方政府が管理を行い、追加のリソースが利用可能になる可能性があるため、適切な市の役人との相談。
- 緊急時に適切なパフォーマンスを確保するためのコミュニケーションとトレーニング。
- 実践的な訓練と実際の緊急事態の後に必要に応じて手順を更新する方法。すべての訓練とフォローアップは文書化されるべきです。

リソース

- ZDHC化学物質管理システム（CMS）フレームワークの関連文書は、こちらで参照できます： https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/input

どのように検証されるか：

必要な書類

- 工場が緊急対応計画（ERP）を文書化し、必要に応じてボーリングを実施していることを示す文書。これには以下のものが含まれる場合があります：
    - 緊急対応計画/手順、
    - 実践ドリルの文書化（例：掘削練習/トレーニング記録）

インタビューの質問

© 2026 Cascale Inc.

- 工場の緊急対応計画（ERP）と手順を管理する担当者は、緊急事態に対応するための工場の手順と、どのようにドリルが実施されるかを説明できます。
- 関連スタッフは、工場の緊急対応手順を理解し、該当する場合はボーリングに参加しています。

検査 - 物理的に見るべきもの：

- 観察結果から、工場は開発された計画に従って化学緊急事態に対応するための必要な手順と設備を整えていることが示されています。（例：緊急対応装置の利用可能性、例えば、スピルキット、シャワー、アイウォッシュステーション、消火器、SDS、緊急出口は明確にマークされ、障害物がなく、施錠されていないなど）

9. 貴施設には、化学物質が保管・使用されるすべてのエリアにおいて、世界調和システムに準拠した（または同等の）安全データシートで推奨されている、適切で使用可能な保護・安全設備がありますか？ （参照*ID - chemsafetyequip*）

あてはまる 場合: あなたの工場には、安全データシート(SDS)で推奨される化学品の保護装置と安全装置が適切にあり、操作可能であるすべての化学品が保管および使用されているエリア。

以下の場合、部分的にあてはまると回答してください: あなたの工場には、安全データシート(SDS)で推奨される化学品の保護および安全装置が適切で操作可能である一部、しかし全てではない化学品が保管および使用されているエリア。

ノート:
- この質問は、すべての生産および非生産関連の化学品に適用されます。
- この質問では、適切と操作可能という用語は以下のように定義されます：
    - 適切 – これは、各化学品のSDSに推奨されている保護および安全装置、または資格を持つ安全専門家によって行われた健康と安全のリスク評価によって必要とされるものを指します。
    - 操作可能 - これは、保護装置や安全装置が従業員に容易にアクセスでき、良好な修理状態や作業状態（例えば、装置製造者の仕様に従って）に保たれていることを指します。

推奨アップロード:

- 施設が適切な保護装置と安全装置を特定し、それらの装置が定期的に補充および/または保守されていることを示す文書（例えば、必要な管理を示す健康と安全のリスク評価、PPEと安全装置の在庫リストと補充/交換のスケジュール、装置の保守など）。

質問の意図は？

© 2026 Cascale Inc.

この質問の目的は、工場が化学品の職場での健康と安全リスクに対する労働者の曝露を減らすための適切な保護装置と安全装置を理解し、提供することを確認することです。

テクニカルガイダンス:

化学品が保管および使用されている場所で、適切な個人用保護具(PPE)(例:手袋、呼吸器、保護服など)およびその他の安全装置(例:スピルキット、洗眼器、緊急シャワー、消火器など)が利用可能であることを確認することは、労働者を化学物質の暴露リスクから保護するために重要です。

GHS準拠のSDSに記載されている推奨される安全および保護装置に関する情報は、次のセクションで見つけることができます(SDSのセクションと内容は管轄区域により異なることに注意してください)

- セクション4:応急処置措置
- セクション5:消火対策
- セクション8:露出制御/個人保護

最適なPPEと安全装置の選択は、最も効果的な装置とその限界を決定するために、認定された健康と安全の専門家によって評価されるべきです。これは特に、労働者が複数の化学品と化学品の混合物に潜在的に曝露される可能性がある多くの化学品を使用する工場にとって特に重要です。

すべてのPPEおよび安全装置については、適切な交換および保守スケジュールを定義し、それは製造業者の推奨事項、工場内の状況、化学品への潜在的な曝露のレベルと期間などの利用可能な情報に基づいているべきです。

工場では、PPEは他の制御方法が利用できないか、十分でない場合にのみ最終手段として使用すべきであることを覚えておくことも重要です。PPEが必要な作業では、特定の化学物質または物理的な危険性と最も効果的なPPEの種類を特定する正式な作業危険性レビューに基づいて選択するべきです。

リソース

- U.S. OSHA – 個人用保護具 - https://www.osha.gov/sites/default/files/publications/osha3151.pdf
- 職場における化学物質の安全:化学物質の使用および取扱いにおける個人用保護具(PPE)に関するガイダンスノート - http://www.labour.gov.hk/eng/public/os/C/equipment.pdf
- ZDHCサプライヤー向けRoadmap to Zeroのプロセスセクション https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/process
    - 化学物質の取扱いと作業者の安全

どのように検証されるか:

© 2026 Cascale Inc.

必要な文書:

- 工場が適切な保護および安全装置を特定し、その装置が定期的に補充および/または保守されていることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります:
    - 必要な保護/安全装置を示す文書化された健康および安全リスク評価および/またはSDS。
    - PPEの在庫リストと在庫補充/交換のスケジュール
    - 安全装置の点検および保守スケジュール(例:目洗い、緊急シャワーなど)

インタビューの質問

- 工場の健康と安全を担当するスタッフは、工場が必要なPPEと安全装置の種類をどのように特定するかを説明できます。
- 保護および/または安全缶を提供または維持する責任者は、設備が利用可能で、良好な作業状態であることを確認するための工場の手順を説明できます。

検査 - 物理的に見るべきもの:

- 工場内での観察結果から、適切なPPEと安全装置が関連エリアに利用可能であり、化学品SDSの危険分類と一致しており、安全装置は利用可能で機能していることが確認されました。

10. 貴施設には、化学物質を使用するエリアに、化学物質の危険性に関する標識および安全な取扱いのための設備がありますか? (参照ID - chemhazardsign)

以下の場合には「あてはまる」を選択してください: あなたの工場には化学品の危険標識があり、安全な取り扱い装置がすべての化学品を使用するエリアに用意されています。

次の場合に部分的にあてはまるを選択してください: あなたの工場には化学品の危険標識と安全取扱装置がありますただし、すべての化学品を使用するエリアにはありません。

注: この質問は、すべての生産および非生産関連の化学品に適用されます。
推奨アップロード:

- 化学品が使用されるエリアで化学危険物の標識と安全取扱装置が利用可能であることを確認するための適切な慣行と手順を持つ工場の証明書(例:化学品のラベリング/標識手順、化学危険物の標識の例、化学危険物の標識と取扱装置をカバーする検査スケジュール/手順など)

質問の意図は?

© 2026 Cascale Inc.

この質問の目的は、化学品が保管されているすべてのエリアで化学危険物標識と安全取扱装置が設置されていることを確認するための実践と手順が工場に存在することを示すことです。

テクニカルガイダンス：

職場に化学的危険物が存在することを従業員に明確に伝え、可視化することが重要です。これにより、従業員は化学的危険物が存在する場所と、存在する危険物の種類（例：可燃性、有毒性、腐食性など）を理解することができます。工場では、化学品が保管または使用されているすべてのエリアに標識を掲示するべきです。標識には、SDS（セクション2：危険（s）識別）および/または地方法で必要とされる他の危険物識別子に基づいた化学品の危険分類を示すべきです。

化学品の危険標識が必要な工場内のエリアには、以下のようなものがありますが、これに限定されません：

- 受け取りと配送エリア
- 化学品の保管エリア（中央倉庫および一時保管エリア）
- 化学品のプロセスエリア（例：製造/生産エリア）
- 廃棄物化学品の保管（化学残渣および期限切れの化学品を含む）
- 研究所
- メンテナンスエリア

安全な取り扱いと移送のための設備（例えば、トロリー、カート、ポンプ）は、安全な取り扱いを確保し、労働者の健康や環境への悪影響をもたらす可能性のある漏れを減らすために、関連する場所で利用可能であるべきです。これらのツールは化学品の損失を減らすことでコスト節約にもつながります。

リソース

- ZDHC Supplier’s Roadmap to Zeroのプロセスセクション https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/process
- 米国労働安全衛生局（OSHA）Hazcomウェブサイト - https://www.osha.gov/hazcom

どのように検証されるか：
必要な文書**:**

- 化学品が使用されるエリアで化学危険物標識と安全取扱装置が利用可能であることを保証するための適切な慣行と手順を持つ工場が示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - 化学品のラベリング/標識手順と化学危険物標識の要件
    - 化学品の危険標識と取扱い設備をカバーする検査スケジュール/手順。
    - 工場内の化学品の危険等級を示すSDS。

© 2026 Cascale Inc.

インタビューの質問

- 工場の化学品管理および/または安全プログラムを担当するスタッフは、化学品が保管および使用されているエリアで適切な危険標識が利用可能であることを確認するための施設の手順を説明することができます。
- 関連する従業員は、工場の化学品の危険標識を理解し、提供された安全取扱装置の使用方法を理解しています。

検査 - 物理的に見るべきもの：

- 工場内での観察によると、化学品が使用されているすべてのエリアに化学危険物質の標識が設置されており、その標識はSDSに記載されている危険性と一致しています。
- 安全な取り扱い装置が利用可能で、使用されていることを示す観察。

11. 施設では、化学物質をその危険有害性および**MRSL**要件に基づいて選定・購入していますか？（参照*ID - chempurchasereqmrsl*）

以下の場合には「あてはまる」を選択してください：あなたの工場には、化学品の危険性とMRSL要件に基づいて化学品を選択し購入するための文書化されたプロセスが存在します。そしてすべての 化学品はMRSLと工場の購入方針の要件を満たしています;
そしてMRSLの適合性は年次で確認されます（例：MRSL適合性の証明書/宣言、分析証明書など）。

部分的にあてはまる 場合: あなたの工場は、化学品の危険性とMRSL要件に基づいて選択し購入するための文書化されたプロセスを持っていますが、MRSLへの準拠を証明する十分な文書証拠を持たない化学品を購入しています、そしてあなたの工場は、6ヶ月以内に化学物質製造業者から文書を取得するか、要件を満たすことができる化学物質製造業者に変更するための明確な計画を持っており、MRSLに準拠する化学品の%を増やす予定です。

<u>非生産化学品とスポットクリーナー:</u>

製造プロセスで使用されない化学品（例えば、潤滑剤、清掃用化学品など）やスポットクリーナーについては、MRSL準拠の第三者証明書/宣言書や分析証明書を取得することが実現可能でない場合があります。このような種類の化学品については、この文書は必要ありませんが、工場はMRSLと照らし合わせて適合性を確認するための化学成分のレビュープロセスを確立していなければなりません。

注釈

- ZDHC MRSLの適合レベル（1、2、3）は、ZDHC MRSLとの適合性を判断するためにZDHC Gateway-化学品モジュールから使用するべきです。ZDHC MRSLの適合性についての詳細は、こちらのZDHC MRSL適合ガイダンスを参照してください：

© 2026 Cascale Inc.

https://downloads.roadmaptozero.com/input/ZDHC-MRSL-Conformance-Guidance

- 化学物質インベントリをZDHC MRSLと照合するためのツールについては、ZDHC InCheck Solutionsを参照できます。 https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/input

あてはまるまたは部分的にあてはまるを選択した場合、次のサブクエスチョンが表示されます：

- あてはまる場合、製造に使用されるすべての化学品は工場の化学品購入方針を満たしていますか？

「いいえ」を選択した場合、次のサブクエスチョンが表示されます：

- いいえの場合、工場の化学品購入方針に適合しない化学品を排除するためのプロセスや計画はありますか？

お勧めのアップロード

- その危険性とMRSL要件に基づいて化学品を選択し購入することを示す工場の文書化:
  - 工場に適用されるMRSL（例えば、顧客のMRSL、ZDHC MRSL、工場の統合MRSL）。
  - 化学品の購入方針と手順。
  - 化学品購入用のポジティブリスト。
  - 第三者のMRSL準拠証明書/テストレポート/宣言および/または化学組成の分析証明書。
  - すべての化学品のMRSL準拠状況を示す化学品目録。

質問の意図は？

目的は、工場が化学物質の危険性とMRSLの適合性を調達中に評価するための確立されたプロセスを持っていることを確認し、適合する化学品のみが工場での使用のために購入されることを確認することです。

テクニカルガイダンス：

MRSLは、製造において使用が禁止されている化学物質のリストであり、製造制限物質リストと定義することができます。MRSLの目的は、工場が環境や人間の健康に対してより少ない影響を与える環境優先の化学物質を使用していることを確認することです。化学品の調達においてMRSLを使用することで、より一貫した材料の適合性も確保できます。

化学品が購入前に適切に評価されるように、工場は次のことを行うべきです：

- 彼らが取り組んでいる、または業界の取り組みの一部であるクライアント（例：ブランド）からのすべてのMRSL要件をカバーする独自の化学品MRSLを確立する、または

© 2026 Cascale Inc.

すべてのMRSL（例：bluesignシステム）をカバーするアクティブリストからの準拠化学品を使用する戦略を実装します。

- すべての化学物質製造業者に対してMRSL要件を伝えるプロセスを確立し、供給業者からの適合性を確認するための必要な証拠（例えば、ポジティブリスト、MRSL適合の証明書/宣言、分析証明書、またはその他の関連文書）を含めます
- すべての化学品の購入要件としてMRSLの遵守を含めます。
    - これには、化学物質製造業者が提供する文書により、化学品がMRSLの要件を満たしていることを確認する手順が含まれるべきです。
    - 該当する場合、工場はbluesign 認定化学品、Ecopassport by OekoTexなど、MRSL要件を満たす化学品を購入するべきです。
- すべての化学品調達スタッフがMRSLの要件と工場の購入方針と手順を理解していることを確認します。
- 製造プロセスで使用されない化学品（例えば、潤滑剤、洗浄化学品）については、少なくとも成分リストと利用可能な場合はSDSを工場のMRSLと照らし合わせてMRSLの適合性を確認するプロセスが存在することを確認してください。

工場が化学物質製造業者とMRSL要件について話し合うことは重要であり、どの化学品がMRSLに準拠しているか、化学物質製造業者が自社の製品が工場のMRSL要件に準拠していることを証明するための要件を決定します。

工場が単に供給業者からの簡単な宣言や保証に頼るだけでなく、ISO 17025認定のラボからの化学組成試験報告書や、適用可能なMRSL（例：ZDHC、bluesign、OEKO-TEXなど）に準拠していることを確認する確立されたポジティブリストの使用など、コンプライアンスを確保するための検証プロセスが存在することを確認することも重要です。

ハードグッズ工場向けのガイダンス:

ハードグッズセクターでは、MRSL（製造制限物質リスト）の要件が利用できない場合があります。しかし、化学品の使用から大きな影響があるため、制限リストを使用すべきです。

ハードグッズの製造において、黒、灰色、白のリストがよく使用されます。黒リストには製造に禁止されている化学品が含まれ、灰色リストには製造から段階的に排除すべき化学品が含まれ、白リストには使用可能な化学品が含まれます。これらをまとめた用語として、「制限リスト」を選びました。ハードグッズのセクターでさまざまなリストが使用されているという事実を超えて、選択と購入についての問いはハードグッズの工場にも当てはまります。

工場は、業界全体のリスト、ブランド固有の制限リスト、または自分たち自身のリストを使用することが予想されます。

ハードグッズ分野のすべての繊維部材（例：リュックサック、テントなどの製品）には、FEPモジュールに定められたMRSL基準を適用する必要があります。

© 2026 Cascale Inc.

その他すべての構成要素については、製造時の使用に関する制限リストによって少なくとも管理されるべきです。RSLを通じて適用される最終製品に対する制限は、特に金属加工業界および電子機器業界に関連する場合がありますが、他のセクターには関連しない場合もあります。RSLにより最終製品に残留する化学物質の管理は確保されますが、これは製品および使用される材料に依存する場合があります。

「制限リスト」の3つの例は次のとおりです：

1. EU（欧州連合）のRoHS指令。RoHS指令は電子製品に残留する化学物質を制限するものであり、廃棄物セクションのガイダンスで言及されているEUのWEEE指令と密接に関連しています。ハードグッズ分野に関連する可能性のある電子製品には、民生用機器、照明機器（電球を含む）、電子・電気工具、玩具、レジャー・スポーツ機器、監視・制御機器が含まれます。制限対象となる化学物質は次のとおりです：
    a. 鉛 (Pb)
    b. 水銀 (Hg)
    c. カドミウム (Cd)
    d. 六価クロム (Cr6+)
    e. ポリブロミネートビフェニル（PBB）
    f. ポリブロミネートジフェニルエーテル（PBDE）
    g. ビス(2-エチルヘキシル)フタレート(DEHP)
    h. ブチルベンジルフタレート（BBP）
    i. ジブチルフタレート (DBP)
    j. ジイソブチルフタレート(DIBP)
        i. 最大許容濃度：0.1%[5]
        ii. カドミウムの最大値：0.01%[5]
2. 以下のGADSL（グローバル自動車宣言物質リスト）。
3. 以下のABB禁止および制限物質リスト。

工場では、業界全体のリスト、ブランド固有の制限リスト、または自分たち自身のリストを使用することが予想されます。

現時点では、Hardgoods FEMワーキンググループにより、MRSLの概念にまだ触れていない、またはブランド/小売りバイヤーの一部からMRSLを受け取っていない工場は、MRSLに関連する質問に回答する必要はないと決定されています。

この規定は、まだMRSLの概念に触れていないハードグッズの工場を支援するための暫定的な妥協点であることにご注意ください。しかし、これらの工場もMRSLに関連する解決策を求めることを期待しています。

リソース

- ZDHCサプライヤー向けRoadmap to Zeroのインプットセクション https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/input
    - 化学物質の購入

© 2026 Cascale Inc.

- ZDHC MRSL適合ガイダンス https://downloads.roadmaptozero.com/input/ZDHC-MRSL-Conformance-Guidance
- ZDHC ChemCheck https://www.zdhc-gateway.com/reports/chemcheck
- ブルーサインhttps://www.bluesign.com/ja
- OEKO-TEX https://www.oeko-tex.com/en/

どのように検証されるか：

必要な文書:

- その危険性とMRSL要件に基づいて化学品を選択し購入する工場の証明書類。これには以下が含まれる場合があります：
    - 工場に適用されるMRSL（例えば、顧客のMRSL、ZDHC MRSL、工場の統合MRSL）。
    - 化学品の購入方針と手順、これに限定されませんが以下を含みます：
        - 化学物質製造業者とのMRSLのコミュニケーションプロセス,
        - MRSL準拠の供給業者の確認/宣言を得るプロセス、
        - 化学物質製造業者からの最新のポジティブリストの収集。
        - ポジティブリストに掲載されている化学品の購入に関する優先事項/要件。
    - 化学品購入用のポジティブリスト。
    - 年次の第三者によるMRSL準拠証明書/テストレポート/宣言および/または化学組成の分析証明書。
    - すべての化学品のMRSL準拠状況を示す化学品目録。
- 製造プロセスで使用されない化学品について、工場が化学成分を工場のMRSLと照らし合わせるプロセスを持っていることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - SDSまたはTDS
    - 消費者のラベルからの成分リスト。

インタビューの質問

- 工場の化学品管理プログラムを担当するスタッフは、工場がMRSLを設定した方法と、工場の化学品購入方針と手順のMRSL要件を説明できます。
- 化学品の調達を担当するスタッフは、工場のMRSLおよび購入方針と手順に関連して、化学品がどのように評価され、購入が承認されるかを理解し、説明することができます。

検査 - 物理的に見るべきもの：

© 2026 Cascale Inc.

- 工場内での観察によると、使用されているすべての化学品は工場のMRSLおよび化学品購入方針と手順に準拠しています（例えば、適切にスクリーニングされた化学品が観察され、MRSLの適合性を確認する文書証拠が存在します）。

14. 貴施設には、明確に表示された指定化学物質保管エリアがありますか？
（参照*ID - chemstorage*）

以下の場合には「あてはまる」を選択してください: あなたの工場には、工場内に保管されているすべての化学品のための明確にマークされ、指定された化学品保管エリアがあります。

お勧めのアップロード

- 化学品の保管エリアの位置を示す工場マップ。
- 化学品保管エリアのフロアレイアウト計画、異なる種類の化学品のカテゴリー分けと保管場所を明示します。
- 化学品の保管とラベリングのための標準業務手順書。
- 化学品保管エリアと管理の例示写真
- 保管の出入りログ、FEFO記録、保管場所への到着日、ロット番号、生産への発送日などを指定する例)
- 化学品保管エリアの監査/検査チェックリストまたはレポート。

質問の意図は？

この質問の目的は、すべての保管エリアが適切にマークされ、汚染や安全リスクを防ぐための十分な管理が行われていることを工場が示すことです。

テクニカルガイダンス:

適切な制御を伴う適切な化学品の保管は、健康・安全および環境リスクを減らし、防止するために重要です。よく計画された保管エリアは、取り扱いと使用中の化学品の移動と保護を容易にします。保管条件は、安全データシート(SDS)に記載されている推奨保管方法や化学物質製造業者による推奨保管方法に基づいているべきです。また、化学品の保管に関連するすべての法的要件を遵守する必要があります。

化学品の保管エリアと管理は、現場で使用される化学品の特定のタイプ、数量、および危険性に適した設計となっているべきです。以下に、適切な場合に考慮し、実施すべき化学品保管の推奨される良い実践を提供します:

- 物理的状態と固有の性質に基づいて化学品を分けてください。固体と液体の化学品は別々に保管すべきです。
- SDS（セクション10）に記載されている情報に基づき、化学品の適切な互換性を確保してください。

© 2026 Cascale Inc.

- 化学品の保存に必要な場所では、適切な換気、照明、温度と湿度の制御を提供してください。
- 保管エリアの床は、液体に対して不浸透で、滑りにくくする必要があります。また、清掃が容易で、酸や有機溶剤に耐性があるべきです。
- すべての化学品容器を収容し、移動や容器へのアクセスが容易なスペースを確保するためのレイアウトを計画します。
- 指定された歩行エリアのための床に色のマーキングを使用し、出口の蓄光サインを使用します。
- 必要に応じて、緊急出口が利用可能で障害物がないこと、そして出口のドアが押し棒のハンドルで外向きに開くことを確認してください。
- 期限切れの化学製品、こぼれた廃棄物、使用済みの容器を定期的に清掃してください。
- 不適合な化学品を化学物質製造業者に返却するための指定エリアを赤（または現地で必要とされる色）の境界線でマークします。関連文書は近くに保管してください。
- 店舗には適切な量の互換性のある消火器を保管し、煙感知アラームやスプリンクラーシステムを設置してください。
- 容器の二次収容を確保してください。最低限、二次収容の容量は化学品の量と容器のサイズに基づいて適用可能な法的要件を満たす必要があり、原則として、元の（一次）容器の110%であるべきです。
- ガスボンベは直立した状態で、別の場所に保管するべきです。保管されているボンベは固定されているべきです。LPGボンベは直射日光から保護し、可燃性、可燃性、または酸化性の化学品や他の圧縮ガスボンベから分離して保管するべきです。
- 化学品は屋外に保管する場合、日光や雨、高温から保護するために適切なカバーが必要です。そのエリアは、不正なアクセスを防ぐためにフェンスで囲むべきです。また、そのような保管エリアの床は、漏れた化学品が土壌や水を汚染するのを防ぐために確保する必要があります。
- 化学品の保管場所へのアクセスは、許可されたスタッフのみに許可され、その名前と写真はメインエントランスドアの近くに表示するべきです。
- 漏れを防ぐために、スピルコントロールキットを用意してください。
- ストアのメインエントランスドア近くに保管されている化学製品のすべてのSDSのボックスファイルを保管してください。ファイルは、化学製品製造者と製品の名称で適切に索引付けされるべきです。SDSファイルはすべてのスタッフがアクセスできるようにするべきです。SDSはプラスチックのフォルダに入れて、ストア近くの掲示板に掲示することもできます。
- 店舗の主要な場所に警告標識を設置し、スタッフがリスクを把握できるようにします。
- 化学製品を取り扱うスタッフがすばやく理解できるように、危険性や応急処置/緊急対応策についての重要な情報を伝えるための「化学品安全カード」を準備します。

リソース

- ZDHC Supplier’s Roadmap to Zeroのプロセスセクション
  https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/process
    - 化学物質の安全な保管

© 2026 Cascale Inc.

どのように検証されるか：

必要な書類

- 化学品保管エリアにおける工場の管理体制を示す文書、そしてそれらが適切に維持されていること。これには以下が含まれるかもしれません：
    - 化学品の保管エリアの位置を示す工場マップ。
    - 化学品保管エリアのフロアレイアウト計画、異なる種類の化学品のカテゴリー分けと保管場所を明示します。
    - 化学品の保管とラベリングのための標準業務手順書。
    - 保管の出入りログ、FEFO記録、保管場所への到着日、ロット番号、生産への発送日などを指定する例)
    - 化学品保管エリアの監査/検査チェックリストまたはレポート。

インタビューの質問

- 化学品管理を担当するスタッフは、化学品保管エリアの危険性と管理方法を理解し、管理が適切に行われ、維持されるようにするための工場の手順を説明することができます。
- 関連するスタッフ（管理者および従業員）は、化学品保管エリアを維持するための管理策とその責任を理解しています。

検査 - 物理的に見るべきもの：

- 現場での観察により、記載された管理措置が実施され、適切に維持されていることが確認されます（例：混載不適合の化学物質が別々に、または安全な距離を置いて保管されている、保管された化学物質に適切なラベルが付いている、二次封じ込め設備が設置され十分な容量を有している、可燃性化学物質に対する保護措置が講じられている、必要な個人用保護具が用意され使用されている、など）。

15. 施設には、明確に表示された小分け保管区域がありますか？

（参照*ID - chemsubstorage*）

次の場合には「あてはまる」を選択してください: あなたの工場には、化学品のための指定され、よくマークされたサブストレージエリアがあります。

次の場合は該当なしと回答してください: あなたの工場にはサブストレージエリアがありません。

注：サブストレージエリアとは、工場の主要なバルク化学品保管エリアとは別に、生産プロセスでの化学品の使用中に保管および取り扱いを行う一時的または恒久的なエリアを指します。これには、積み込み、QA検査などのための一時的な保管エリアが含まれます。

© 2026 Cascale Inc.

お勧めのアップロード

- 化学品のサブストレージエリアの位置を示す工場マップ。
- 化学品のサブストレージエリアのフロアレイアウト計画、異なる種類の化学品のカテゴリー分けと保管場所を明示します。
- 化学品の保管とラベリング（サブストレージエリアを含む）に関する標準業務手順書。
- 化学品の副保管エリアと管理の例示写真
- 保管の出入りログ、FEFO記録、サブストレージへの到着日、ロット番号、生産への発送日などを指定する例)
- 化学品の副保管エリアの監査/検査チェックリストまたは報告書。

質問の意図は？

この質問の目的は、すべてのサブストレージエリアが適切にマークされ、汚染や安全リスクを防ぐための十分な管理が行われていることを工場が示すことです。

テクニカルガイダンス：

適切な制御を伴う適切な化学品の保管は、健康・安全および環境リスクを減らし、防止するために重要です。これは、製造プロセスで化学品を使用する際に、工場の主要なバルク化学品保管エリアとは別に、一時的または恒久的に化学品の保管および取り扱いを行うサブ保管エリアにも適用されます。これには、ローディング、QA検査などのための一時的な保管エリアが含まれます。

副貯蔵エリアで効果的な化学品の保管方法を実施することで、環境汚染のリスクを最小限に抑え、安全な作業環境を維持することに貢献できます。保管条件は、安全データシート(SDS)に記載されている推奨保管方法や化学物質製造業者が推奨する保管方法に基づくべきです。また、化学品の保管に関連するすべての法的要件を遵守する必要があります。

化学物質の小分け保管区域および管理は、施設内で使用される化学物質の特定の種類、量、および危険有害性に合わせて設計し、適切なものとする必要があります。検討のうえ、該当する場合に実施すべき化学物質保管に関する推奨優良慣行の詳細な一覧については、上記の化学物質保管に関するFEPモジュール設問の技術ガイダンスのセクションを参照してください。

リソース

- ZDHC Supplier’s Roadmap to Zeroのプロセスセクション
  https://programme.roadmaptozero.com/suppliers/process
  - 化学物質の安全な保管

どのように検証されるか：

© 2026 Cascale Inc.

必要な書類

- 化学品のサブストレージエリアにおける工場の管理が適切に維持されていることを示す文書。これには以下が含まれる場合があります：
    - 化学品のサブストレージエリアの位置を示す工場マップ。
    - 化学品のサブストレージエリアのフロアレイアウト計画、異なる種類の化学品のカテゴリー分けと保管場所を明示します。
    - 化学品の保管とラベリング（サブストレージを含む）に関する標準業務手順書。
    - 保管の出入りログ、FEFO記録、サブストレージへの到着日、ロット番号、生産への発送日などを指定する例)
    - 化学品の副保管エリアの監査/検査チェックリストまたは報告書。

インタビューの質問

- 化学品管理を担当するスタッフは、化学品の副保管エリアに関連する危険性と管理方法を理解し、管理が適切に行われ、維持されるようにするための工場の手順を説明することができます。
- 関連するスタッフ（管理職と従業員）は、化学品の副保管エリアを維持するための管理方法とその責任を理解しています。

検査 - 物理的に見るべきもの：

- 現場での観察により、記載された管理措置が実施され、適切に維持されていることが確認されます（例：混載不適合の化学物質が別々に、または安全な距離を置いて保管されている、保管された化学物質に適切なラベルが付いている、二次封じ込め設備が設置され十分な容量を有している、可燃性化学物質に対する保護措置が講じられている、必要な個人用保護具が用意され使用されている、など）。

16. 施設では、化学物質管理システムの担当従業員に対し、使用制限物質リスト（**RSL**）に関する研修を実施していますか？

（参照*ID - chemtrainingr*）

次の場合には「あてはまる」を選択してください：あなたの工場には、RSLに精通したRSLコンプライアンス担当者が指定されている場合、そして関連する従業員に対して文書化されたトレーニングが提供され、トレーニング記録や資料がある場合。

部分的にあてはまる もし: あなたの工場にはRSL遵守の責任者が指定されており、関連する従業員にトレーニングが提供されていますが、それがトレーニング記録や資料で文書化されていない、または責任者がRSLについて知識を持っていない場合。

© 2026 Cascale Inc.

注意: RSLトレーニングは、RSLの要件と工場での手順を理解している知識豊富で資格のある人物（内部または外部）によって提供される必要があります。

お勧めのアップロード

- 工場が関連する従業員に対してRSLのトレーニングを実施したことを示す文書（例：RSLトレーニング記録、トレーニング資料、トレーニング後の評価記録）
- RSL管理とコンプライアンスを担当するスタッフのための文書化された職務説明。

質問の意図は？

この質問の目的は、RSL管理とコンプライアンスについて訓練を受けた知識豊富なスタッフを工場が持っていることを確認することです。

テクニカルガイダンス：

RSL準拠プログラムを効果的に管理し、実施するためには、スタッフがRSL管理と準拠に関する適切な知識とトレーニングを持っていることを確認することが重要です。RSL管理は、準拠を確保するための適用可能なRSL要件と手順についての特定の知識を必要とします。

工場は、RSL準拠を管理するスタッフに専門の役割と責任を確保することを確認すべきです。これにより、工場はRSLプログラムの実施を監督し、関連するスタッフが工場でのRSL要件と手順についてトレーニングを受けるための必要なリソースを提供します。

RSL研修の要件は、施設の種類、業務または製品によって異なる場合がありますが、RSL研修には、以下を含むもののこれらに限定されない、いくつかの重要な側面を含める必要があります：

- 工場で適用されるすべてのRSL要件
- 工場のRSL管理方針と手順、およびRSLの失敗の根本原因を調査する手順を含みます。
- RSLに関する化学品の調達とスクリーニング
- 工場におけるRSL遵守に対する特定のリスク領域。

トレーニングプログラムの効果を評価するための情報を収集する手順（例：受講者のフィードバックアンケートやテスト、観察、またはトレーナーのパフォーマンスのレビューなど）を持つことで、工場はRSLトレーニングの効果と知識の保持を確保するのに役立ちます。

リソース

- ZDHCアカデミー https://academy.roadmaptozero.com/
- AFIRMグループRSLツールキットhttps://afirm-group.com/Toolkit-EN/

© 2026 Cascale Inc.

- AAFA製品安全ガイダンス：制限物質リスト（RSL）
  https://www.aafaglobal.org/AAFA/Solutions_Pages/Restricted_Substance_List

どのように検証されるか：

必要な書類

- RSL遵守の責任を持つ専任の人物が工場にいて、RSLに精通していることを示す文書、および関連する従業員に提供される文書化されたトレーニング。
  - RSL管理とコンプライアンスを担当するスタッフの職務記述と資格について文書化されたもの
  - RSLトレーニング記録および/またはトレーニング資料
  - トレーニング後の評価記録
  - RSL管理方針と手順

尋ねるべき面接の質問:

- 工場でRSLを管理する責任者は、RSLに関する適切な知識を示すことができます。
- 工場のRSLトレーニングプログラムを担当するスタッフは、トレーニングがどのように提供され、該当する場合、トレーニングの効果がどのように評価されるかを説明できます。
- トレーニングを受けた従業員は、トレーニングの内容を理解しています。

点検 - 物理的に確認すべき事項：

- 工場内での観察から、工場のRSLプログラムが訓練を受けた知識豊富なスタッフによって管理されていることが示されています。

17. 施設では、化学物質管理システムの担当従業員に対し、製造時使用制限物質リスト（**MRSL**）に関する研修を実施していますか？ （参照*ID - chemtrainingm*）

以下の場合には「あてはまる」を選択してください：あなたの工場には、MRSLに精通したMRSLコンプライアンス担当者が指定されている、そして関連する従業員に対して文書化されたトレーニングが提供され、トレーニング記録や資料が存在する。

部分的にあてはまる もし: あなたの工場がMRSLの遵守に責任を持つ人を指名し、関連する従業員にトレーニングを提供しているが、それがトレーニング記録や資料で文書化されていないまたは 責任を持つスタッフがMRSLについて知識を持っていない。

注意: MRSLトレーニングは、MRSLの要件と工場での手順を理解している知識豊富で資格のある人物（内部または外部）によって提供される必要があります。

© 2026 Cascale Inc.

お勧めのアップロード

- 関連する従業員（例：MRSLトレーニング記録、トレーニング資料、トレーニング後の評価記録）に対してMRSLのトレーニングを行ったことを示す文書
- MRSL管理とコンプライアンスを担当するスタッフのための文書化された職務説明。

質問の意図は？

この質問の目的は、施設がMRSLの管理とコンプライアンスについて熟知したスタッフを持っていることを確認することです。
テクニカルガイダンス：

すべての工場は、法律や規制、および/または顧客の要求（例：ZDHC Manufacturing Restricted Substance List (MRSL)）により、準拠していない有害化学品の使用を工場で禁止するべきです。

MRSLコンプライアンスプログラムを効果的に管理し、実施するためには、スタッフがMRSL管理とコンプライアンスに関する適切な知識とトレーニングを持っていることを確認することが重要です。MRSL管理には、コンプライアンスを確保するための適用可能なMRSL要件と手順に関する特定の知識が必要です。

工場は、MRSL遵守を管理するスタッフに専門の役割と責任を確保するべきです。これにより、工場はMRSLプログラムの実施を監督し、関連スタッフが工場でのMRSL要件と手順についてトレーニングを受けるための必要なリソースを確保できます。

MRSLのトレーニング要件は、施設の種類、業務内容、または製品によって異なります。例えば、製造工程で化学物質を使用する施設は、通常、敷地内でより多くの化学物質を使用しており、施設の運営や工具にのみ化学物質を使用する施設と比べて、スタッフがトレーニングを受ける必要のある、より複雑なMRSL管理プログラムを必要とする場合があります。ただし、MRSLトレーニングには、以下を含むものの、これらに限定されない、いくつかの重要な側面を含める必要があります：

- 工場で適用可能なすべてのMRSL要件
- MRSLの管理方針と手順、および特定されたMRSLの不適合の根本原因を調査する手順を含む工場。
- MRSLに関する化学品の調達とスクリーニング
- 工場におけるMRSL遵守への特定のリスク領域。

トレーニングプログラムの効果を評価するための情報を収集する手順（例：受講者のフィードバックアンケートやテスト、トレーナーのパフォーマンスの観察やレビューなど）を持つことで、工場はMRSLトレーニングの効果と知識の維持を確保するのに役立ちます。

リソース

- ZDHC MRSL https://mrsl.roadmaptozero.com/

© 2026 Cascale Inc.

- ZDHCアカデミーhttps://academy.roadmaptozero.com/

どのように検証されるか：
必要な書類

- MRSLの遵守に責任を持つ専門の人々がいることを示す文書、そしてMRSLに精通している、関連する従業員に提供される文書化されたトレーニング。
    - MRSL管理とコンプライアンスを担当するスタッフのための文書化された職務説明と資格
    - MRSLトレーニング記録および/またはトレーニング資料
    - トレーニング後の評価記録
    - MRSL管理方針と手順

尋ねるべき面接の質問:

- 工場でMRSLを管理する責任者は、MRSLに関する適切な知識を示すことができます。
- 工場のMRSLトレーニングプログラムを担当するスタッフは、トレーニングがどのように提供され、該当する場合は、トレーニングの効果がどのように評価されるかを説明できます。
- トレーニングを受けた従業員は、トレーニングの内容を理解しています。

点検 - 物理的に確認すべき事項：

- 工場内での観察から、工場のMRSLプログラムが訓練を受けた知識豊富なスタッフによって管理されていることが示されています。

18. 貴施設には、RSL不適合の可能性を調査し、解決するための確立されたプロセスがありますか？ （参照*ID - chemfailresolution*）

以下の場合には「あてはまる」を選択してください: あなたの工場 RSLの失敗を調査し解決するための文書化されたプロセスがあります。

あてはまるを選択すると、次のサブクエスチョンが表示されます：

- あてはまる場合、そのような失敗を解決または防止するための標準業務手順書（SOP）を工場は持っていますか？
    - あなたのSOPをアップロードしてください

お勧めのアップロード

- RSL違反調査プロセスを含むRSL管理手順。

© 2026 Cascale Inc.

- RSL違反調査の過去の文書例（例えば、違反調査/解決フォーム）

質問の意図は？

この質問の目的は、工場がRSLの不具合を調査し解決するためのプロセスが整っていることを示すことです。

テクニカルガイダンス：

RSL準拠プログラムの目標は、RSLに準拠していない化学品や材料、またはRSLの失敗を引き起こす可能性のあるものが工場で使用されないようにすることに重点を置くべきです。しかし、RSLの失敗が発生した場合は、RSLの失敗を調査し解決するための正式なプロセスを持つことが重要です。

個別のRSL不適合の原因はさまざまであり、体系的な調査を実施するための手順を整備することで、施設は不適合の原因を特定し、RSL管理プログラムの不足を解消することができます。調査プロセスには、将来の不適合を防止するため、不適合の根本原因分析を実施する手順も含める必要があります。

障害が発生した場合、工場は以下に列挙した主要な側面に限定されない調査と解決のプロセスを開始するべきです：

- 非適合な材料/製品の生産を停止し、潜在的に非適合な材料/製品を隔離します。
- 準拠していない材料/製品が工場から出荷されないようにしてください。
- 問題の範囲を評価し、その失敗を生み出した現在の材料/プロセスを確認します。
- 故障の原因を特定するために根本原因の調査を行います。
    - 必要に応じて材料/化学物質製造業者と連携し、根本原因を特定するのに役立てます。
- 再度問題が発生しないように、RSL管理手順の更新の必要性を評価してください。

リソース

- AFIRMグループRSLツールキットhttps://afirm-group.com/Toolkit-EN/ (注: 付録DにはRSLの失敗例と是正措置が含まれています)

どのように検証されるか：

必要な文書:

- 工場がRSLの失敗を調査し、解決するための手順を文書化していることを示す文書。これには以下のものが含まれる場合があります：
    - RSL方針および/またはRSL失敗調査プロセスを含む管理手順。
    - 歴史的なRSL失敗調査の記録（例：失敗調査/解決フォーム）

© 2026 Cascale Inc.

尋ねるべき面接の質問:

- RSL管理を担当するスタッフは、工場のRSL不合格調査および解決手順を説明することができます。

検査 - 物理的に見るべきもの:

- RSLの不合格調査を担当するスタッフは、RSLとRSLの不合格調査/解決について十分な知識を持っています。

© 2026 Cascale Inc.

Higg FEMおよびFEPモジュール – 用語集

Cascaleは、より適切で正確な定義を提供するため、要望に応じて用語集を継続的に更新します。Higg FEMおよびFEPモジュールの最新の用語集はこちらでご覧いただけます。

© 2026 Cascale Inc.